使用説明書 システム設定編 2

RICOH

IPSiO Color8150スキャナーユニットタイプ8100対応版

5. システム初期設定

6. プリンター初期設定

7. Ridoc IO Adminによる機器の設定

8. Webブラウザによる機器の設定

9. 機器の監視と設定の変更

10.付録

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず＜安全上のご注意＞をお読みください。

株式会社リコー

商標

- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- Macintosh、AppleTalkは、米国Apple Computer, Inc.の各国での登録商標です。
- HP-GL、HP-GL/2、HPRTLは、米国Hewlett-Packard社の商標です。
- IBM、DOS/Vは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NECは、日本電気株式会社の登録商標です。
- PC98-NXシリーズ、PC-9800シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- NetWareは、米国Novell, Inc.の登録商標です。
- PostScriptは、Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
- UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウエアです。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
* Windows® Meの製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
* Windows® 2000の製品名は以下のとおりです
　Microsoft® Windows® 2000 Professional
　Microsoft® Windows® 2000 Server
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows NT® Server 4.0
　Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

補足

❒ ここでは、Windows 2000 Professionalの場合を例に説明します。

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IPプロトコルまたはIPPを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

TCP/IPプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定します。

- TCP/IPプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定します。

参照

設定方法については、使用説明書＜システム設定編1　スキャナーユニット　タイプ8100対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、P.247「DHCPを使用する場合」を参照してください。

補足

❒ IP アドレスを設定したら、正しく設定されたかどうかWindows 2000上で確認してください。

① [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] の [アクセサリ] をポイントし、[コマンドプロンプト] をクリックします。

② 次のように入力して確認します（IPアドレスが192.168.15.16の場合）。

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると、次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると、次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

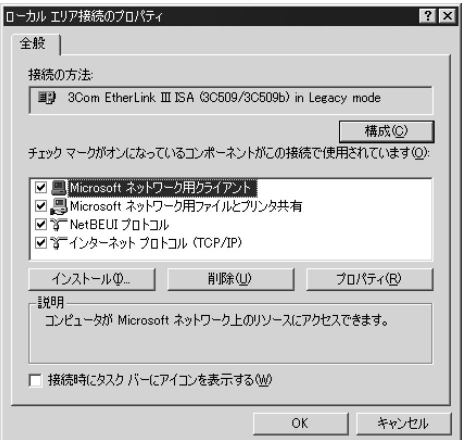
Windows 2000 の環境設定

Windows 2000にTCP/IPプロトコルをインストールし、TCP/IPのプロパティを設定します。

1 [コントロールパネル]の[ネットワークとダイヤルアップ接続]アイコンをダブルクリックします。

2 [ローカルエリア接続]を選択して、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

3 インストールされているプロトコルがボックスに表示されます。✓印が付いているコンポーネントが、ネットワークの接続に使用されています。「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が接続に使用されていることを確認します。



補足

- 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が表示されないときは、[インストール]をクリックしてTCP/IPプロトコルをインストールしてください。インストール方法については、Windows 2000のヘルプを参照してください。

4 TCP/IPプロトコルのプロパティを設定します。

参照

プロパティの設定方法については、Windows 2000のヘルプを参照してください。

NetBEUI 印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのNetBEUIプロトコルを有効にします(工場出荷時は有効です)。

参照

設定方法については、使用説明書<システム設定編1 スキャナーユニット タイプ8100対応版>「操作部を使って設定する」を参照してください。

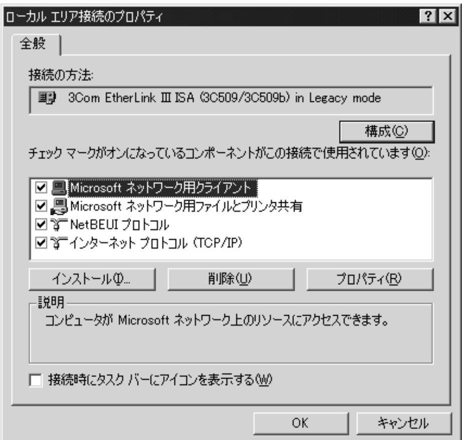
Windows 2000 の環境設定

Windows 2000にNetBEUIプロトコルをインストールします。

1 ［コントロールパネル］の［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

2 ［ローカルエリア接続］を選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

3 インストールされているプロトコルがボックスに表示されます。✓印が付いているコンポーネントが、ネットワークの接続に使用されています。「NetBEUI」が接続に使用されていることを確認します。



補足

- ❒「NetBEUI」が表示されないときは、［インストール］をクリックしてNetBEUIプロトコルをインストールしてください。インストール方法については、Windows 2000のヘルプを参照してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

ダイレクトプリントの場合は、[ネットワーク標準インストール]を実行します。

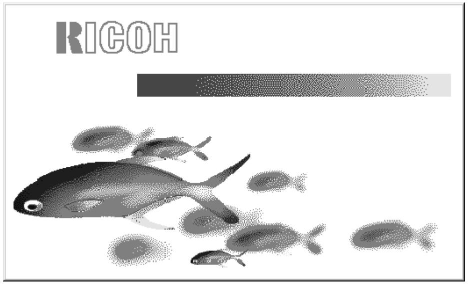
[ネットワーク標準インストール]を実行すると、Ridoc IO Navi、RPCSプリンタードライバーがインストールされます。TCP/IP、NetBEUI、IPP を使って Peer-to-Peer ネットワークで印刷するときに選択します。

[カスタムインストール]を実行すると、Ridoc IO Naviを単独でインストールできます。

ネットワーク標準インストール

1 **Windows 2000が起動していることを確認し、本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。



2 **[ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。**

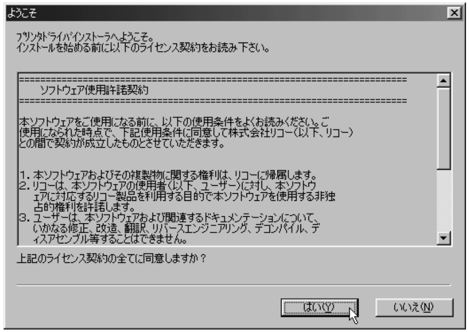


3 **[ネットワーク標準インストール] を選択し、[次へ] をクリックします。**



4 **Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。メッセージに従って操作してください。**

5 **プリンタードライバーのライセンス契約が表示されます。すべての項目をお読みください。ライセンス契約に同意する場合は、[はい] をクリックします。**



6 印刷するプリンターの機種名をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。プリンター名を変更するときは、［プリンタ名］ボックスで修正します。



［ポートの選択］ダイアログが表示されます。

補足

❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.19「プリンタードライバーのインストール中に、次のメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「更新対象のドライバより、CD-ROMのドライバのバージョンが古いです。」

7 ［追加］をクリックします。



［ポートの追加］ダイアログが表示されます。

8 「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。



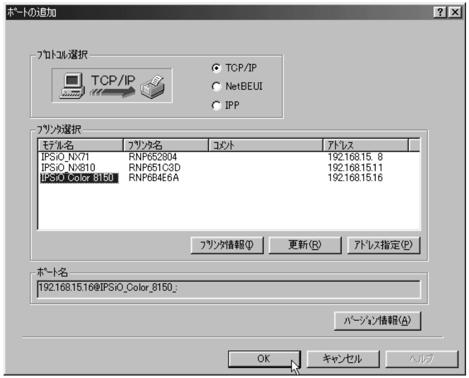
次の画面が表示され、プリンターが検索されます。



9 印刷するプリンターを選択します。

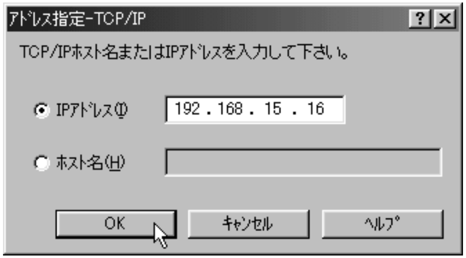
TCP/IP

❶ 印刷するプリンターをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



補足

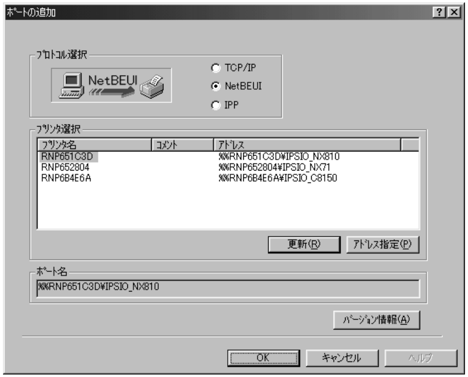
- ❒ ここにはパソコンからのブロードキャストに応答したプリンターが表示されます。ここに表示できないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、IPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。



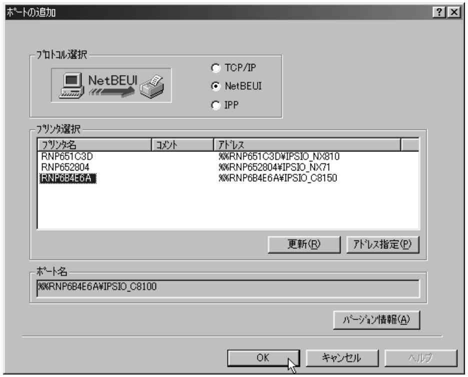
NetBEUI

❶ ［NetBEUI］をクリックします。

NetBEUI プロトコルで印刷可能なプリンターの一覧が表示されます。

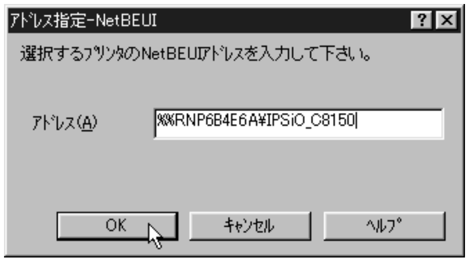


❷ **印刷するプリンターをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。**



補足

- ❒ **ここにはパソコンからのブロードキャストに応答したプリンターが表示されます。ここに表示できないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUI アドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法については、P.166「システム設定リストを印刷する」を参照してください。システム設定リストでは NetBEUI アドレスが「\\RNP6B4E6A\IPSIO_C8100」と表示されています。先頭の「\\」を「%%」に変更して入力してください。**



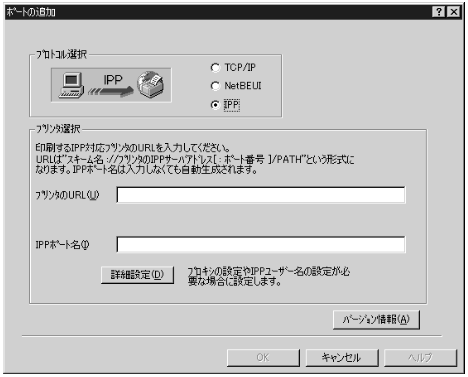
- ❒ **ルータを越えたプリンターには、印刷できません。**

❸ **[プリンターポート]ダイアログを閉じます。**

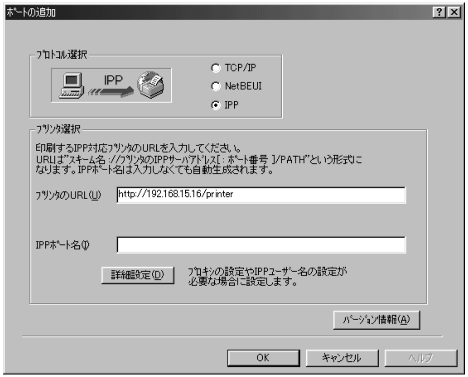
IPP

❶ ［IPP］をクリックします。

IPPの設定ダイアログが表示されます。



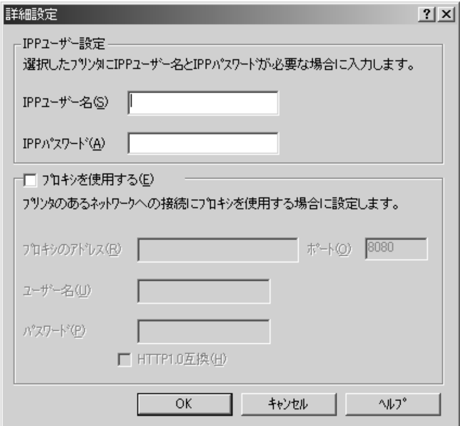
❷ ［プリンタのURL］に印刷するプリンターのIPアドレスとポート番号を「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。



❸ 必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにあるほかの IPP ポート名と違う名前を入力してください。

入力を省略すると、［プリンタのURL］に入力したアドレスがIPPポート名に設定されます。

❹ **プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定します。**



参照

設定項目の詳細については、ヘルプを参照してください。

10 ［OK］をクリックします。

追加したポートが［ポート名］に表示されます。

11 選択したポートが反転表示されていることを確認して、［次へ］をクリックします。



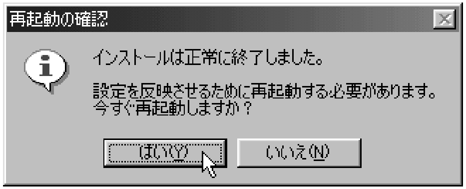
12 インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

補足

- ❒ **インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されることがあります。その場合、［はい］をクリックしてインストールを続行してください。**

13 インストール終了のメッセージが表示されます。[はい] をクリックし、Windowsを再起動します。



14 再起動後にオプションを設定します。

参照

オプションの設定方法については、P.16「オプションを設定する」を参照してください。

補足

❒ インストール後に、プリンターのプロパティ画面でユーザーコードを設定できます。設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

これでインストールは終了です。

オプションのセットアップは双方向通信が働いていないときに必要な操作です。双方向通信については、P.19「双方向通信が働く条件」を参照してください。

プリンタードライバー各画面の説明や、いろいろな印刷方法については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の [ヘルプ] ボタンをクリックします。

オプションを設定する

プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプションや、セットした用紙のサイズ・方向を設定する必要があります。

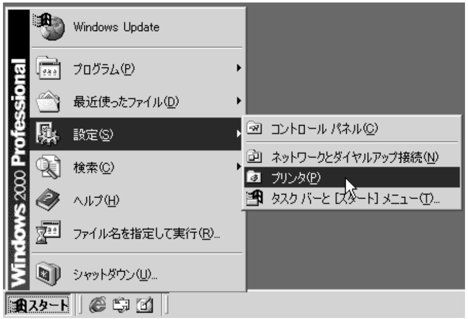
制限

❒ [プリンタ] フォルダでプリンターのプロパティを変更するには、「プリンターの管理」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

双方向通信については、P.19「双方向通信が働く条件」を参照してください。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。



[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。



プリンターのプロパティ画面が表示されます。

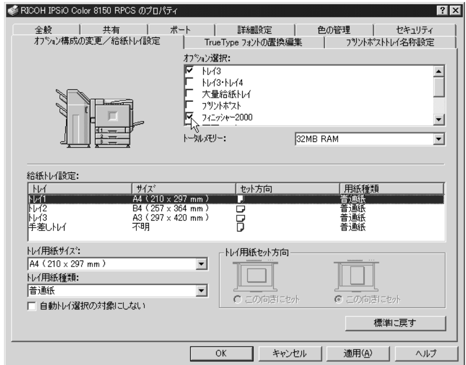
3 ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブをクリックします。



補足

❒ ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブが表示されないときは、双方向通信が働いています。この場合は、オプションの設定は必要ありません。

4 ［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションをクリックして✓印を付けます。



5 ［トータルメモリー］で、本機に搭載されているメモリーの合計値を選択します。

補足

❒ プリンターに搭載されているメモリーの合計値は、システム設定リストの「搭載メモリ」欄で確認することができます。システム設定リストの印刷方法については、P.166「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

6 ［給紙トレイ設定］で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、［トレイ用紙サイズ］、［トレイ用紙セット方向］、［トレイ用紙種類］を正しく設定します。自動トレイ選択の対象にしない場合は［自動トレイ選択の対象にしない］をクリックして✓印を付けます。

7 ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティ画面を閉じます。

プリンタードライバーのインストール中に、次のメッセージが表示されたとき



このメッセージは、インストールしようとしたプリンタードライバーよりも新しいプリンタードライバーがすでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されている名前の、すでにインストールしたプリンタードライバーを使用して、［プリンタの追加］でインストールし直してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

② ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

③ プリンターの追加ウィザードに従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2000¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは［キャンセル］をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに送信されます。これによって、パソコンからプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信は、Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0で働く機能です。
- 双方向通信機能が働いていると、プリンターのプロパティ画面に［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブが表示されません。

双方向通信が働くには、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている。

- プリンターのプロパティ画面の［ポート］タブで［双方向サポートを有効にする］が選択されていて、［プリンタプールを有効にする］が選択されていない。
- 本機に同梱されているCD-ROM内のRidoc IO Naviがインストールされている。

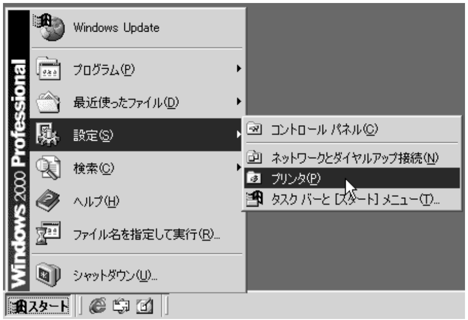
ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



プリンターのプロパティ画面が表示されます。

3 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。

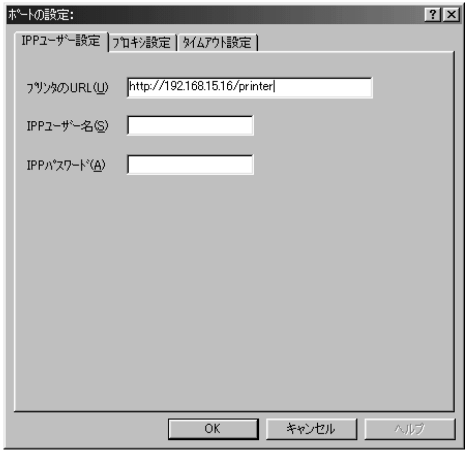


ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IP**プロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。**



- IPP**の場合、**IPP**ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。**



参照

ポートの設定画面の詳細については、ヘルプを参照してください。

共有設定と印刷通知設定

クライアントがプリンターを使用できるように共有設定を行います。また、印刷結果をクライアントに通知する場合は、Ridoc IO Naviで印刷通知設定を行います。

制限

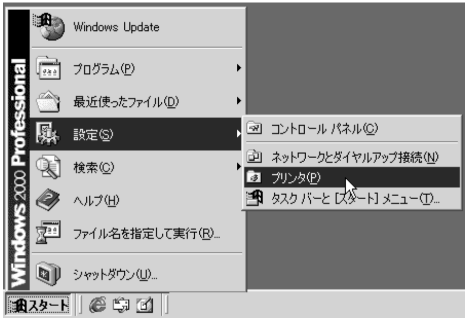
❒ ［プリンタ］フォルダでプリンターのプロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプションや、セットした用紙のサイズ・方向を設定する必要があります。双方向通信についてはP.19「双方向通信が働く条件」、オプションの設定方法についてはP.16「オプションを設定する」を参照してください。

印刷通知設定については、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



プリンターのプロパティ画面が表示されます。

3 ［共有］タブをクリックし、［共有する］をクリックして•印を付けます。



補足

❒ ほかのバージョンの Windows を使用しているクライアントがプリンターを共有する場合、［追加ドライバ］をクリックして、各クライアントのOSに合ったドライバーをインストールしてください。

4 必要に応じて、プリンターの共有名を入力します。

補足

❒ デフォルトでは、プリンターの共有名は「RICOHIPS」です。

5 ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティ画面を閉じます。

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IP プロトコルまたは IPP を使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

TCP/IPプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定します。

- TCP/IPプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定します。

参照

設定方法については、使用説明書＜システム設定編１　スキャナーユニット　タイプ8100対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、P.247「DHCPを使用する場合」を参照してください。

補足

❒ IP アドレスを設定したら、正しく設定されたかどうかWindows NT上で確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］をポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 次のように入力して確認します（IPアドレスが192.168.15.16の場合）。

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると、次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms
TTL=32
```

間違って設定されていると、次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

Windows NT の環境設定

Windows NTにTCP/IPプロトコルとMicrosoft TCP/IP印刷ソフトウェアをインストールし、TCP/IPのプロパティを設定します。

1 ［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

2 インストールされているプロトコルが［プロトコル］タブの［ネットワークプロトコル］ボックスに表示されます。「TCP/IPプロトコル」がインストールされていることを確認します。



補足

- 「TCP/IP プロトコル」が表示されないときは、［追加］をクリックしてTCP/IPプロトコルをインストールしてください。インストール方法については、Windows NTのヘルプを参照してください。

3 TCP/IPプロトコルのプロパティを設定します。

参照

プロパティの設定方法については、Windows NT 4.0のヘルプを参照してください。

NetBEUI 印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのNetBEUIプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法については、使用説明書<システム設定編1　スキャナーユニット　タイプ8100対応版>「操作部を使って設定する」を参照してください。

Windows NT の環境設定

Windows NTにNetBEUIプロトコルをインストールし、LANアダプタ（LANA）番号を変更します。

1 ［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

2 **インストールされているプロトコルが［プロトコル］タブの［ネットワークプロトコル］ボックスに表示されます。「NetBEUIプロトコル」がインストールされていることを確認します。**



補足

- ❒ 「NetBEUIプロトコル」が表示されないときは、［追加］をクリックしてNetBEUIプロトコルをインストールしてください。インストール方法については、Windows NTのヘルプを参照してください。

3 **［サービス］タブをクリックし、［ネットワークサービス］ボックスの「NetBIOSインターフェイス」をクリックして反転表示させ、［プロパティ］をクリックします。**



4 ［ネットワークルート］見出しの「Nbfプロトコル」に対応したLANA番号をクリックして反転表示させ、［編集］をクリックします。



5 LANA番号として「0」を入力します。

補足

- ほかのプロトコルのLANA番号が0に設定されているときは、そのプロトコルのLANA番号を0以外に変更してください。

6 ［OK］をクリックします。

7 ［閉じる］をクリックし、［ネットワーク］ダイアログを閉じます。

8 再起動を確認するメッセージが表示されるので、［はい］をクリックします。

補足

- LANA番号を変更したときは、必ず再起動してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

ダイレクトプリントの場合は、[ネットワーク標準インストール]を実行します。

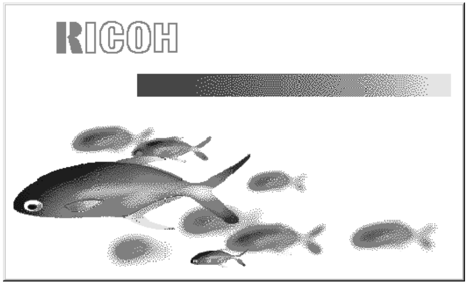
[ネットワーク標準インストール]を実行した場合、Ridoc IO Navi、RPCSプリンタードライバーがインストールされます。TCP/IP、NetBEUI、IPPを使って Peer-to-Peer ネットワークで印刷するときに選択します。

[カスタムインストール]を実行した場合、Ridoc IO Naviを単独でインストールできます。

ネットワーク標準インストール

1 Windows NT 4.0が起動していることを確認し、本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。



2 [ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。

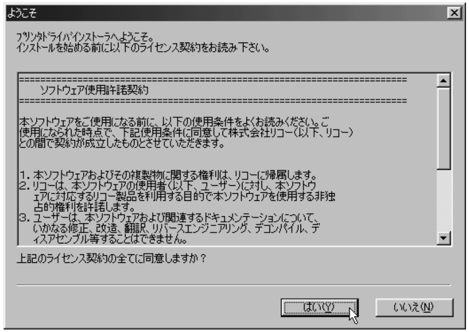


3 [ネットワーク標準インストール] を選択し、[次へ] をクリックします。



4 Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。メッセージに従って操作してください。

5 プリンタードライバーのライセンス契約が表示されます。すべての項目をお読みください。ライセンス契約に同意する場合は、[はい] をクリックします。



6 印刷するプリンターの機種名をクリックして反転表示させ、[次へ] をクリックします。プリンター名を変更するときは、[プリンタ名] ボックスで修正します。

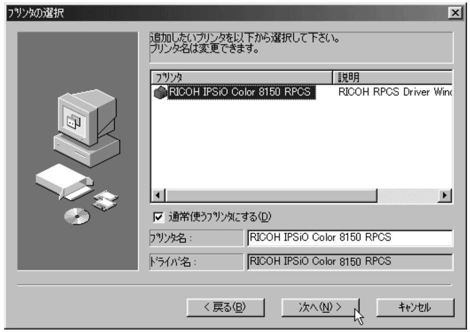


[ポートの選択] ダイアログが表示されます。

補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.38「プリンタードライバーのインストール中に、次のメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「更新対象のドライバより、CD-ROMのドライバのバージョンが古いです。」

7 [追加] をクリックします。



[ポートの追加] ダイアログが表示されます。

8 「Ridoc IO Navi」を選択し、[OK] をクリックします。



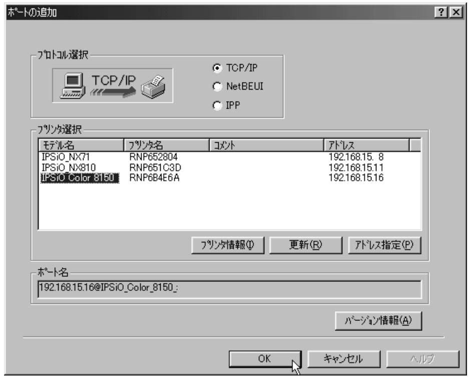
次の画面が表示され、プリンターが検索されます。



9 印刷するプリンターを選択します。

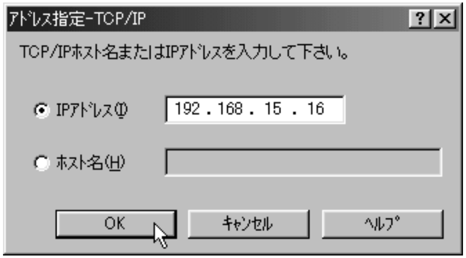
TCP/IP

❶ 印刷するプリンターをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



補足

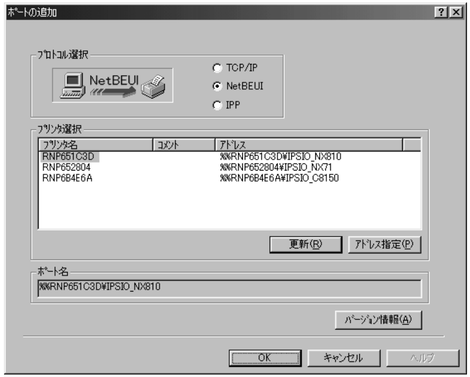
- ここにはパソコンからのブロードキャストに応答したプリンターが表示されます。ここに表示できないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、IPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。



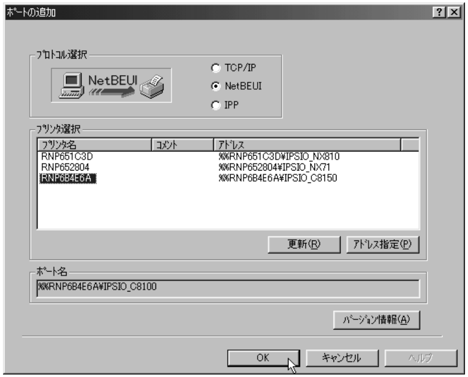
NetBEUI

❶ ［NetBEUI］をクリックします。

NetBEUI プロトコルで印刷可能なプリンターの一覧が表示されます。



❷ 印刷するプリンターをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



補足

❒ ここにはパソコンからのブロードキャストに応答したプリンターが表示されます。ここに表示できないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUI アドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法については、P.166「システム設定リストを印刷する」を参照してください。システム設定リストでは NetBEUI アドレスが「\\RNP6B4E6A\IPSIO_C8100」と表示されています。先頭の「\\」を「%%」に変更して入力してください。



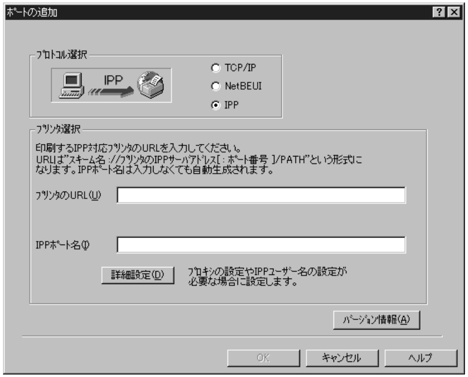
❒ ルータを越えたプリンターには、印刷できません。

❸ [プリンターポート] ダイアログを閉じます。

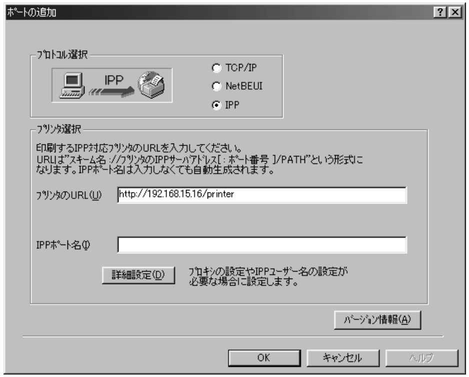
IPP

❶ ［IPP］をクリックします。

IPPの設定ダイアログが表示されます。



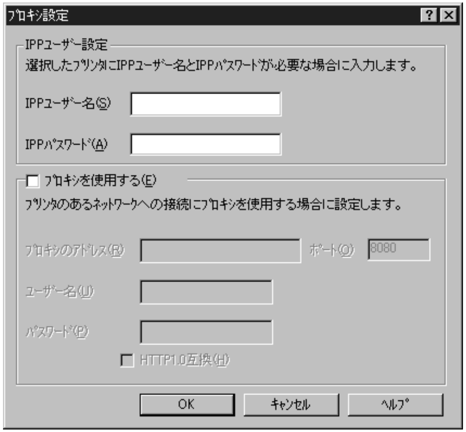
❷ ［プリンタのURL］に印刷するプリンターのIPアドレスとポート番号を「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。



❸ 必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにあるほかのIPPポート名と違う名前を入力してください。

入力を省略すると、［プリンタのURL］に入力したアドレスがIPPポート名に設定されます。

❹ **プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定します。**



参照

設定項目の詳細については、ヘルプを参照してください。

10 ［OK］**をクリックします。**

追加したポートが［ポート名］に表示されます。

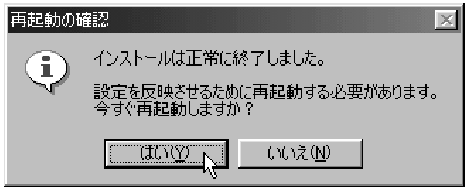
11 **選択したポートが反転表示されていることを確認して、［次へ］をクリックします。**



12 **インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。**

ファイルのコピーが始まります。

13 **インストール終了のメッセージが表示されます。［はい］をクリックし、**Windows**を再起動します。**



14 再起動後にオプションを設定します。

オプションの設定方法については、P.36 「オプションを設定する」を参照してください。

補足

- インストール後に、プリンターのプロパティ画面でユーザーコードを設定できます。設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

これでインストールは終了です。

オプションのセットアップは双方向通信が働いていないときに必要な操作です。双方向通信については、P.39 「双方向通信が働く条件」を参照してください。

プリンタードライバー各画面の説明や、いろいろな印刷方法については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックします。

オプションを設定する

プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプションや、セットした用紙のサイズ・方向を設定する必要があります。

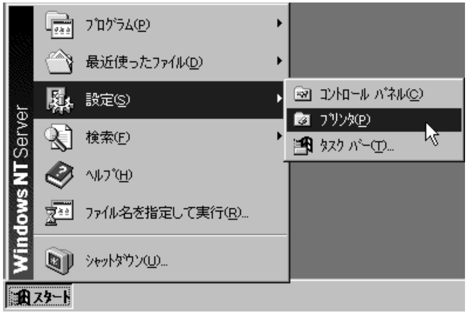
制限

- ［プリンタ］フォルダでプリンターのプロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

双方向通信については、P.39 「双方向通信が働く条件」を参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



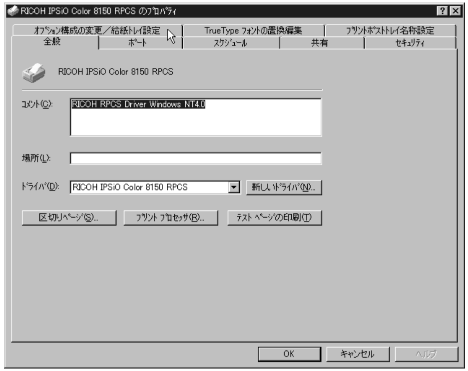
［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



プリンターのプロパティ画面が表示されます。

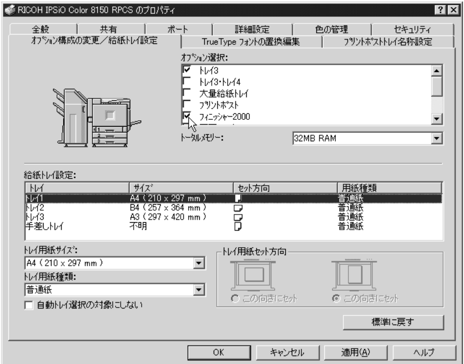
3 ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブをクリックします。



補足

- ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブが表示されないときは、双方向通信が働いています。この場合は、オプションの設定は必要ありません。

4 [オプション選択] ボックスで、取り付けたオプションをクリックして✓印を付けます。



5 [トータルメモリー] で、本機に搭載されているメモリーの合計値を選択します。

補足

- ❒ プリンターに搭載されているメモリーの合計値は、システム設定リストの「搭載メモリ」欄で確認することができます。システム設定リストの印刷方法については、P.166「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

6 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]、[トレイ用紙セット方向]、[トレイ用紙種類] を正しく設定します。自動トレイ選択の対象にしない場合は、[自動トレイ選択の対象にしない] をクリックして✓印を付けます。

7 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティ画面を閉じます。

プリンタードライバーのインストール中に、次のメッセージが表示されたとき



このメッセージは、インストールしようとしたプリンタードライバーよりも新しいプリンタードライバーがすでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されている名前の、すでにインストールしたプリンタードライバーを使用して、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

② ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

③ プリンターの追加ウィザードに従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WINNT40¥DISK1になります。
インストーラーが起動したときは、［キャンセル］をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに送信されます。これによって、パソコンからプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信は、Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0で働く機能です。
- 双方向通信機能が働いていると、プリンターのプロパティ画面に［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブが表示されません。

双方向通信が働くには、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている。
- プリンターのプロパティ画面の［ポート］タブで［双方向サポートを有効にする］が選択されていて、［プリンタプールを有効にする］が選択されていない。
- 本機に同梱されているCD-ROM内のRidoc IO Naviがインストールされている。

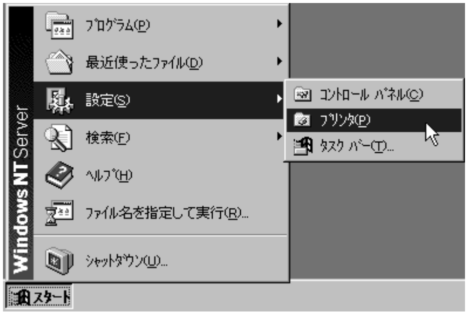
ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



プリンターのプロパティ画面が表示されます。

3 ［ポート］タブをクリックし、［ポートの構成］をクリックします。

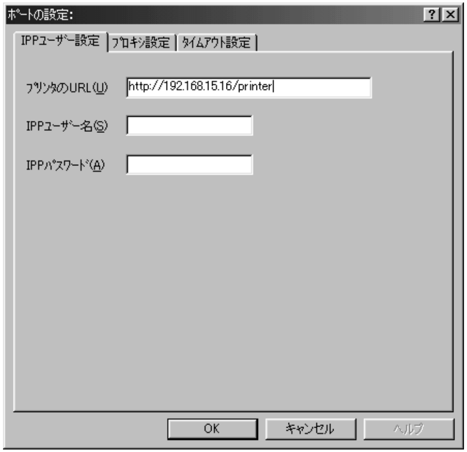


ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IPプロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。



- IPP の場合、IPP ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。



補足

❒ ポートの設定画面の詳細については、ヘルプを参照してください。

共有設定と印刷通知設定

クライアントがプリンターを使用できるように共有設定を行います。また、印刷結果をクライアントに通知する場合は、Ridoc IO Naviで印刷通知設定を行います。

制限

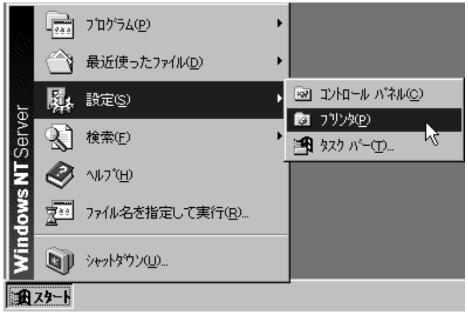
- ❒ ［プリンタ］フォルダでプリンターのプロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプションや、セットした用紙のサイズ・方向を設定する必要があります。双方向通信についてはP.39「双方向通信が働く条件」、オプションの設定方法については、P.36「オプションを設定する」を参照してください。

印刷通知設定については、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



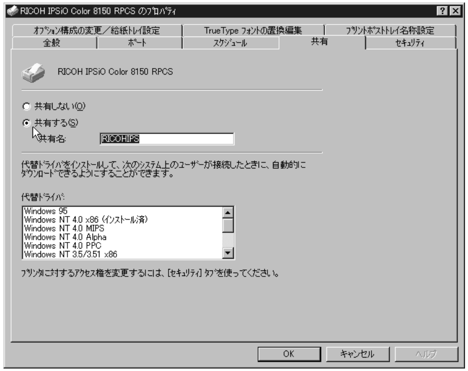
［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。



プリンターのプロパティ画面が表示されます。

3 [共有] タブをクリックし、[共有する] をクリックして•印を付けます。



補足

- ❒ Windows 95/98/Meクライアントへの代替ドライバー機能を使用する場合、Windows NT 4.0は「Service Pack 4」以上にしてください。また、使用する各クライアントのOSに合ったドライバーをインストールしてください。

4 必要に応じて、プリンターの共有名を入力します。

補足

- ❒ デフォルトでは、プリンターの共有名は「RICOHIPS」です。

5 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティ画面を閉じます。

NetWareでネットワークプリンターを使用する場合の設定方法について説明します。NetWareでは、プリンターを「プリントサーバー」または「リモートプリンター」として接続することができます。

補足

- ❒ あらかじめプリンターの操作部を使って、NetWareを有効にしておきます。設定方法については、使用説明書＜システム設定編1　スキャナーユニット　タイプ8100対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。
- ❒ IPX/SPXプロトコルがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、Windowsのヘルプを参照して、IPX/SPXプロトコルをインストールしてください。

❖ Ridoc IO Adminについて

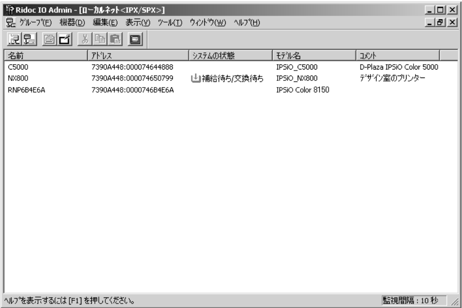
プリンターをNetWare環境で使用するには、Ridoc IO Adminを使用してNetWareのプリント環境を設定します。

補足

- ❒ 以下の環境でRidoc IO Adminを使用してプリント環境を設定するときは、Novellから提供されているNetWareクライアントがインストールされている必要があります。
  - Windows 95/98/MeでNDSモードのとき
  - Windows 2000/Windows NT 4.0でNDSモードまたはBindaryモードのとき

❖ Ridoc IO Adminに表示されるプリンターについて

Ridoc IO Adminには、ネットワークに接続されている機器の一覧が表示されます。

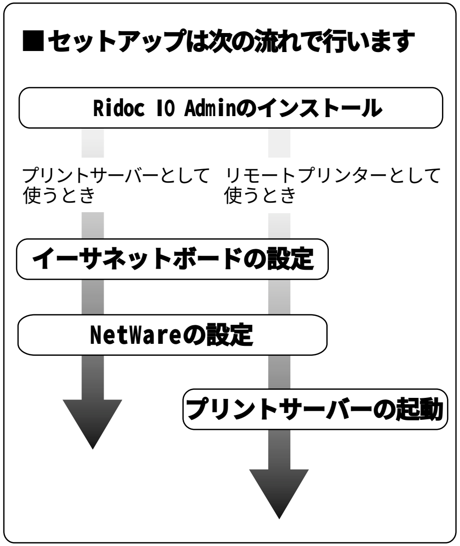


一覧に表示される機器名のうち、どれが本機かわからないときは、本機からシステム設定リストを印刷し、そのリストに記載されている機器名とRidoc IO Adminの一覧を比較して、該当する機器を探してください。システム設定リストの印刷方法については、P.166「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

本機の機器名がRidoc IO Adminの一覧に表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプは、Windowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。本機のフレームタイプの変更方法については、使用説明書<システム設定編 1　スキャナーユニット　タイプ8100対応版>「操作部を使って設定する」を参照してください。

NetWare 3.xJ でのセットアップ

NetWareのプリンター環境の設定方法は、プリンターの使用方法（プリントサーバー／リモートプリンター）によって異なります。ここでは、NetWare 3.xJ で、プリンターをプリントサーバーとして使う場合と、リモートプリンターとして使う場合について説明します。



補足

- ❒ NetWare が正しく動作し、プリントサービスを設定できる環境が整っていることを前提にしています。
- ❒ 操作例では、次の条件で設定します。
  - ファイルサーバーの名前…CAREE
  - プリントサーバーの名前…PSERV
  - プリンターの名前…R-PRN
  - キューの名前…R-QUEUE

Ridoc IO Admin のインストール

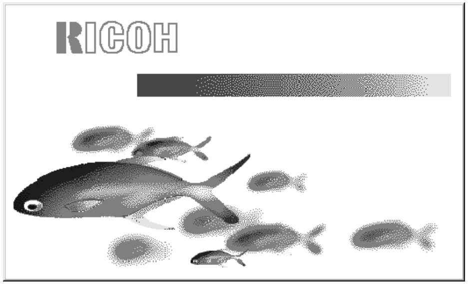
Ridoc IO AdminをWindowsにインストールします。

補足

- ❒ ご使用のプリンターの機種により、画面が一部異なることがあります。ご了承ください。

1 **本機に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットします。**

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。



2 **[ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。**



3 **[カスタムインストール] を選択し、[次へ] をクリックします。**



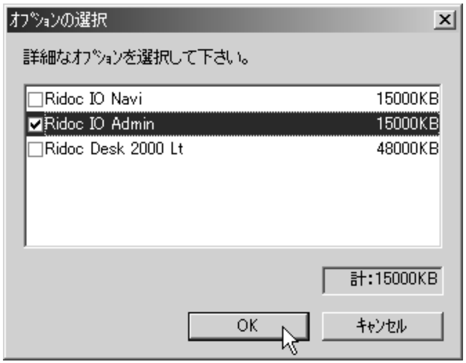
4 **[プリンタドライバ] をクリックして✓印を外します。**



5 ［ユーティリティ］をクリックして反転表示させ、［詳細］をクリックします



6 ［Ridoc IO Admin］をクリックして✓印を付け、［OK］をクリックします。



7 ［次へ］をクリックします。



8 Ridoc IO Adminのインストーラーが起動します。メッセージに従って操作してください。

インストール終了後、プリントサーバーとして使う場合は、P.49「プリントサーバーとして使う」に進んでください。

リモートプリンターとして使う場合は、P.52「リモートプリンターとして使う」に進んでください。

補足

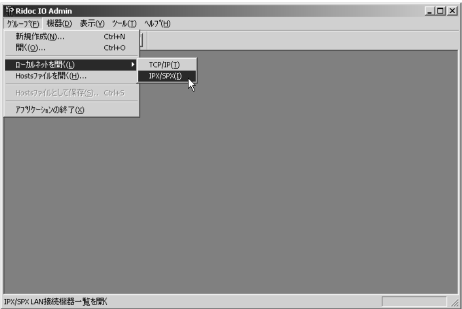
- ❒ Ridoc IO Adminのインストールが終了したときに、パソコンを再起動するよう指示するダイアログが表示されることがあります。このダイアログが表示された場合は、パソコンを再起動してから、操作を続けてください。

プリントサーバーとして使う

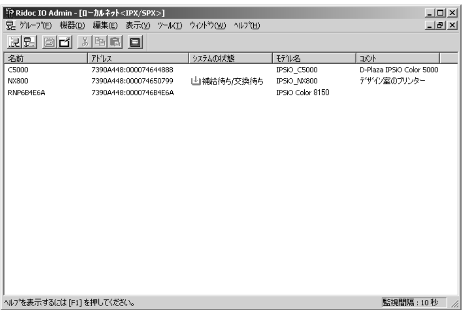
1 Supervisor または同等の権利を持つユーザーとしてログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 [グループ] メニューの [ローカルネットを開く] をポイントし、[IPX/SPX] を選択します。



設定できる機器の一覧が表示されます。



補足

- ❒ 一覧に表示される機器名のうち、どれが本機かわからないときは、本機からシステム設定リストを印刷し、そのリストに記載されている機器名とRidoc IO Adminの一覧を比較して、該当する機器を探してください。システム設定リストの印刷方法については、P.166「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ❒ 本機の機器名がRidoc IO Adminの一覧に表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプは、Windowsの [ネットワーク] ダイアログで変更します。本機のフレームタイプの変更方法については、使用説明書＜システム設定編 1 スキャナーユニット タイプ 8100 対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

制限

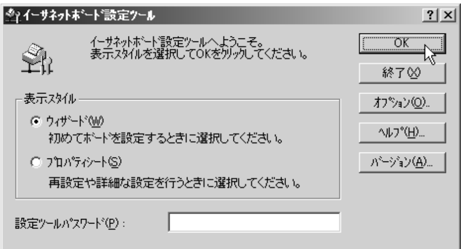
- ❒ Ridoc IO Adminの機器の一覧には、リコー以外の機器が表示されることがあります。Ridoc IO Admin はリコー以外の機器には対応していませんので、それらの機器は選択しないでください。

4 **設定する機器をクリックして反転表示させ、[ツール]メニューの[イーサネットボード設定]をクリックします。**



イーサネットボード設定ツールが起動します。

5 **[ウィザード] をクリックして選択し、[OK] をクリックします。**



6 **必要に応じて [デバイス名] と [コメント] を入力し、[次へ] をクリックします。**



7 **[NetWare] に✓印を付け、[次へ] をクリックします。**



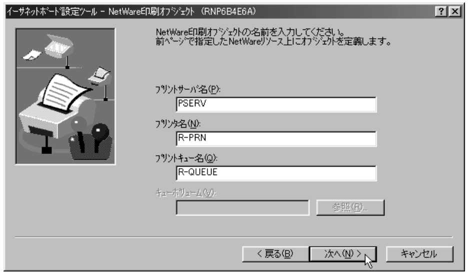
8 [バインダリモード] をクリックして選択し、[ファイルサーバ名] を入力し、[次へ] をクリックします。



補足

- ❒ [ファイルサーバ名] には、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名（この例では CAREE）を入力します。[参照] をクリックして一覧からファイルサーバーを選択することもできます。

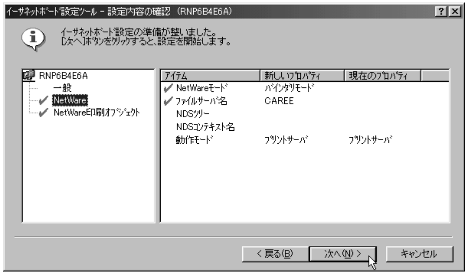
9 [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名] を入力し、[次へ] をクリックします。



補足

- ❒ [プリントサーバ名] には、NetWareのプリントサーバー名（この例では、PSERV）を英数字47文字以内で入力します。
- ❒ [プリンタ名] には、NetWare のプリンター名（この例では、R-PRN）を入力します。
- ❒ [プリントキュー名] には、NetWare上に追加するプリントキューの名前（この例の場合 R-QUEUE）を入力します。

10 設定を確認し、[次へ] をクリックします。



設定が反映され、イーサネットボード設定ツールが終了します。

11 Ridoc IO Adminを終了します。

補足

- ❒ プリンターが設定どおり動作しているか確認するには、コマンドプロンプトで次のように入力します。

  `F:> USERLIST`

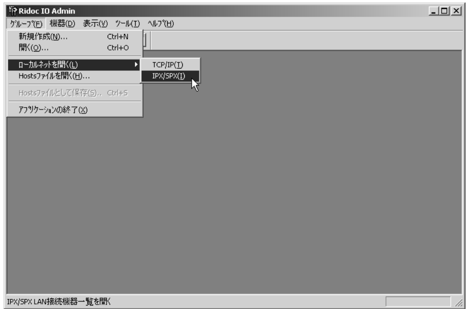
- ❒ 正しく動作していると、接続しているユーザー名としてプリントサーバー名（この例ではPSERV）が表示されます。

リモートプリンターとして使う

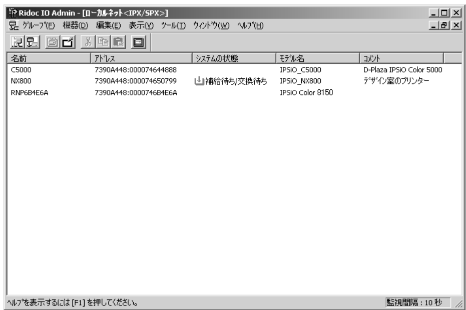
1 Supervisor または同等の権利を持つユーザーとしてログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 [グループ] メニューの [ローカルネットを開く] をポイントし、[IPX/SPX] を選択します。



設定できる機器の一覧が表示されます。



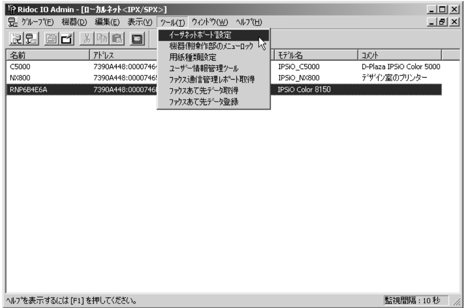
補足

- ❒ 一覧に表示される機器名のうち、どれが本機かわからないときは、本機からシステム設定リストを印刷し、そのリストに記載されている機器名とRidoc IO Adminの一覧を比較して、該当する機器を探してください。システム設定リストの印刷方法については、P.166「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ❒ 本機の機器名がRidoc IO Adminの一覧に表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプは、Windowsの[ネットワーク]ダイアログで変更します。本機のフレームタイプの変更方法については、使用説明書＜システム設定編 1 スキャナーユニット タイプ8100対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

制限

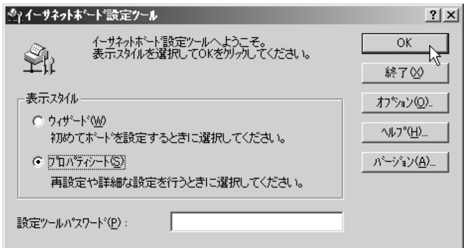
- ❒ Ridoc IO Adminの機器の一覧には、リコー以外の機器が表示されることがあります。Ridoc IO Admin はリコー以外の機器には対応していませんので、それらの機器は選択しないでください。

4 設定する機器をクリックして反転表示させ、[ツール]メニューの[イーサネットボード設定]をクリックします。



イーサネットボード設定ツールが起動します。

5 [プロパティシート] をクリックして選択し、[OK] をクリックします。



6 [NetWare] タブをクリックします。



7 環境を設定します。

❶ [プリントサーバ名] ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

補足

❒ 半角英数字47文字以内で入力してください。

❷ [ファイルサーバ名] に、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名を入力します。

補足

❒ [参照] をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。

❸ [動作モード] グループの [リモートプリンタ] をクリックして選択します。



❹ [リモートプリンタ番号] ボックスにプリンター番号を入力します。

重要

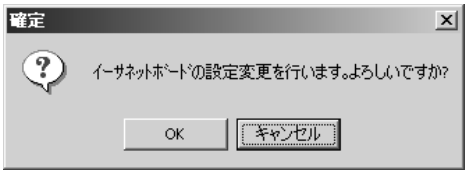
❒ プリントサーバー上に作成する機器の番号と一致させてください。

❺［OK］をクリックします。



確認の画面が表示されます。

❻［OK］をクリックします。



イーサネットボード設定ツールが終了します。

8 Ridoc IO Adminを終了します。

9 コマンドプロンプトで「PCONSOLE」と入力します。

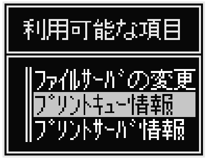
```
F:> PCONSOLE
```

10 プリントキューを作成します。

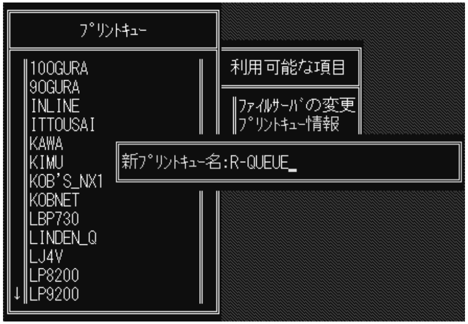
補足

❒ 既存のプリントキューを使う場合は、手順11に進みます。

❶［利用可能な項目］メニューから［プリントキュー情報］を選択します。



❷ Insertキーを押し、プリントキュー名を入力します。

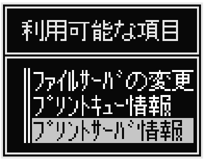


❸ Escキーを押します。

［利用可能な項目］メニューに戻ります。

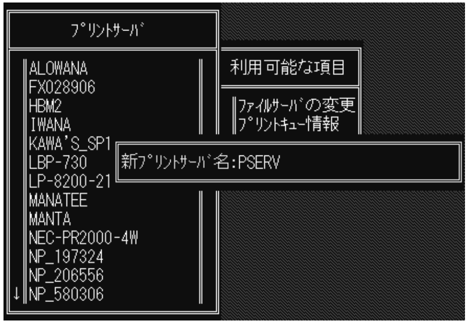
11 プリンターを作成します。

❶ ［利用可能な項目］メニューから［プリントサーバ情報］を選択します。



❷ 新しいプリントサーバーを作成する場合は、Insertキーを押し、プリントサーバー名を入力します。

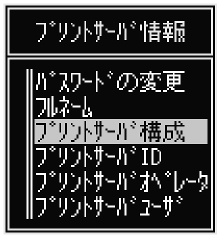
既存のプリントサーバーを使う場合は、［プリントサーバ］一覧から使用するプリントサーバーを選択します。



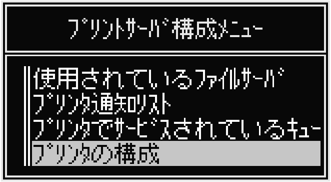
重要

- ❒ Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバー名（手順7-❶）と一致させてください。

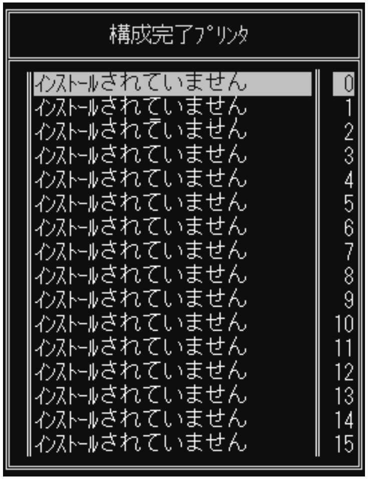
❸ ［プリントサーバ情報］メニューから［プリントサーバ構成］を選択します。



❹ [プリントサーバ構成メニュー] から [プリンタの構成] を選択します。



❺「インストールされていません」と表示されているプリンターを選択します。

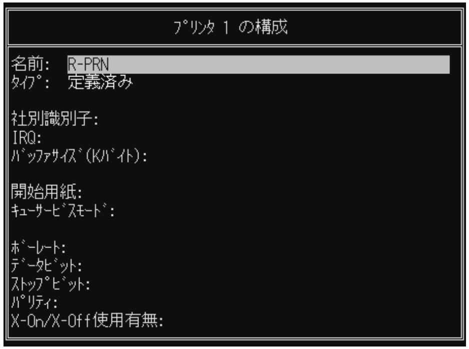


重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したプリンター番号（手順7-❹）と一致させてください。

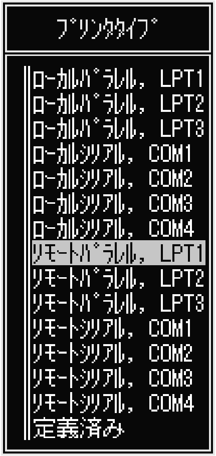
❻ プリンターの名前を変更する場合は、新しい名前を入力します。

名前は、選択したプリンターの番号に応じて「プリンタ×」と付けられています。



❼ **タイプとして［リモートパラレル，LPT1］を選択します。**

IRQ、バッファサイズ、開始用紙、キューサービスモードは自動的に設定されます。



❽ **Escキーを押し、確認画面で［Yes］を選択します。**

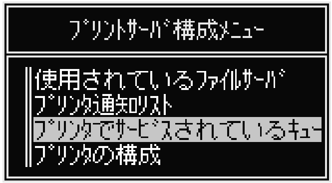


❾ **Escキーを押します。**

［プリントサーバ構成メニュー］に戻ります。

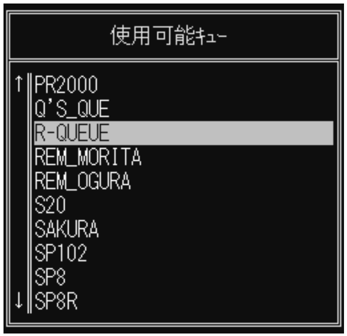
12 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。

❶ **［プリントサーバ構成メニュー］から［プリンタでサービスされているキュー］を選択します。**



❷ **手順11で作成したプリンターを選択します。**

❸ **Insertキーを押し、プリンターに割り当てるキューを選択します。**



補足

❒ 複数のキューを選択することもできます。

❹ **画面表示に従って、その他の項目を入力します。**

入力後、プリンターにキューが割り当てられたことを確認してください。

13 **「終了しますか？」と表示されるまでEscキーを押し、［Yes］を選択します。**



PCONSOLEが終了します。

14 **NetWareサーバーのコンソールから次のように入力して、プリントサーバーを起動します。**

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ **停止する**

```
CAREE: unload pserver
```

❖ **起動する**

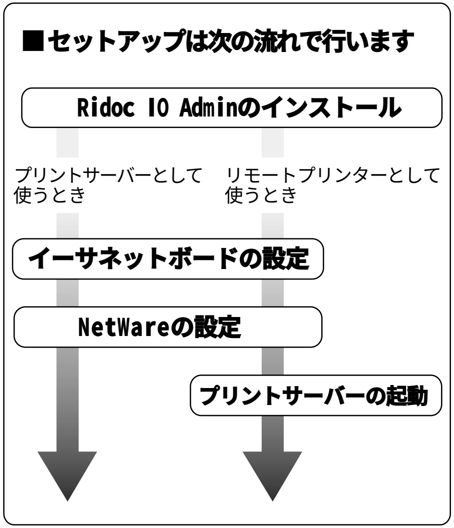
```
CAREE: load pserver プリントサーバー名
```

補足

❒ プリンターが設定どおり動作していると、「プリントジョブ待機中」と表示されます。

NetWare 4.xJ、NetWare 5.xJ でのセットアップ

NetWareのプリンター環境の設定方法は、プリンターの使用方法（プリントサーバー／リモートプリンター）によって異なります。ここでは、NetWare 4.xJ/NetWare 5.xJで、プリンターをプリントサーバーとして使う場合と、リモートプリンターとして使う場合について説明します。



補足

- ❒ NetWare が正しく動作し、プリントサービスを設定できる環境が整っていることを前提にしています。
- ❒ 操作例では、次の条件で設定します。
  - ファイルサーバーの名前…CAREE
  - プリントサーバーの名前…PSERV
  - プリンターの名前…R-PRN
  - キューの名前…R-QUEUE

❖ NetWare 5.xJをご使用の場合

- ピュアIP環境でご使用の場合、プリンターはプリントサーバーとしてご使用ください。リモートプリンターとしては使用できません。
- ピュア IP 環境でご使用の場合、プリンターで TCP/IP プロトコルが使用できるように設定してください。設定方法については、使用説明書＜システム設定編1　スキャナーユニット　タイプ8100対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

Ridoc IO Admin のインストール

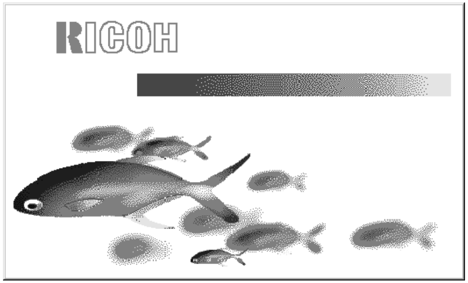
Ridoc IO AdminをWindowsにインストールします。

補足

- ❒ **ご使用のプリンターの機種により、画面が一部異なることがあります。ご了承ください。**

1 **本機に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットします。**

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。



2 **[ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。**



3 **[カスタムインストール] を選択し、[次へ] をクリックします。**



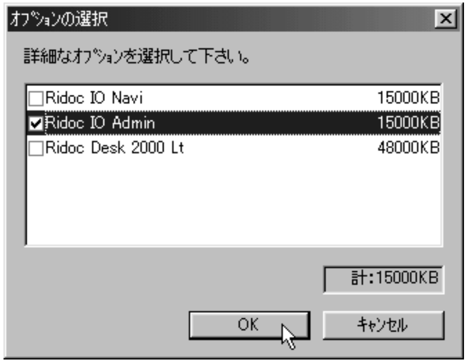
4 [プリンタドライバ] をクリックして✓印を外します。



5 [ユーティリティ] をクリックして反転表示させ、[詳細] をクリックします



6 [Ridoc IO Admin] をクリックして✓印を付け、[OK] をクリックします。



7 [次へ] をクリックします。



8 **Ridoc IO Adminのインストーラーが起動します。メッセージに従って操作してください。**

インストール終了後、プリントサーバーとして使う場合はP.63「プリントサーバーとして使う」**に進みます。**

リモートプリンターとして使う場合はP.69 「リモートプリンターとして使う」**に進みます。**

補足

- ❒ Ridoc IO Adminのインストールが終了したときに、パソコンを再起動するよう指示するダイアログが表示されることがあります。このダイアログが表示された場合は、パソコンを再起動してから、操作を続けてください。

プリントサーバーとして使う

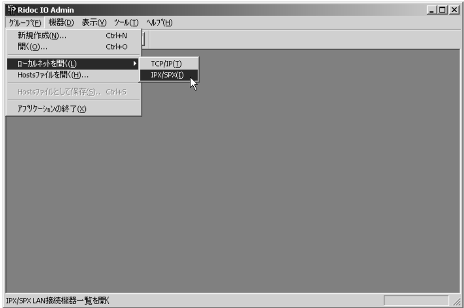
重要

- ❒ NetWare 4.xJ/NetWare 5.xJでプリントサーバーとして使用する場合は、NDS モードで使用してください。

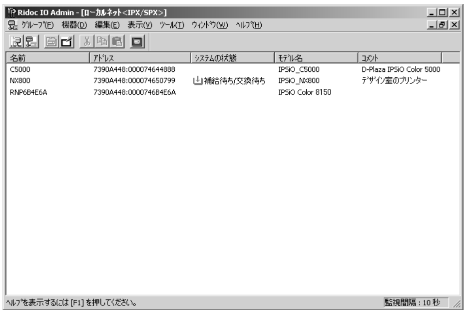
1 **サーバーにAdminでログインします。**

2 **Ridoc IO Adminを起動します。**

3 **[グループ]メニューの[ローカルネットを開く]をポイントし、[IPX/SPX]または[TCP/IP]を選択します。**



設定できる機器の一覧が表示されます。



補足

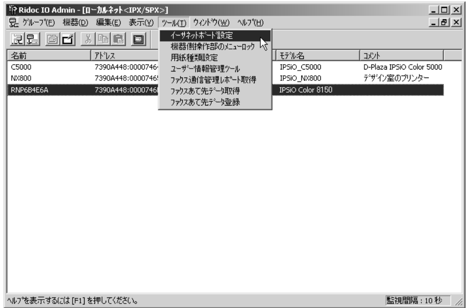
- ❒ NetWare 5.xJのピュアIP環境でご使用の場合は、[TCP/IP]を選択してください。

- ❒ 一覧に表示される機器名のうち、どれが本機かわからないときは、本機からシステム設定リストを印刷し、そのリストに記載されている機器名とRidoc IO Adminの一覧を比較して、該当する機器を探してください。システム設定リストの印刷方法については、P.166「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ❒ 本機の機器名がRidoc IO Adminの一覧に表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプは、Windowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。本機のフレームタイプの変更方法については、使用説明書＜システム設定編　1　スキャナーユニット　タイプ8100対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

制限

- ❒ Ridoc IO Adminの機器の一覧には、リコー以外の機器が表示されることがあります。Ridoc IO Admin　はリコー以外の機器には対応していませんので、それらの機器は選択しないでください。

4 設定する機器をクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。

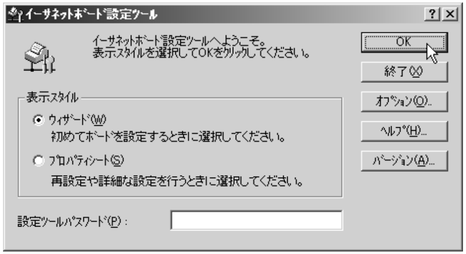


イーサネットボード設定ツールが起動します。

補足

- ❒ NetWare 5.xJのピュアIP環境でご使用の場合はP.67 「NetWare 5.xJのピュアIP環境でご使用の場合」に進んでください。

5 ［ウィザード］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。



6 必要に応じて［デバイス名］と［コメント］を入力し、［次へ］をクリックします。



7 ［NetWare］に✓印を付け、［次へ］をクリックします。



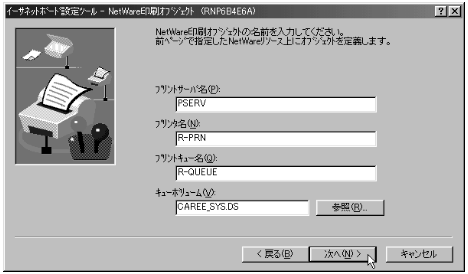
8 ［NDSモード］をクリックして選択し、［ファイルサーバ名］、［NDSツリー］、［NDSコンテキスト名］を入力し、［次へ］をクリックします。



補足

- ❒ [ファイルサーバ名] には、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名（この例ではCAREE）を入力します。[参照] をクリックして、一覧からファイルサーバーを選択することもできます。
- ❒ [NDSツリー] には、プリントサーバーを作成するNDSツリーの名前を入力します。[参照] をクリックして、一覧からNDSツリーを選択することもできます。
- ❒ [NDSコンテキスト名] には、プリントサーバーを作成するコンテキストを入力します。コンテキストは、Rootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド(.)で区切って入力します。たとえば、Root上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORK にプリントサーバーを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。[参照] をクリックして、一覧からNDSコンテキストを選択することもできます。

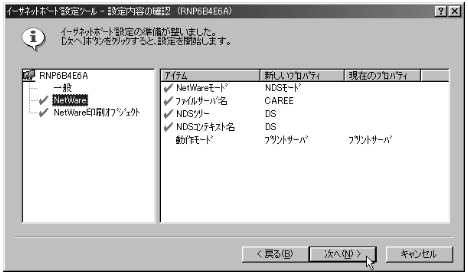
9 **[プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名]、[キューボリューム] を入力し、[次へ] をクリックします。**



補足

- ❒ [プリントサーバ名] には、NetWareのプリントサーバー名（この例では、PSERV）を英数字で47文字以内で入力します。
- ❒ [プリンタ名] には、NetWare のプリンター名（この例では、R-PRN）を入力します。
- ❒ [プリントキュー名] には、NetWare上に追加するプリントキューの名前（この例の場合 R-QUEUE）を入力します。
- ❒ [キューボリューム] には、キューを作成するボリュームを入力します。ボリュームは、オブジェクトを下の階層から順にピリオドで区切って入力します。[参照] をクリックして、一覧からボリュームを選択することもできます。

10 設定を確認し、[次へ]をクリックします。



設定が反映され、イーサネット設定ツールが終了します。

11 Ridoc IO Adminを終了します。

補足

- ❒ 本機が設定どおり動作しているか確認するには、コマンドプロンプトで次のように入力します。

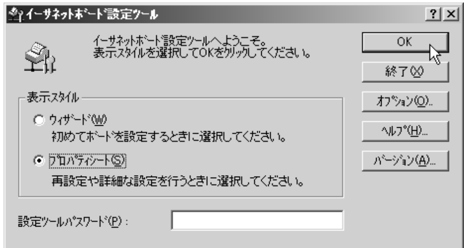
  `F:> NLIST USER /A/B`

- ❒ 正しく動作していると、接続しているユーザー名としてプリントサーバー名（この例ではPSERV）が表示されます。

NetWare 5.xJ のピュア IP 環境でご使用の場合

NetWare 5.xJのピュアIP環境でキューベースのプリントサーバーを作成する場合、NetWareアドミニストレータを使用してファイルサーバー上にプリントキューを作成する必要があります。この場合、P.63「プリントサーバーとして使う」の手順5以降を次のように操作してください。

1 [プロパティシート]をクリックして選択し、[OK]をクリックします。



2 [NetWare] タブをクリックします。



3 環境を設定します。

❶ [プリントサーバ名] ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

補足

❒ 半角英数字47文字以内で入力してください。

❷ [ファイルサーバ名] に、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名を入力します。

[参照] をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。

❸ [NDSコンテキスト名] に、プリントサーバーのコンテキストを入力します。

[参照] をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。

補足

❒ コンテキストは、Root からのオブジェクトを下の階層から順にピリオド (.) で区切って入力します。たとえば、Root 上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORK にプリントサーバーを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

❹ [動作モードグループ] の [プリントサーバ] をクリックして選択します。



❺ [OK] をクリックします。

イーサネット設定ツールが終了します。

4 Ridoc IO Adminを終了します。

この後の操作は、P.69「リモートプリンターとして使う」の手順**9**以降を参考にして操作してください。ただし、手順**14**-❸〜❺の操作は不要です。

リモートプリンターとして使う

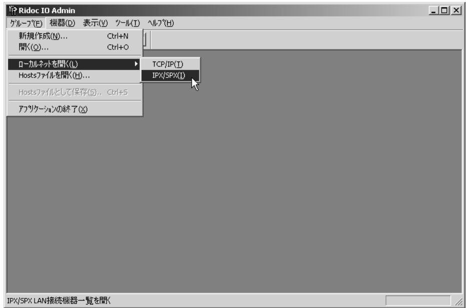
重要

- ❒ NetWare 4.xJ、NetWare 5.xJでリモートプリンターとして使用する場合は、NDSモードで使用してください。
- ❒ NetWare 5.xJのピュアIP環境の場合、リモートプリンターとして使用できません。

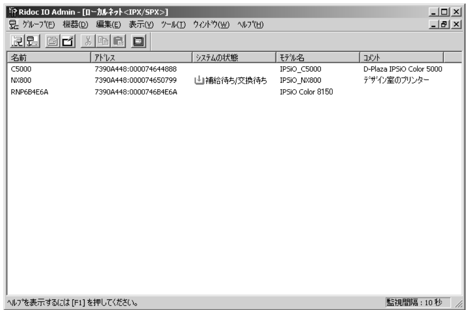
1 サーバーにAdminでログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 [グループ] メニューの [ローカルネットを開く] をポイントし、[IPX/SPX] を選択します。



設定できる機器の一覧が表示されます。



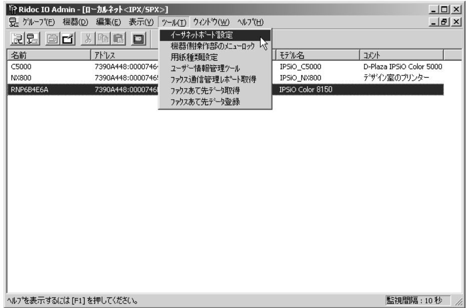
補足

- 一覧に表示される機器名のうち、どれが本機かわからないときは、本機からシステム設定リストを印刷し、そのリストに記載されている機器名とRidoc IO Adminの一覧を比較して、該当する機器を探してください。システム設定リストの印刷方法については、P.166「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- 本機の機器名がRidoc IO Adminの一覧に表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプは、Windowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。本機のフレームタイプの変更方法については、使用説明書＜システム設定編　1　スキャナーユニット　タイプ 8100 対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

制限

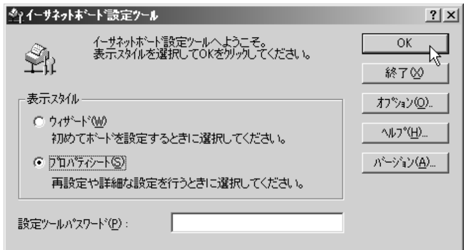
- Ridoc IO Adminの機器の一覧には、リコー以外の機器が表示されることがあります。Ridoc IO Admin　はリコー以外の機器には対応していませんので、それらの機器は選択しないでください。

4 設定する機器をクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。



イーサネットボード設定ツールが起動します。

5 ［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。



6 [NetWare]タブをクリックします。



7 環境を設定します。

❶ [プリントサーバ名]ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

補足

❒ 半角英数字 47 文字以内で入力してください。

❷ [ファイルサーバ名]に、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名を入力します。

補足

❒ [参照]をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。

❸ [動作モードグループ]の[リモートプリンタ]をクリックして選択します。



❹ [リモートプリンタ番号]ボックスにプリンター番号を入力します。

重要

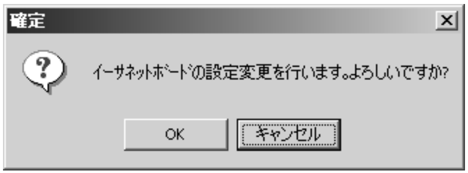
❒ プリントサーバー上に作成するプリンターの番号と一致させてください。

❺ ［OK］をクリックします。



確認の画面が表示されます。

❻ ［OK］をクリックします。



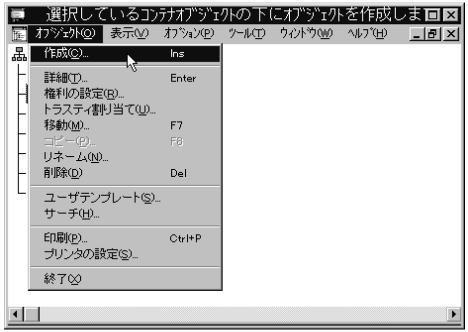
イーサネットボード設定ツールが終了します。

8 Ridoc IO Adminを終了します。

9 Windows上でNetWareアドミニストレータを起動します。

10 プリントキューを作成します。

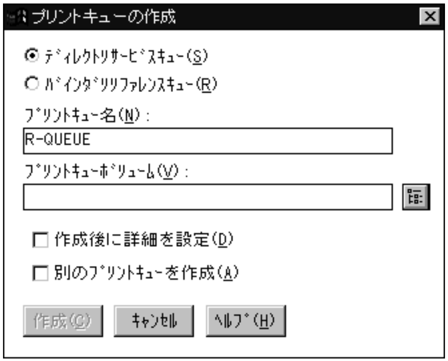
❶ 印刷オブジェクトを作成する部門オブジェクトまたは組織オブジェクトをディレクトリツリーから選び、［オブジェクト］メニューの［作成］をクリックします。



❷ [オブジェクトクラス]ボックスの「プリントキュー」をクリックして反転表示させ、[OK]をクリックします。

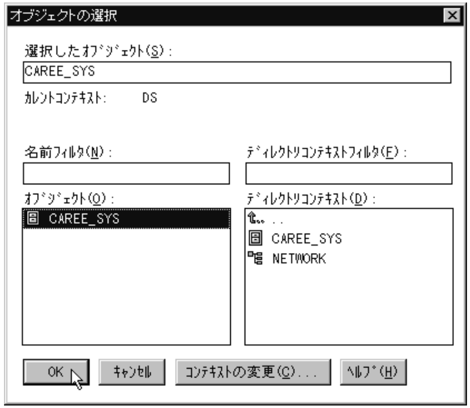


❸ [プリントキュー名] ボックスにプリントキューの名前を入力します。

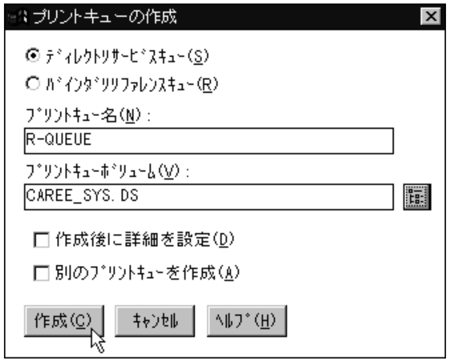


❹ [プリントキューボリューム] ボックスのブラウザボタンをクリックします。

❺ [オブジェクト] ボックスでプリントキューを作成するボリュームをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



❻ 設定内容を確認し、[作成] をクリックします。



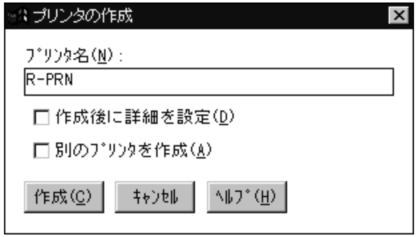
11 プリンターを作成します。

❶ 部門または組織オブジェクトを選び、［オブジェクト］メニューの［作成］をクリックします。

❷ ［オブジェクトクラス］ボックスの「プリンタ」をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



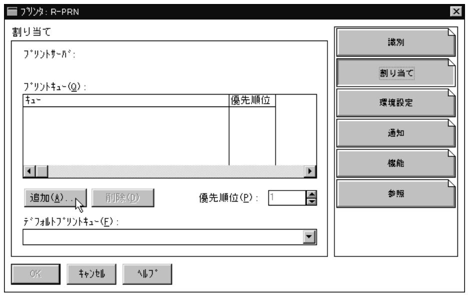
❸ ［プリンタ名］ボックスにプリンターの名前を入力します。



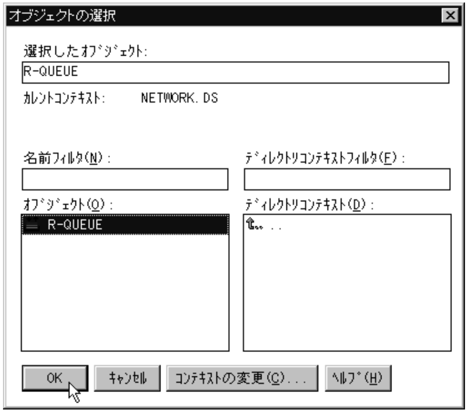
❹ ［作成後に詳細を設定］をクリックして✓印を付け、［作成］をクリックします。

12 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。

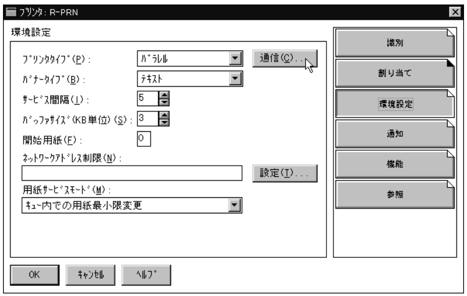
❶ ［割り当て］をクリックし、［割り当て］グループの［追加］をクリックします。



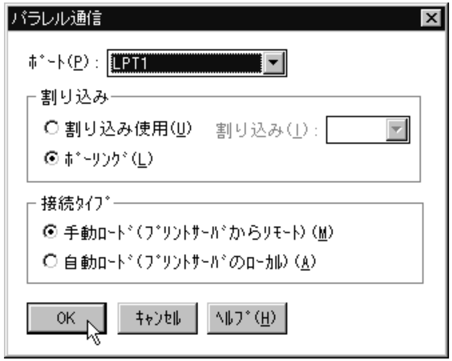
❷ ［オブジェクト］ボックスで、手順10で作成したキューをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



❸ ［環境設定］をクリックし、［プリンタタイプ］ボックスのドロップダウンメニューから「パラレル」を選び、［通信］をクリックします。



❹ ［接続タイプ］グループの［手動ロード］をクリックし、［OK］をクリックします。



❺ 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

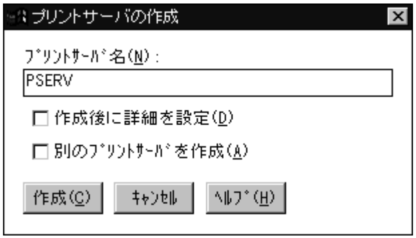
13 プリントサーバーを作成します。

❶ 部門または組織オブジェクトを選び、［オブジェクト］メニューの［作成］をクリックします。

❷ [オブジェクトクラス]ボックスの「プリントサーバ」をクリックして反転表示させ、[OK]をクリックします。



❸ [プリントサーバ名] ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。



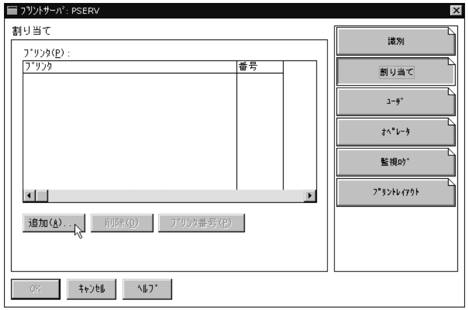
重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバー名（手順7-❶）と一致させてください。

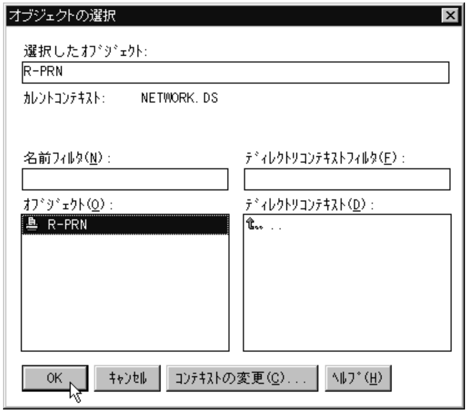
❹ [作成後に詳細を設定] をクリックして✓印を付け、[作成] をクリックします。

14 作成したプリントサーバーにプリンターを割り当てます。

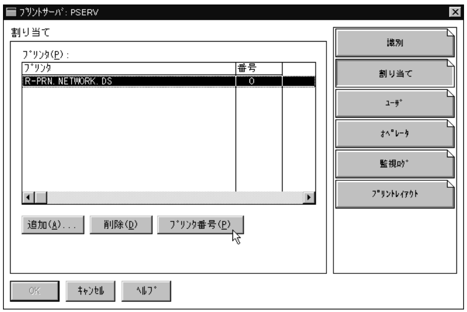
❶ [割り当て]をクリックし、[割り当て]グループの [追加] をクリックします。



❷ ［オブジェクト］ボックスで、手順11で作成したプリンターをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



❸ ［プリンタ］グループで、手順❷で割り当てたプリンターをクリックして反転表示させ、［プリンタ番号］をクリックします。



❹ プリンター番号を入力し、［OK］をクリックします。



重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したリモートプリンター番号（手順7-❹）と一致させてください。

❺ 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

15 NetWareサーバーのコンソールから次のように入力して、プリントサーバーを起動します。

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ 停止する

```
CAREE: unload pserver
```

❖ 起動する

```
CAREE: load pserver
```

ドキュメントボックスとは

ドキュメントボックスとは、コピー、ファクス送信、スキャナーで読み取った文書を本機のハードディスクに蓄積しておく機能です。蓄積した文書は、後から印刷したり[*1]、ファクス送信したり[*2]、パソコンで利用[*3]することができます。また、パソコンからのリモート操作も可能です。ドキュメントボックスに蓄積できる文書は、原稿ガラス、自動原稿送り装置(ADF)から読み取ったデータです。

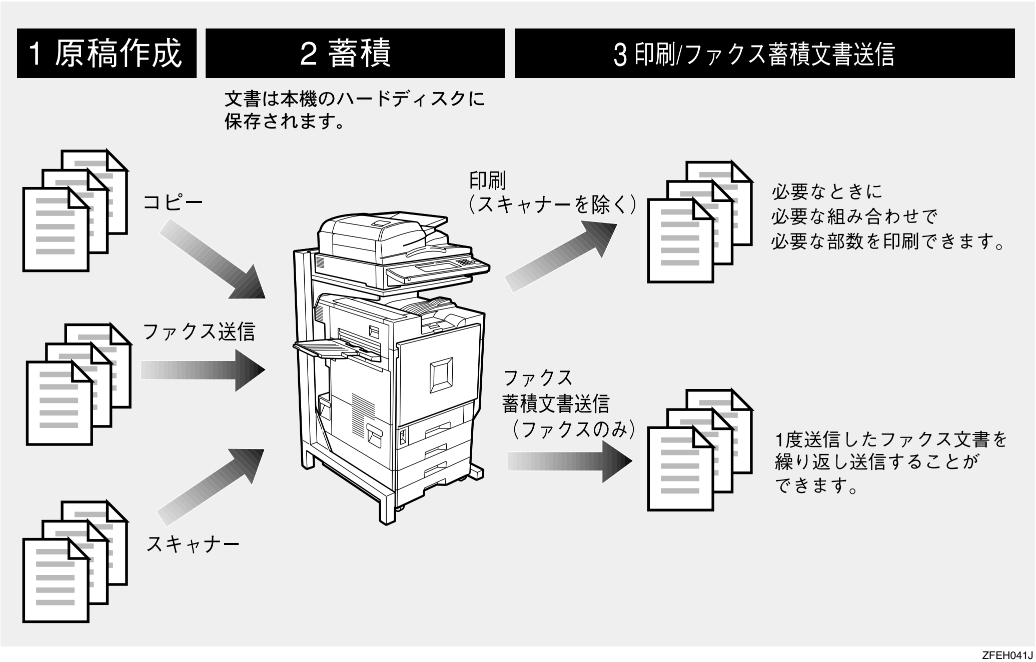
またプリンター機能では、試し印刷、機密印刷という機能を使用して、文書を本機のハードディスクに蓄積することができます。詳細については、＜プリンタークライアント編 補足版＞「試し印刷／機密印刷を行う」を参照してください。

*1　スキャナー機能で蓄積した文書は印刷できません。

*2　ファクス送信ができるのはファクス機能で蓄積した文書だけで、ファクスの画面から操作します。

*3　パソコンで利用するためには、Ridoc Desk 2000 / Lt が必要です。⇒ P.87 「パソコンからの操作」

※このイラストでは、オプションを装着した場合を示しています。



制限

- スキャナー機能、ファクス機能で蓄積した文書は、ドキュメントボックス機能の一覧には表示されません。

重要

- 電源ランプが点灯、点滅しているときは、本機の主電源スイッチを「OFF」にしないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。

❒ **本機に強い衝撃を与えないでください。ハードディスクが破損し、蓄積された文書が消失することがあります。**

❒ **万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。 ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。**

各機能とドキュメントボックスの関係

各機能とドキュメントボックスの関係を示します。

機能名	蓄積方法	一覧表示	印刷	送信
コピー	コピー／ドキュメントボックス	表示される	可	不可
ファクス	ファクス	表示される	可	可
スキャナー	スキャナー	表示されない	不可	不可

参照

ファクス機能を使用した蓄積、送信の手順、蓄積文書の操作方法については、使用説明書＜ファクス機能 応用編＞「蓄積文書指定」、「ドキュメントボックスを利用する」を参照してください。

スキャナー機能を使用した蓄積、蓄積文書の操作方法については、使用説明書＜スキャナー機能編＞「ドキュメントボックスを使う」を参照してください。

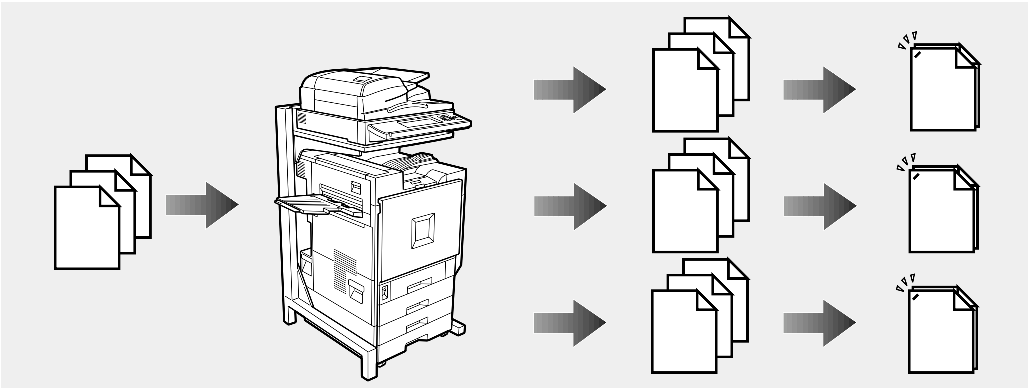
こんなことができます

必要に応じて印刷する

❖ **こんなことはありませんか**

何回も同じ原稿をコピーするとき、保管してある原稿を探し出してこなくてはならないというように時間を無駄にしていませんか？

また、その原稿を両面印刷やステープル処理をしたものを複数部用意するとき、一度両面コピーしてから手作業でステープルをする仕事に手間や時間をかけていませんか？



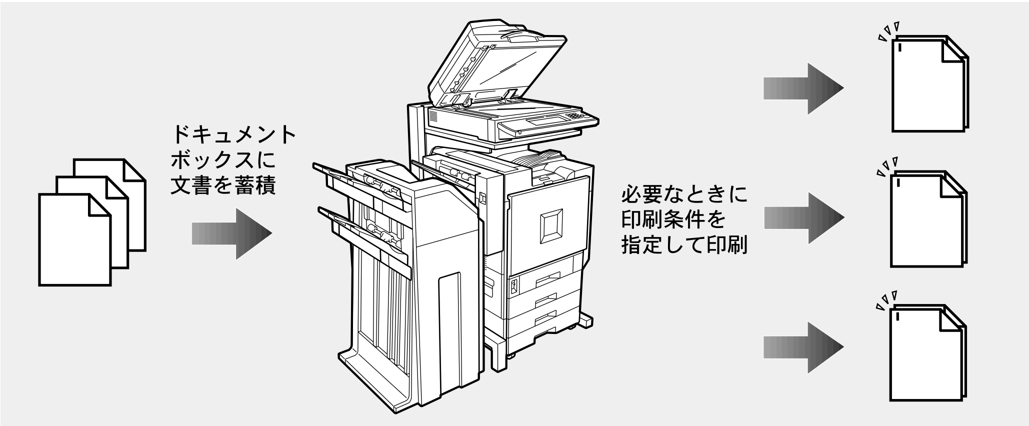
ZFQX010J

❖ **ドキュメントボックスを利用すると**

原稿をドキュメントボックスに蓄積しておけば、必要なときに必要な条件（両面コピー、ステープルなど）でコピーすることができます。

補足

- ❒ **パスワードを使用して、印刷ができる人を制限することもできます。**
- ❒ **ステープルをするには、オプションの2000枚フィニッシャーが必要です。**
- ❒ **両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。**



ZFQX020J

原稿やデータをまとめて印刷する

❖ こんなことはありませんか
濃さ・サイズ・紙厚など、条件の異なる原稿を1冊にまとめたいことはありませんか？

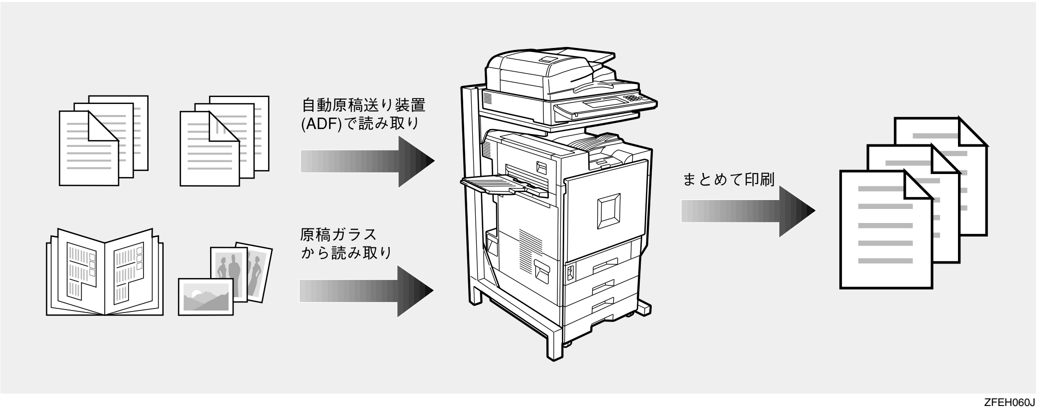


❖ ドキュメントボックスを利用すると

それぞれの原稿を個別にドキュメントボックスに蓄積して、印刷の順番を指定すれば1冊にまとめあげることが可能です。自動原稿送り装置(ADF)にセットできる原稿とコンタクトガラスからしか読み取れない原稿が混在していても問題ありません。

補足

- ❒「試しコピー」を利用して（⇒ P.120 「トレイ3」）、印刷状態を確認するために１部だけ先行して出力することができます。思ったとおりに印刷できない文書があっても、読み取り直すだけで対処できます。

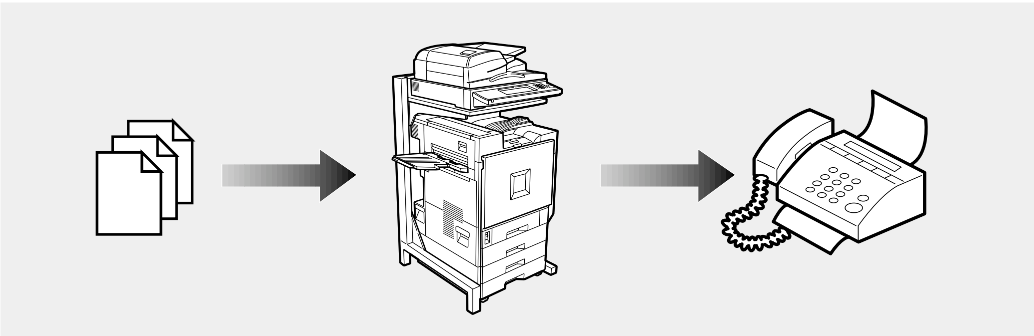


ファクス蓄積文書送信

蓄積したファクス送信文書を繰り返し送信することができます。送信の手順、詳細については、使用説明書＜ファクス機能 応用編＞「蓄積文書指定」を参照してください。

❖ **こんなことはありませんか**
一度送った原稿を再度送りたいときに、もう一度原稿を用意していませんか？

❖ **ドキュメントボックスを利用すると**
メモリー内に原稿のデータが蓄積されているので、いつでも送信することができます。
前回送った原稿データに紙の原稿を追加して送ることもできます。



ZFEH800J

パソコンからの操作

ネットワーク上のパソコンにインストールしたRidoc Desk 2000 LtまたはRidoc Desk 2000を使って、ドキュメントボックスに蓄積した文書の内容を簡易表示し、確認して印刷したり、操作することができます。本機の近くで操作しなくても、離れた場所からパソコンで蓄積文書を操作することができます。

補足

❒ パソコンでできるおもな操作は次のとおりです。

- 文書名やユーザー名で検索する
- 文書の1ページ目の内容を簡易表示する＜イージービューア＞
- 文書情報を表示する・文書名やパスワードを変更する＜プロパティ＞
- 文書を削除する＜削除＞
- 文書を印刷する（スキャナー機能を除く）＜蓄積文書の印刷＞
- ファクス文書をファクス送信する＜蓄積文書のファクス送信＞

❒ ドキュメントボックスに蓄積した文書をパソコンで利用するには、Ridoc Desk 2000 Lt（本機に同梱）またはRidoc Desk 2000（別売り）が必要です。

参照

Ridoc Desk 2000 / Ltの詳細については、Ridoc Desk 2000 / Lt の使用説明書およびヘルプをご覧ください。

文書を蓄積する

自動原稿送り装置(ADF)や原稿ガラスから原稿を読み取り、ドキュメントボックスに蓄積します。読み取った文書には、「COPY0001」「COPY0002」のように文書名が自動的に付けられます。

ここでは、ドキュメントボックスを使って蓄積する方法、およびドキュメントボックスで蓄積した文書の印刷・消去・検索について説明します。

参照

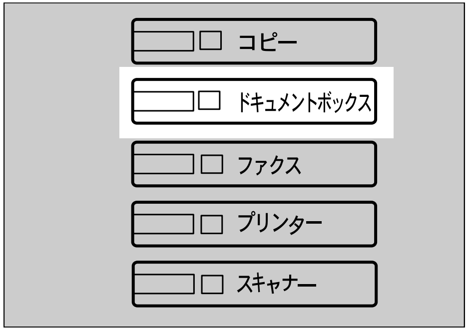
ドキュメントボックス以外の機能を使用した文書の蓄積方法については、各機能の使用説明書を参照してください。

補足

- ❒ ドキュメントボックスに保存された文書は、一定日数経過すると自動的に消去されるように設定されています。詳しくはP.137 「蓄積文書自動消去設定」を参照してください。
- ❒ ドキュメントボックスに保存された文書名は、変更できます。
- ❒ ドキュメントボックスに保存された文書名をほかの人に印刷されないように、パスワードを設定できます。
- ❒ 文書蓄積後しばらくの間は、蓄積した文書のユーザー名や文書名などを変更できない場合があります。
- ❒ カラー印刷中にカラー原稿の読み取りを行おうとした場合、スキャナーの動作開始とランプ点灯のタイミングが実際より大きくずれることがあります。

ドキュメントボックス機能で読み取る

1 【ドキュメントボックス】キーを押します。



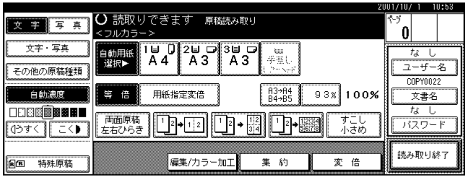
ZFEH100J

文書選択画面が表示されます。

2 [原稿読み取り] を押します。



3 **必要に応じてユーザー名、文書名、パスワードを設定します。**

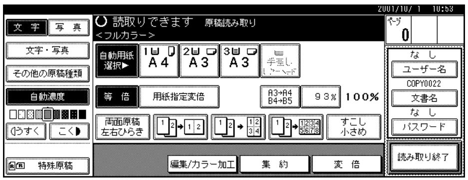


補足

- ❒ ユーザー名、文書名、またはパスワードを設定しないときは、手順 **4** に進みます。
- ❒ 文書名を変更しないときは、自動で文書名が設定されます。

ユーザー名を登録・変更するとき

❶ ［ユーザー名］を押します。



ユーザー名がすでに登録されているときは、次の手順に進んでください。

ユーザー名が登録されていないときは、手順❸に進んでください。

❷ 登録されているユーザー名に変更する場合は、ページの中からユーザー名を選択し、［OK］を押します。



これで、登録されているユーザー名に変更できました。

登録されていないユーザー名に変更する場合は、次の手順に進んでください。

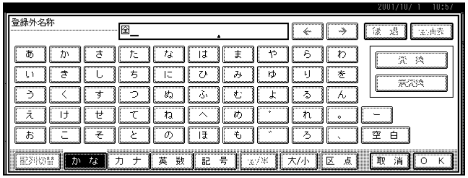
参照

ユーザーの登録方法については、P.139「ユーザーコードを登録する」を参照してください。

❸ 登録されていない名称を入力する場合は、［登録外名称］を押します。



❹ ユーザー名を入力します。



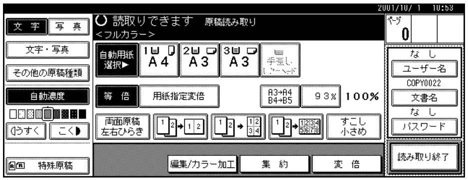
参照

文字の入力方法については、P.157「文字の入力方法」を参照してください。

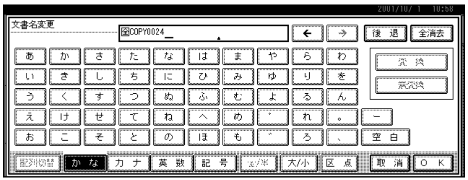
❺ [OK] を押します。

文書名を変更するとき

❶ [文書名] を押します。



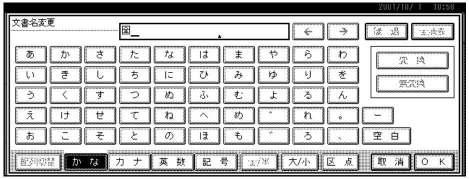
❷ [全消去] を押して、文書名を消去します。



補足

❒ [後退] で、任意の箇所まで消去することもできます。

❸ 文書名を入力します。



補足

❒ 文書名は10文字まで入力できますが、一覧で表示される文書名は8文字までです。

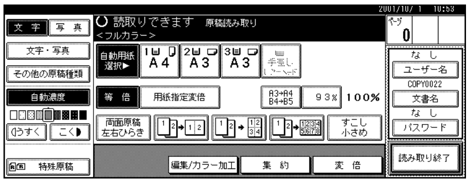
参照

文字の入力方法については、P.157「文字の入力方法」を参照してください。

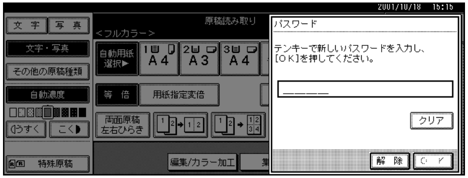
❹ [OK] を押します。

パスワードを設定／変更するとき

❶ [パスワード] を押します。



❷ テンキーで4桁のパスワードを入力します。



補足

- ❒ 間違えたときは［クリア］を押し、入力し直します。

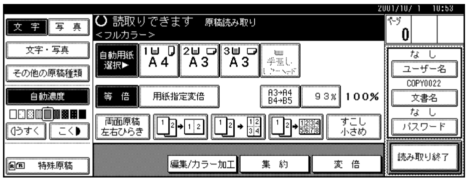
❸ ［OK］または【#】キーを押します。

4 原稿をセットします。

参照

セットできる原稿の種類や原稿のセット方法については、使用説明書＜コピー機能編＞を参照してください。

5 原稿の読み取り条件を設定します。



補足

- ❒ 一度も読み取られていない状態で［読み取り終了］を押すと、文書名、パスワードまたは印刷条件などの設定がクリアされて、文書選択の画面に戻ります。

参照

読み取り条件の各設定の詳細については、使用説明書＜コピー機能編＞を参照してください。

6 【スタート】キーを押します。

原稿が読み取られます。ドキュメントボックスに文書が保存され、印刷文書選択画面が表示されます。印刷文書選択画面には、蓄積した文書が表示されます。

補足

- ❒ 読み取りを中断するときは、**【クリア／ストップ】**キーを押します。表示された確認画面で［継続］を押すと読み取りが再開され、［中止］を押すと読み取り済みの画像が消去されて、自動原稿送り装置(ADF)の原稿が排出されます。
- ❒ パスワードを設定すると、文書名の左側にカギマークが表示されます。

7 ［読み取り終了］を押します。

ドキュメントボックスに保存された文書のユーザー名、文書名、またはパスワードを変更するとき

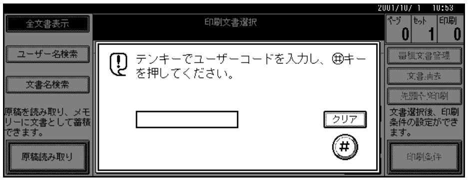
1 ユーザー名、文書名、またはパスワードを変更する文書を選択します。



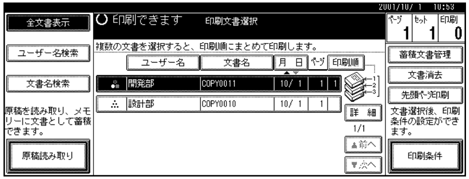
- パスワードが設定されていない場合は、選択した文書が反転表示されます。



- パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。
  パスワードを入力して、［実行］を押します。



選択した文書が反転表示されます。



2 ［蓄積文書管理］を押します。



3 ［ユーザー名変更］、［文書名変更］、または［パスワード変更］を押します。



4 **それぞれの変更画面で、新しいユーザー名、文書名、またはパスワードを入力して、[OK] を押します。**

参照

ユーザー名を変更するときは、P.89「ユーザー名を登録・変更するとき」**を参照してください。**

文書名を変更するときは、P.90「文書名を変更するとき」**を参照してください。**

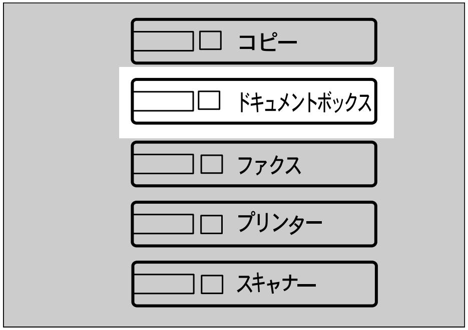
パスワードを変更するときは、P.90「パスワードを設定／変更するとき」**を参照してください。**

5 **[OK] を押します。**

文書を印刷する

ドキュメントボックスに蓄積された文書を選択して印刷します。

1 【ドキュメントボックス】キーを押します。

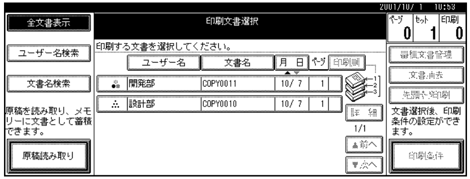


ZFEH100J

文書選択画面が表示されます。



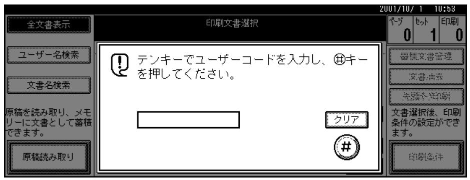
2 印刷する文書を選択します。



- **パスワードが設定されていない場合は、選択した文書が反転表示されます。**



- **パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。**
  パスワードを入力して、［実行］を押します。



選択した文書が反転表示されます。



補足

- ❒ 画面左上の［ユーザー名検索］または［文書名検索］で、目的の文書を検索することができます。⇒ P.106 「文書を検索する」
- ❒ ［ユーザー名］、［文書名］、［月日］を押すと、それぞれの項目で文書をソートすることができます。
- ❒ 画面をスクロールさせるには、［▲前へ］［▼後へ］を押します。
- ❒ 文書名から目的の文書がわからないときは、文書の 1 ページ目だけを印刷して確認できます。内容を確認したい文書を選択して、画面右側の［先頭ページ印刷］を押してください。
- ❒ 選択を取り止める場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。

3 複数の文書をまとめて印刷するときは、印刷したい順に手順 **2** の操作を繰り返します。

選択した順番が、各文書の「印刷順」の欄に表示されます。



補足

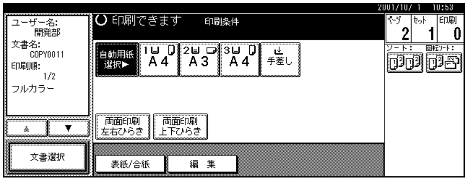
- ❒ 30文書まで指定できます。
- ❒ 選択した複数の文書で、サイズや解像度が異なっていると印刷できない場合があります。
- ❒ 順番を変えたいときは、反転表示を解除させてから正しい順番で指定し直してください。
- ❒ 【リセット】キーを押すと、すべての選択が解除されます。
- ❒ ［印刷順］を押すと選択した文書が印刷順に並んで表示されます。



4 印刷条件を設定するときは、[印刷条件] を押します。



印刷条件の画面が表示されます。文書のユーザー名、文書名、およびこの文書の印刷順が表示されます。



補足

- ❒ コピー、プリンター機能では、設定した印刷条件が印刷終了後も記憶され、次の印刷時に適用されます。ファクス機能では、印刷条件は記憶されません。
- ❒ 複数の文書を指定した場合、最初の文書については印刷条件が記憶されますが、それ以外の文書については印刷条件が記憶されません。
- ❒ 印刷条件には次の設定項目があります。それぞれの印刷結果については、使用説明書<コピー機能編>を参照してください。

❖ 製本の形式

- 両面印刷左右ひらき
- 両面印刷上下ひらき

❖ 表紙の扱い

- 表紙／合紙
- 編集

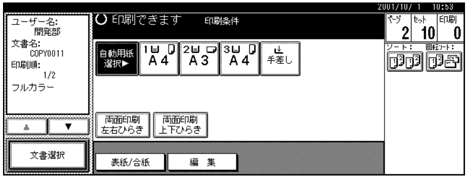
❖ 仕上げ

- ソート
- スタック
- ステープル

- ❒ ソート機能を選択して複数部数を印刷するときは、1部だけ印刷して仕上がりを確認することができます。⇒ P.120 「トレイ3」
- ❒ 複数の文書を一度に印刷するときは、最初に印刷される文書の印刷条件がすべての文書に対して適用されます。
- ❒ 複数の文書を選択した場合、[▲] [▼] を押して、手順 **3** で選択した文書のユーザー名、文書名、印刷順を確認することができます。
- ❒ [文書選択] を押すと、文書選択の画面に戻ります。

5 印刷部数をテンキーで入力します。

セット欄に印刷部数が表示されます。



補足

- ❒ 99部まで指定できます。
- ❒ 間違えたときは、【クリア／ストップ】キーを押して入力し直します。

6【スタート】キーを押します。

印刷が始まります。

補足

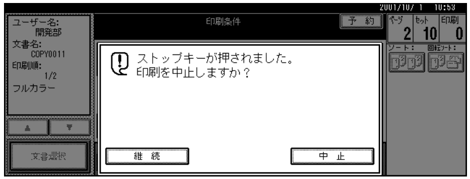
- ❒ 印刷を中断するときは、【クリア／ストップ】キーを押します。表示された確認画面で［継続］を押すと、残りの印刷が再開され、［中止］を押すと印刷が中止されます。

印刷を中止する

印刷を中止することができます。

1【クリア／ストップ】キーを押します。

確認の画面が表示されます。



2 ［中止］を押します。

印刷が中止されます。

補足

- ❒ 印刷の中止を取り止める場合は、［継続］を押します。残りの印刷が再開されます。

印刷中に印刷部数を変更する

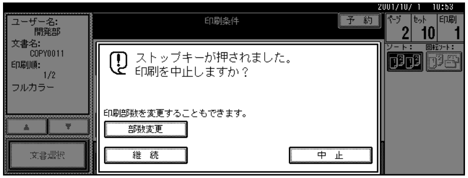
印刷中に印刷部数を変更することができます。

制限

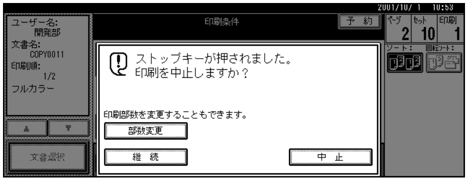
- ❒ 印刷条件で、ソート機能を選択している場合に有効です。

1【クリア／ストップ】キーを押します。

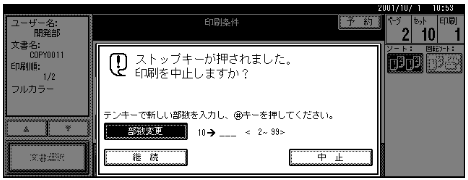
確認の画面が表示されます。



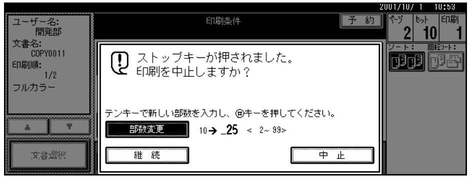
2［部数変更］を押します。



3テンキーで新たに印刷部数を入力します。



4【#】キーを押します。



5［継続］を押します。

印刷が再開します。

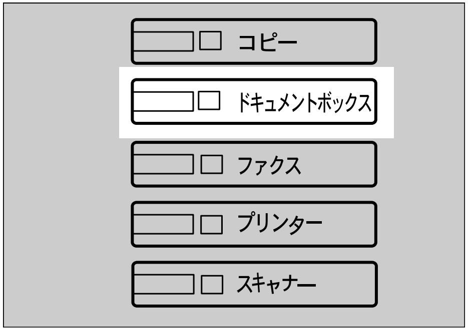
試しコピー

印刷部数が多いときは、選択した文書の順番や印刷条件が適切かどうかを確認するために、1 部だけを先行して印刷することができます。これを「試しコピー」といいます。

制限

❒ 印刷条件で、ソート機能を選択している場合に有効です。

1 【ドキュメントボックス】キーを押します。



ZFEH100J

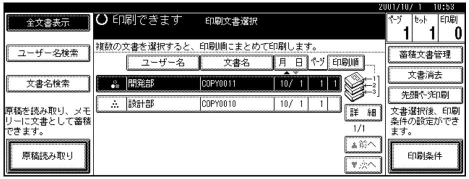
文書選択画面が表示されます。



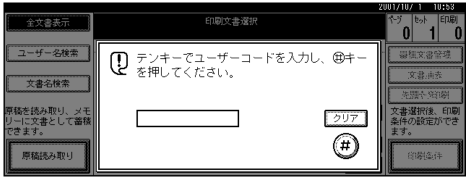
2 印刷する文書を選択します。



- パスワードが設定されていない場合は、選択した文書が反転表示されます。



- パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。
  パスワードを入力して、［実行］を押します。



選択した文書が反転表示されます。



補足

- ❒ 画面左上の［ユーザー名検索］または［文書名検索］で、目的の文書を検索することができます。⇒ P.106「文書を検索する」

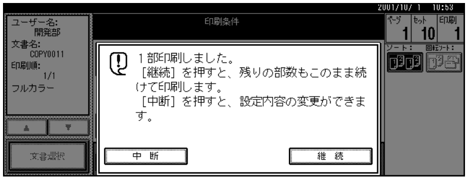
❒ ［ユーザー名］、［文書名］、［月日］を押すと、それぞれの項目で文書をソートすることができます。

❒ 画面をスクロールさせるには、［▲前へ］［▼後へ］を押します。

❒ 選択を取り止める場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。

3【試しコピー】キーを押します。

１部だけ印刷され、確認の画面が表示されます。



4［継続］を押します。

印刷が再開されます。

補足

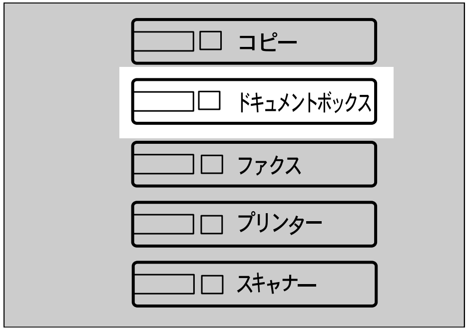
❒ 印刷を中止するときは、［中断］を押してください。印刷画面が表示されますので、設定し直してください。

先頭ページ印刷

文書選択画面で選択した文書の１ページ目だけを印刷して、内容を確認することができます。これを「先頭ページ印刷」といいます。

複数の文書を選択したときは、各文書の１ページ目が印刷されます。

1【ドキュメントボックス】キーを押します。



ZFEH100J

文書選択画面が表示されます。



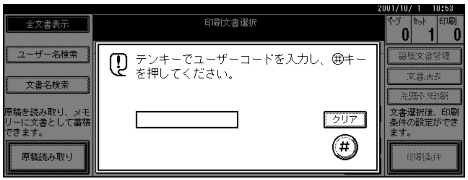
2 印刷する文書を選択します。



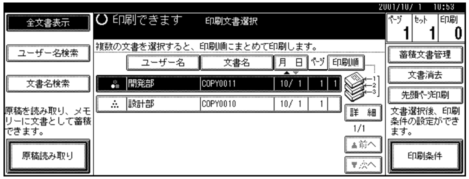
- パスワードが設定されていない場合は、選択した文書が反転表示されます。



- パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。
  パスワードを入力して、［実行］を押します。



選択した文書が反転表示されます。



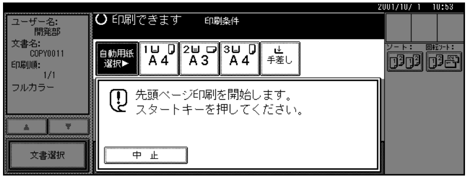
補足

- ❒ 画面左上の［ユーザー名検索］または［文書名検索］で目的の文書を検索することができます。⇒ P.106 「文書を検索する」
- ❒ ［ユーザー名］、［文書名］、［月日］を押すと、それぞれの項目で文書をソートすることができます。
- ❒ 画面をスクロールさせるには、［▲前へ］［▼後へ］を押します。
- ❒ 選択を取り止める場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。

3 ［先頭ページ印刷］を押します。



確認の画面が表示されます。



4 【スタート】キーを押します。

補足

❒ 先頭ページ印刷を中止するときは、[中止] を押します。

文書を消去する

不要になった文書を消去します。

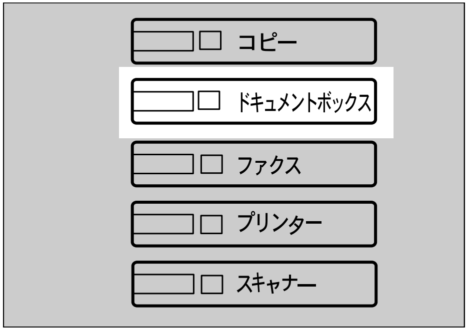
重要

- ❒ ドキュメントボックスに蓄積できる文書数は 1,000 件までです。これには、自動原稿送り装置（ADF）や原稿ガラスからドキュメントボックスに蓄積した文書も含まれます。蓄積されている文書が1,000件に達すると、新しい文書が蓄積されなくなります。ただし、蓄積文書数が1,000件に達しないときでも、次の場合は新しい文書は蓄積されません。不要になった文書はできるだけ削除してください。
    - 1文書の総ページ数が2,000ページを超えた場合
    - 蓄積文書総ページ数が9,000ページを超えた場合
    - ハードディスクがいっぱいになった場合（ドキュメントボックス以外の機能でハードディスクを使用している場合も含まれます）
- ❒ ドキュメントボックスに保存された文書は、一定日数経過すると自動的に削除されるように設定することができます。P.137 「蓄積文書自動消去設定」を参照してください。工場出荷時は、「3日」で消去されるように設定されています。

補足

- ❒ 保存されている文書をすべて一括して削除したい場合は、「蓄積文書一括消去」を使用します。P.137 「蓄積文書一括消去」を参照してください。

1 【ドキュメントボックス】キーを押します。



ZFEH100J

文書選択画面が表示されます。



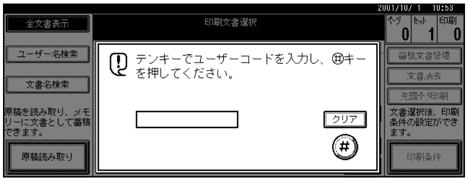
2 消去する文書を選択します。



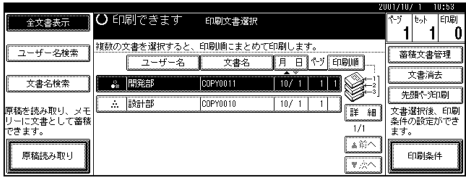
- パスワードが設定されていない場合は、選択した文書が反転表示されます。



- パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。
  パスワードを入力して［実行］を押します。



選択した文書が反転表示されます。



補足

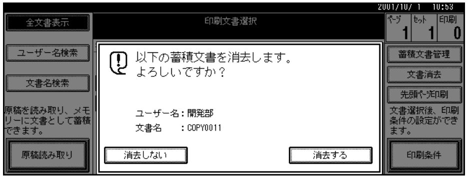
- ❒ 画面左上の［文書名検索］または［ユーザー名検索］で、目的の文書を検索することができます。P.106「文書を検索する」を参照してください。
- ❒ ［ユーザー名］、［文書名］、［月日］を押すと、それぞれの項目で文書をソートすることができます。
- ❒ 画面をスクロールさせるには、［▲前へ］［▼後へ］を押します。
- ❒ 文書名から目的の文書がわからないときは、文書の 1 ページ目だけを印刷して確認できます。内容を確認したい文書を選択して［先頭ページ印刷］（⇒ P.100）を押してください。
- ❒ 選択を取り止める場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。

3 複数の文書をまとめて消去するときは、手順 **2** の操作を繰り返します。

4 [文書消去] を押します。



確認の画面が表示されます。



5 [消去する] を押します。

選択した文書が消去されます。

補足

❒ 消去しない場合は、[消去しない] を押します。

文書を検索する

ドキュメントボックスに蓄積された文書は、[文書名検索] または [ユーザー名検索] のどちらからも検索することができます。蓄積された順で並んでいる文書データー覧を好みの順番に並び替えることもできます。また、Ridoc Desk 2000 / Ltをインストールすると、蓄積された文書をパソコンから検索したり、並び替えることができます。

参照

Ridoc Desk 2000 / Lt については、Ridoc Desk 2000 / Lt の使用説明書およびヘルプを参照してください。

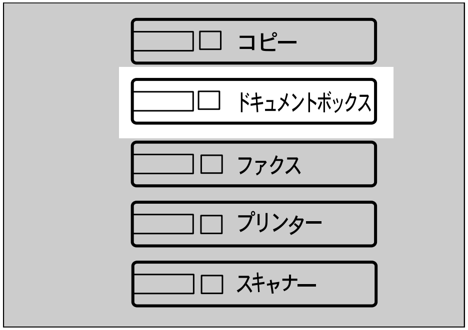
❖ **文書名で検索する**
蓄積されている文書を文書名から検索することができます。

❖ **ユーザー名で検索する**
蓄積されている文書をユーザー名から検索することができます。

文書名で検索するとき

ドキュメントボックスに蓄積された文書の中から、指定した文書名に該当する文書を検索します。

1 【ドキュメントボックス】キーを押します。



ZFEH100J

文書選択画面が表示されます。

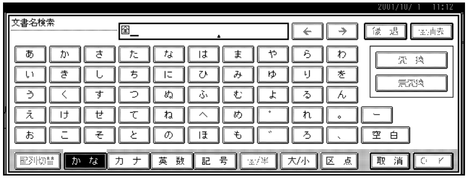
2 [文書名検索] を押します。



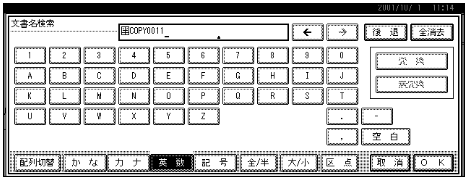
3 検索する文書名を入力します。

参照

文字の入力方法については、P.157「文字の入力方法」を参照してください。



4 [OK] を押します。

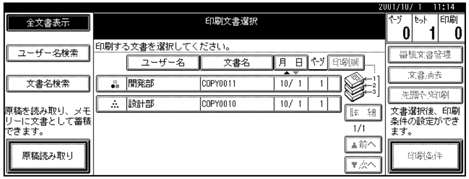


先頭文字から完全に一致する文書名が検索され、文書選択の画面に表示されます。



補足

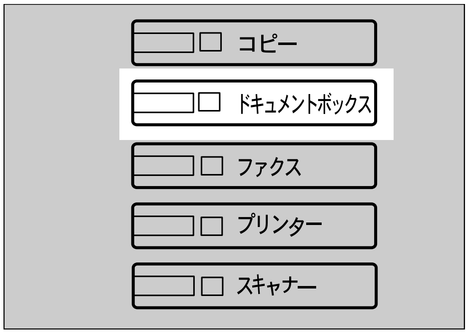
- [全文書表示] を押すと、蓄積されているすべての文書が表示されます。



ユーザー名で検索するとき

ドキュメントボックスに蓄積された文書の中から、指定したユーザー名に該当する文書を検索します。

1 【ドキュメントボックス】キーを押します。



ZFEH100J

文書選択画面が表示されます。

2 ［ユーザー名検索］を押します。

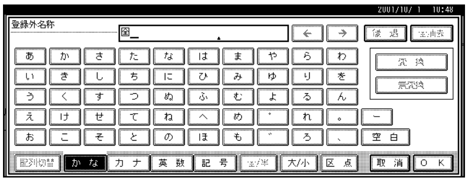


3 登録されているユーザー名を指定する場合、ページの中からユーザー名を選択し、[OK] を押します。



登録されていないユーザー名の場合は、次の手順に進んでください。

4 登録されていないユーザー名の場合、[登録外名称] を押し、表示される入力画面でユーザー名を入力して［OK］を押します。



参照

文字の入力方法については、P.157「文字の入力方法」を参照してください。

5 ［OK］を押します。



先頭文字から完全に一致するユーザー名が検索され、文書選択の画面に表示されます。



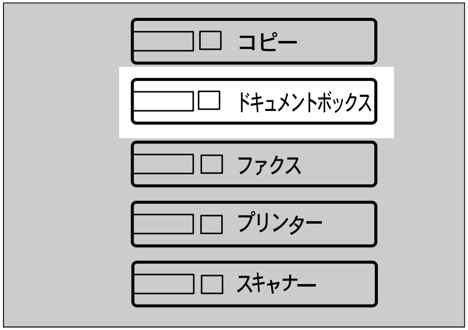
補足

❒ [全文書表示] を押すと、蓄積されているすべての文書が表示されます。



蓄積文書の詳細を表示する

1 【ドキュメントボックス】キーを押します。



ZFEH100J

文書選択画面が表示されます。

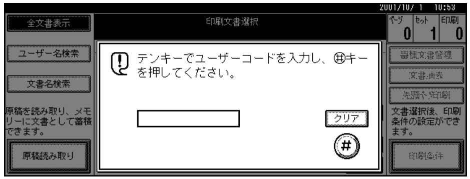
2 詳細を表示する文書を選択します。



- パスワードが設定されていない場合は、選択した文書が反転表示されます。



- パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。
  パスワードを入力して、［実行］を押します。



選択した文書が反転表示されます。



補足

- ❒ 画面左上の［ユーザー名検索］または［文書名検索］で、目的の文書を検索することができます。詳細については、P.106「文書を検索する」を参照してください。
- ❒ ［ユーザー名］、［文書名］、［月日］を押すと、それぞれの項目で文書をソートすることができます。
- ❒ 画面をスクロールさせるには、［▲前へ］［▼後へ］を押します。
- ❒ 文書名から目的の文書がわからないときは、文書の 1 ページ目だけを印刷して確認できます。内容を確認したい文書を選択して、画面右側の［先頭ページ印刷］を押してください。
- ❒ 選択を取り止める場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。

3 ［詳細］を押します。

文書の詳細が表示されます。



補足

- ❒ 複数の文書を選択しているときは、［▲］［▼］で順番に文書の情報を見ることができます。
- ❒ ［OK］を押すと、文書選択画面に戻ります。

設定を変更する

本機のご利用に合わせて、初期設定値や操作の条件を変更します。

補足

- ❒ 初期設定値の変更は、通常の機能とは異なる操作画面で行います。変更後は、P.112「初期設定の終了」を参照して、通常の操作画面に戻してください。
- ❒ 操作画面上で選択したボタンは反転表示されます。
- ❒ 変更した内容は、設定し直さないかぎり有効です。主電源スイッチを切ったり、【電源】キー、【リセット】キー、【予熱】キーを押しても、取り消されません。
- ❒ オプションの有無によって、画面例が異なる場合があります。ご了承ください。

初期設定の変更

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。



ZFQS010J

初期設定のメインメニュー画面が表示されます。

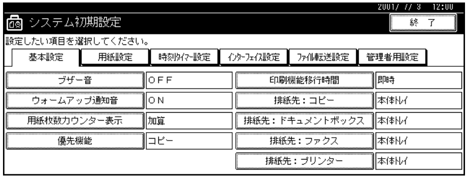
2 ［システム初期設定］を押します。

システム初期設定のメニュー画面が表示されます。



3 設定する項目を選択します。

それぞれの項目についての設定画面が表示されます。



4 画面のメッセージに従って初期設定値を変更し、[設定] を押します。

補足

- ❒ [設定] を押すと、機能が設定され、1つ前の選択画面に戻ります。
- ❒ [取消] を押すと、元の設定に戻り、1つ前の選択画面に戻ります。
- ❒ 初期設定値の変更を中止し、通常の画面に戻したいときは、**【初期設定／カウンター】**キーを押します。

初期設定の終了

1 初期設定値の変更後、初期設定のメインメニュー画面の [終了] を押します。



初期設定値の変更が終了して、コピーや印刷ができる状態に戻ります。

補足

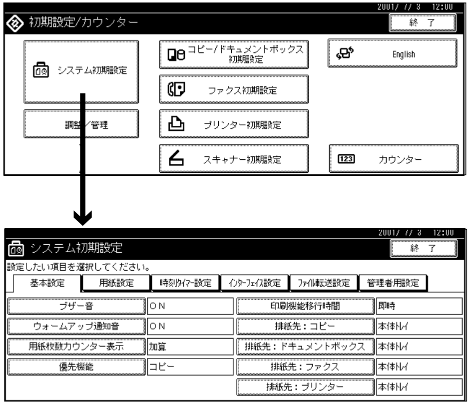
- ❒ 初期設定のメインメニュー画面の [終了] を押す代わりに、**【初期設定／カウンター】**キーを押しても終了できます。

機能一覧図（システム初期設定）

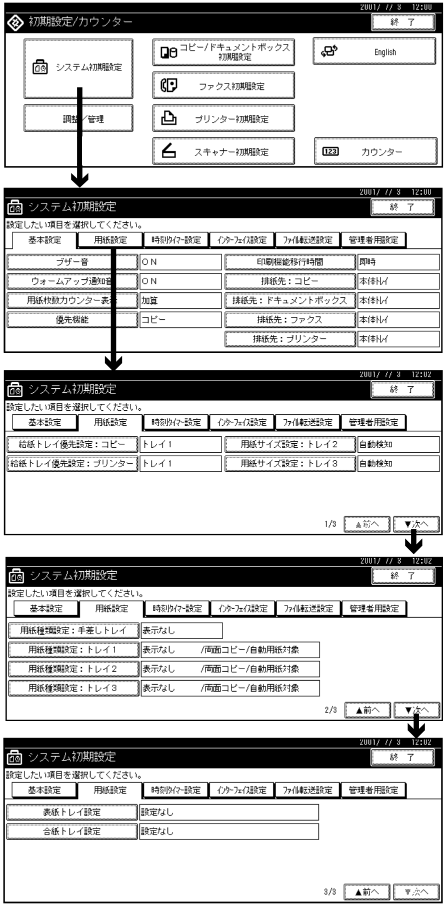
補足

❒ **プリンター機能では、[言語切り替え] で [English] を選択しても一部日本語表記のものがあります。**

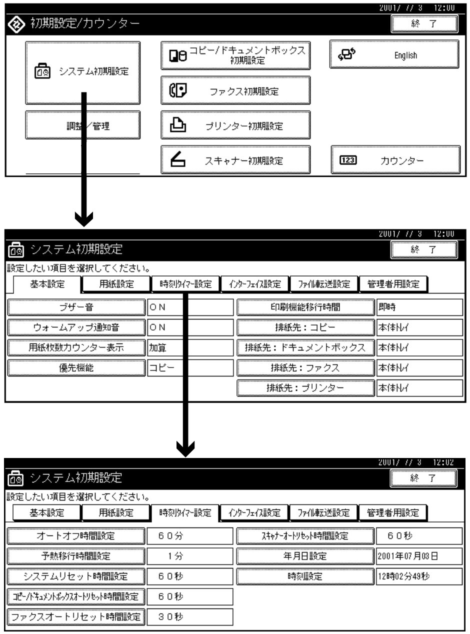
❖ **基本設定**（⇒ P.117）



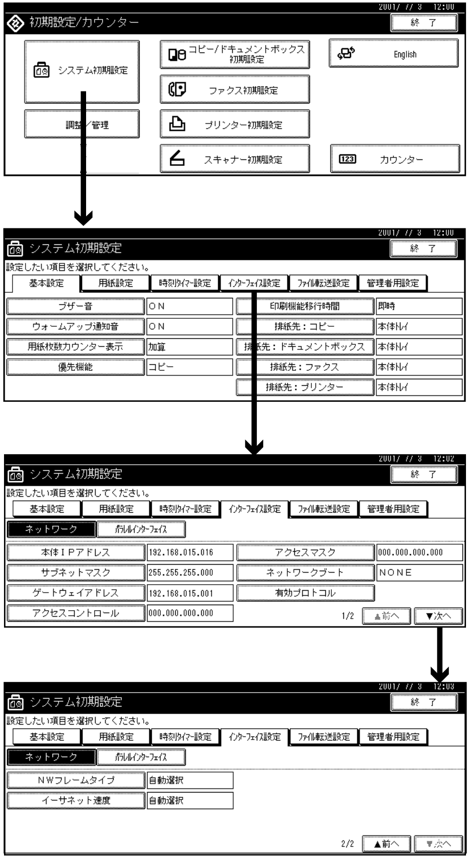
❖ 用紙設定（⇒ P.120）



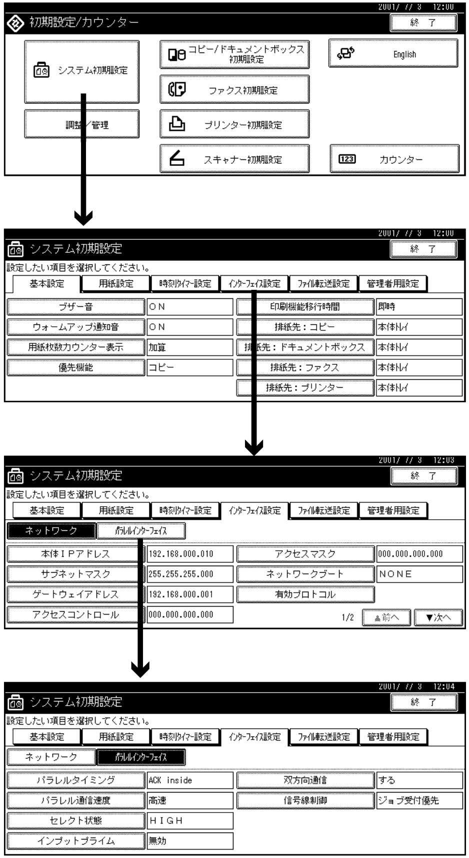
❖ 時刻タイマー設定（⇒ P.124）



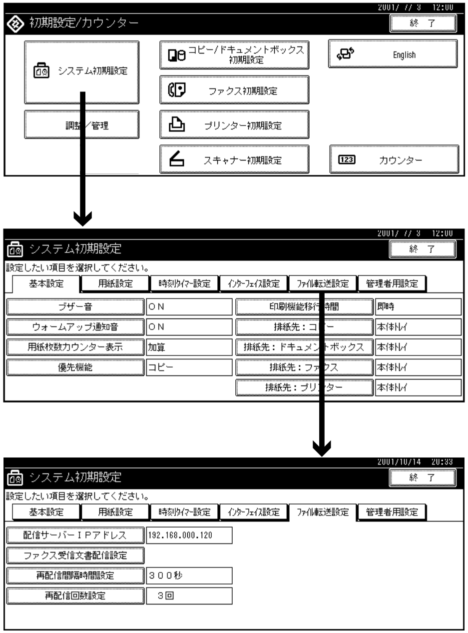
❖ インターフェイス設定／ネットワーク（⇒ P.127）



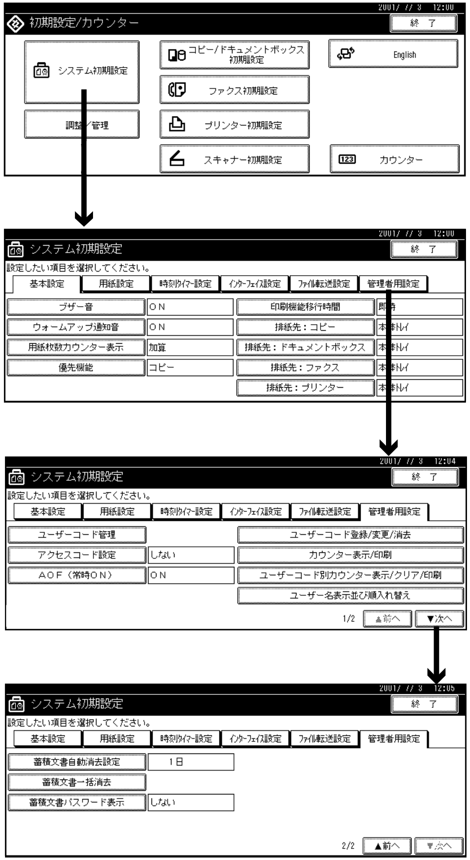
❖ インターフェイス設定／パラレルインターフェイス（⇒ P.130）



❖ ファイル転送設定（⇒ P.131）



❖ 管理者用設定（⇒ P.133）



設定項目の解説

参照

設定する項目の表示方法については、P.111「設定を変更する」を参照してください。

補足

❒ 下線が付いている項目は、工場出荷時の設定です。

基本設定

ブザー音

キーを押したときに、ブザー音を鳴らすかどうかを設定します。

- ON
- OFF

ウォームアップ通知音（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）

予熱を解除したときや電源を入れた後、コピー可能になったことを知らせるウォームアップ通知音を鳴らすかどうかを設定します。

- ON
- OFF

補足

❒「ブザー音」を「OFF」に設定した場合、「ウォームアップ通知音」を「ON」に設定しても、ウォームアップ通知音は鳴りません。

用紙枚数カウンター表示（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）

コピー枚数の表示方法を加算表示にするか減算表示にするかを設定します。

- 加算
- 減算

優先機能

電源を入れた直後やシステムリセットが行われた後、操作画面に優先的に表示される機能を設定します。

- コピー
- ドキュメントボックス
- ファクス
- プリンター
- スキャナー

印刷機能移行時間

マルチアクセス（⇒使用説明書＜システム設定編1＞「マルチアクセス」）で機能が切り替わるまでの待機時間を設定します。

1 枚ずつ設定を変更しながらコピーすることが多い場合、印刷機能移行時間の値を大きくしておくと、途中でほかの機能の印刷が始まってしまうことを防止できます。

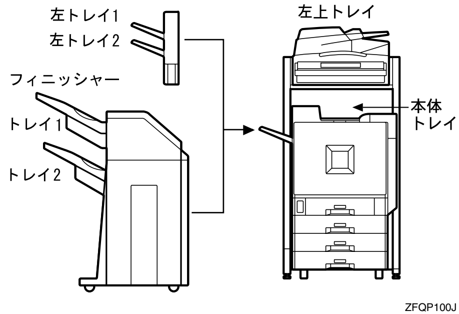
- 指定時間後
- 即時

補足

- ❒「指定時間後」を選択したときは、「3〜180」（秒単位）の範囲でテンキーで入力します。
- ❒ 工場出荷時は、「30秒」に設定されています。

排紙先：コピー（コピー機能のみ）

コピー機能の排紙先を設定します。



- 本体トレイ
- フィニッシャー・トレイ1
- フィニッシャー・トレイ2
- 左トレイ1
- 左トレイ2

排紙先：ドキュメントボックス（ドキュメントボックス機能のみ）

ドキュメントボックス機能の排紙先を設定します。

- 本体トレイ
- フィニッシャー・トレイ1
- フィニッシャー・トレイ2
- 左トレイ1
- 左トレイ2

補足

❒ 排紙先の名称については、P.118「排紙先：コピー（コピー機能のみ）」の図を参照してください。

排紙先：ファクス（ファクス機能のみ）

ファクス機能の排紙先を設定します。

- 本体トレイ
- 左上トレイ
- フィニッシャー・トレイ1
- フィニッシャー・トレイ2
- 左トレイ1
- 左トレイ2

補足

❒ 排紙先の名称については、P.118「排紙先：コピー（コピー機能のみ）」の図を参照してください。

排紙先：プリンター（プリンター機能のみ）

プリンター機能の排紙先を設定します。

- 本体トレイ
- 左上トレイ
- フィニッシャー・トレイ1
- フィニッシャー・トレイ2
- 左トレイ1
- 左トレイ2

補足

❒ プリンタードライバーで設定した排紙先が優先されます。

❒ 排紙先の名称については、P.118「排紙先：コピー（コピー機能のみ）」の図を参照してください。

❒ 2000枚フィニッシャーを装着している場合、ステープルを選択すると、排紙先の設定に関係なく「フィニッシャー・トレイ2」に排紙されます。

用紙設定

給紙トレイ優先設定：コピー（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）

コピー機能およびドキュメントボックス機能で、優先する給紙トレイを設定します。

- トレイ1
- トレイ2
- トレイ3
- トレイ4

補足

- ❒ 優先する給紙トレイの工場出荷時の設定は「トレイ1」です。
- ❒ オプションの給紙テーブルを装着しているときに、「トレイ3」と「トレイ4」が表示されます。
- ❒ オプションの2000枚給紙テーブルは、「トレイ3」と表示されます。

給紙トレイ優先設定：プリンター（プリンター機能のみ）

プリンター機能で、優先する給紙トレイを設定します。

- トレイ1
- トレイ2
- トレイ3
- トレイ4

補足

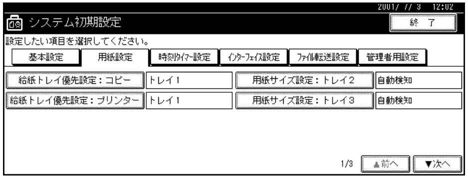
- ❒ 優先する給紙トレイの工場出荷時の設定は「トレイ1」です。
- ❒ オプションの給紙テーブルを装着しているときに、「トレイ3」と「トレイ4」が表示されます。
- ❒ オプションの2000枚給紙テーブルは、「トレイ3」と表示されます。

優先給紙トレイを設定するとき

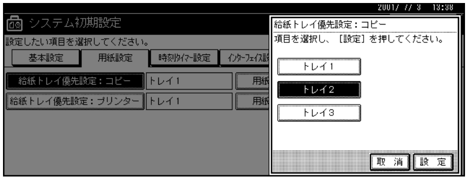
コピーまたはプリンター機能を使用するときの優先給紙トレイを設定します。「優先給紙トレイ」とは、本機の電源を入れたときに選択される給紙トレイで、自動トレイ選択やリミットレス給紙のときに一番最初に対象となるトレイです。

工場出荷時は「トレイ1」に設定されています。ただし、オプションの2000枚給紙テーブルを装着している場合は、「トレイ3」となります。

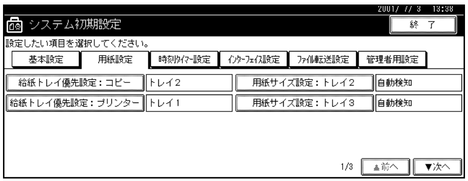
1 コピーまたはプリンターのうち、優先給紙トレイを設定する［給紙トレイ優先設定］を押します。



2 優先給紙トレイにするトレイを押して、［設定］を押します。



優先給紙トレイが設定され、システム初期設定のメニュー画面に戻ります。



用紙サイズ設定：トレイ２～４

給紙トレイ２～４にセットした用紙のサイズを設定します。

補足

❒ トレイ1は「A4▯」専用です。用紙サイズは設定できません。

❖ 設定できる用紙サイズ（トレイ2）

「A3▭」「B4▭」「A4▯」「A4▭」「B5▯」「B5▭」「A5▯」「11×17▭」「$8\frac{1}{2}$×14▭」「$8\frac{1}{2}$×11▯」「$8\frac{1}{2}$×11▭」

❖ 設定できる用紙サイズ（トレイ3）

- 500枚／1000枚給紙テーブルの場合
  「A3▭」「B4▭」「A4▯」「A4▭」「B5▯」「B5▭」「A5▯」「11×17▭」「$8\frac{1}{2}$×14▭」「$8\frac{1}{2}$×11▯」「$8\frac{1}{2}$×11▭」
- 2000枚給紙テーブルの場合
  「A4▯」「Letter▯」

❖ 設定できる用紙サイズ（トレイ4）

「A3▭」「B4▭」「A4▯」「A4▭」「B5▯」「B5▭」「A5▭」「11×17▭」「$8\frac{1}{2}$×14▭」「$8\frac{1}{2}$×11▯」「$8\frac{1}{2}$×11▭」

重要

- ❒ 実際にセットした用紙のサイズと異なる設定をすると、サイズが正しく判断されません。この場合、紙がつまったり、画像がずれてコピーされることがあります。

補足

- ❒ オプションの 2000 枚給紙テーブルの給紙トレイフェンスは固定です。用紙サイズを変更するときは、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

使用説明書<コピー機能編>「用紙サイズの変更」を参照してください。

用紙種類設定：手差しトレイ

手差しトレイにセットした用紙種類の表示を設定します。

- 表示なし
- 普通紙
- 再生紙
- 特殊紙
- 色紙
- 厚紙
- OHP
- 普通紙（裏面）
- 厚紙（裏面）

補足

- ❒ レターヘッドは用紙種類として選択できますが、プリンター機能では利用できません。

用紙種類設定：トレイ１～４

給紙トレイ１～4にセットした用紙種類の表示を設定します。プリンター機能の自動トレイ選択のときにも使用されます。

- 用紙種類
  - 表示なし
  - 普通紙
  - 再生紙
  - 特殊紙
  - 色紙
  - レターヘッド

  補足

  - ❒ レターヘッドは用紙種類として選択できますが、プリンター機能では利用できません。
- 両面コピー時の用紙へのコピー方法
  - 両面コピー
  - 片面コピー

補足

- ❒ 異なるトレイに同じ種類・サイズの用紙をセットし、「両面コピー」、「片面コピー」をそれぞれ設定するときは、上のトレイを「両面コピー」にしてください。ただし、どちらかのトレイを「給紙トレイ優先設定」にしているときは、優先設定しているトレイを「両面コピー」にしてください。

- 自動用紙選択の対象
    - 対象
    - 対象外

制限

- ❒ コピー機能では、「表示なし」と「再生紙」を選択したときのみ自動用紙選択の対象となります。

表紙トレイ設定（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）

表紙をセットする給紙トレイを設定して、表示します。また、給紙トレイを選択した後、表示するタイミングと両面コピー時の用紙へのコピー方法も設定できます。

- 設定するトレイ
    - トレイ1
    - トレイ2
    - トレイ3（オプション）
    - トレイ4（オプション）
- 両面コピー時の用紙へのコピー方法
    - 両面コピー
    - 片面コピー
- 表示のタイミング
    - 機能選択時
    - 常時表示

補足

- ❒「表紙トレイ設定」は、おもて表紙機能と両表紙機能で使用します。
- ❒「機能選択時」を選択したときは、表紙や合紙の機能を選択したときだけ、設定内容が表示されます。
- ❒「機能選択時」を選択したときだけ、「両面コピー時の用紙へのコピー方法」を設定できます。

合紙トレイ設定 （コピー／ドキュメントボックス機能のみ）

合紙をセットする給紙トレイを設定して、表示します。また、給紙トレイを選択した後、表示するタイミングと両面コピー時の用紙へのコピー方法も設定できます。

- 設定するトレイ
  - トレイ1
  - トレイ2
  - トレイ3（オプション）
  - トレイ4（オプション）
- 表示のタイミング
  - 機能選択時
  - 常時表示

補足

❒ 章区切り機能を使用するときは、「合紙トレイ設定」で設定した給紙トレイを使用できます。

❒「機能選択時表示」を選択したときは、表紙や合紙の機能を選択したときだけ設定内容が表示されます。

参照

使用説明書＜コピー機能編＞「表紙／章区切り」を参照してください。

時刻タイマー設定

制限

❒ アクセスコードを設定しているときは、アクセスコード（最大8桁）を入力しないと、時刻タイマーを設定できません。⇒ P.134 「アクセスコード設定」

オートオフ時間設定

一定時間使用しないと、節電のために自動的に電源が OFF になります。これを「オートオフ」と言います。オートオフ後の状態を、オフモードまたはスリープモードと言います。

オートオフ機能が働くまでの時間を設定します。

補足

❒ 工場出荷時は「60分」に設定されています。

❒「10秒～240分」の範囲で時間をテンキーで入力します。

❒「分」と「秒」の切り替えは、［←］［→］を押してカーソルを移動させます。

❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

❒ エラー表示中のときなど、オートオフされないことがあります。

❒ 次のようなときは、オートオフ機能が働きません。
- 警告画面が表示されているとき
- サービスコールが点灯しているとき
- 用紙がつまっているとき
- カバーが開いているとき
- トナー補給が表示されているとき
- トナー補給中のとき
- 初期設定／カウンター画面が表示されているとき
- 定着ウォームアップ中のとき
- ファクス、プリンターなどその他機能が動作しているとき
- 印刷途中で動作が中断中のとき
- ハンドセットを使用しているとき
- オンフックダイヤルを使用しているとき
- 宛先表・グループダイヤルに相手先を登録しているとき
- データインランプが点灯・点滅しているとき
- 試し印刷／機密印刷の画面が表示されているとき

予熱移行時間設定

一定時間使用しないと、予熱状態に移行します。予熱状態になるまでの時間を設定します。

補足

❒ 工場出荷時は「1分」に設定されています。

❒ 工場出荷時は、「オートオフ時間設定」と同じ時間が設定されているため、予熱状態に移行しません。「オートオフ時間設定」を「予熱移行時間設定」より長くした場合に、予熱状態に移行します。

❒「10秒〜240分」の範囲で時間をテンキーで入力します。

❒「分」と「秒」の切り替えは、［←］［→］を押してカーソルを移動させます。

❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

システムリセット時間設定

一定時間使用しないと、「優先機能」（⇒ P.117）で設定した機能の画面に自動的に切り替えたり、割り込みコピーを解除します。これを「システムリセット」と言います。システムリセット機能が働くまでの時間を設定します。

- する
- しない

補足

- ❒ 工場出荷時は「60秒」に設定されています。
- ❒「する」を選択したときは、「10〜999」（秒単位）の範囲でテンキーで入力します。
- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

コピー／ドキュメントボックスオートリセット時間設定（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）

コピー機能、ドキュメントボックス機能が初期状態になるまでの時間を設定します。

- する
- しない

補足

- ❒ 工場出荷時は「60秒」に設定されています。
- ❒「10〜999」（秒単位）の範囲でテンキーで入力します。
- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。
- ❒「しない」に設定すると、ユーザーコード入力画面への自動移行も行われなくなり、使用者の制限ができなくなります。

ファクスオートリセット時間設定（ファクス機能のみ）

ファクス機能が初期状態になるまでの時間を設定します。

補足

- ❒ 工場出荷時は「30秒」に設定されています。
- ❒「30〜999」（秒単位）の範囲でテンキーで入力します。
- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

スキャナーオートリセット時間設定（スキャナー機能のみ）

スキャナー機能が初期状態になるまでの時間を設定します。

- する
- しない

補足

- ❒ 工場出荷時は「60秒」に設定されています。
- ❒「10 ～ 999」（秒単位）の範囲でテンキー入力します。
- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。
- ❒「しない」に設定すると、ユーザーコード入力画面への自動移行も行われなくなり、使用者の制限ができなくなります。

年月日設定

システム時計の年月日を設定します。

補足

- ❒「年」「月」「日」の切り替えは、［←］［→］を押してカーソルを移動させます。
- ❒「年」「月」「日」は、テンキーで入力します。
- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

時刻設定

システム時計の時刻を設定します。

補足

- ❒ 時刻は24時間制（秒単位）で入力します。
- ❒「時」「分」「秒」の切り替えは、［←］［→］を押してカーソルを移動させます。
- ❒「時」「分」「秒」は、テンキーで入力します。
- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

インターフェイス設定／ネットワーク

設定するアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

本体 IP アドレス

ネットワーク上における本機のIPアドレスです。TCP/IPプロトコルを使用するときは、IPアドレスを必ず設定してください。IPアドレスは、「xxx. xxx. xxx. xxx」（xは数値）の形式で指定します。DHCPサーバーからIPアドレスを取得するときは設定する必要はありません。

- 011.022.033.044

補足

- ❒ ネットワーク内のほかの機器のIPアドレスと、本機のIPアドレスが重複しないように設定してください。重複していると、本機を使用できません。設定するアドレスは、ネットワーク管理者に必ず確認してください。
- ❒ 値を3桁ずつ移動したいときは、[←][→]を押します。
- ❒ 間違えたときは、[クリア]を押して入力し直します。

サブネットマスク

IPアドレスの一部を、ネットワークアドレスとして使用するために設定するマスク値です。サブネットマスクを使用しているときに設定してください。

マスク値は、「xxx. xxx. xxx. xxx」(xは数値)の形式で指定します。

- 000.000.000.000

補足

- ❒ 値を3桁ずつ移動したいときは、[←][→]を押します。
- ❒ 間違えたときは、[クリア]を押して入力し直します。

ゲートウェイアドレス

ほかのネットワークのワークステーションと印刷や情報のやり取りをするとき、ゲートウェイとなるホストやルーターのアドレスです。

ほかのネットワークのクライアントから本機を使用する場合に設定してください。アドレスは、「xxx. xxx. xxx. xxx」(xは数値)の形式で指定します。

- 000.000.000.000

補足

- ❒ 値を3桁ずつ移動したいときは、[←][→]を押します。
- ❒ 間違えたときは、[クリア]を押して入力し直します。

アクセスコントロールおよびアクセスマスク

アクセスできるクライアントを制御します。アクセスコントロールとアクセスマスクは、組み合わせて設定する必要があります。

- アクセスコントロールは、本機を使用するクライアントを制御するためのIPアドレスです。
- アクセスマスクは、本機へアクセスするクライアントを制御するときに、アクセスコントロールのアドレスと照合するためのIPアドレスです。

アドレスは、「xxx. xxx. xxx. xxx」（xは数値）の形式で指定します。

- 000.000.000.000

補足

- ❒ 本機の使用を制限しない場合は、工場出荷時の設定のまま使用してください。
- ❒ 値を3桁ずつ移動したいときは、［←］［→］を押します。
- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。
- ❒ アクセスコントロールをマスクした結果と、印刷しようとしているクライアントのアドレスをマスクした結果が一致した場合に、アクセスが許可され、本機が使用できるようなります。
- ❒ たとえば、アクセスコントロールを192.168.15.16に設定した場合、アクセス可能なクライアントのアドレスは、アクセスマスクに指定したアドレスによって次のように制限されます（xxxは、どのような数値でも構いません）。

アクセスマスクのアドレス	アクセス可能なクライアントのアドレス
000.000.000.000	xxx.xxx.xxx.xxx
255.000.000.000	192.xxx.xxx.xxx
255.255.000.000	192.168.xxx.xxx
255.255.255.000	192.168.15.xxx
255.255.255.255	192.168.15.16

ネットワークブート

クライアント側から本機のIPアドレスを設定する方式を選択します。

- NONE
- DHCP

工場出荷時の設定は「NONE」です。設定を変更する場合はネットワーク管理者に確認し、使用している環境に応じて設定を変更してください。

参照

詳細については、使用説明書<プリンター機能編>を参照してください。

有効プロトコル

ネットワーク上で使用するプロトコルを選択します。

- TCP/IP:有効／無効
- NetWare:有効／無効
- NetBEUI:有効／無効
- AppleTalk:有効／無効

NW フレームタイプ

NetWareのフレームタイプを選択します。

- 自動選択
- Ethernet II
- Ethernet 802.2
- Ethernet 802.3
- Ethernet SNAP

イーサネット速度

イーサネットの通信速度を選択します。

通常は「自動選択」を選択しますが、お客様の環境によっては「自動選択」を選択できない場合があります。ご使用の環境に合わせた速度を選択してください。

- 自動選択
- 100Mbps固定
- 10Mbps固定

インターフェイス設定／パラレルインターフェイス

パラレルタイミング

パラレルインターフェースのタイミングを設定します。通常は変更する必要はありません。

- ACK inside
- ACK outside
- STB down

パラレル通信速度

パラレルインターフェイスの通信速度を設定します。データの通信速度が速すぎると通信できないことがあります。その場合は「標準」に設定してください。

- 高速
- 標準

セレクト状態

パラレルインターフェイスのセレクト信号のレベルを設定します。

- HIGH
- LOW

インプットプライム

インプットプライム信号が送られてきたとき、プライム信号を有効にするかどうかを設定します。通常は変更する必要はありません。

- 有効
- 無効

双方向通信

パラレルインターフェイスで使用しているとき、双方向通信を有効にするかどうかを設定します。他社のプリントボックスなどに接続して問題が発生したときは、「しない」に設定します。

制限

❒「しない」に設定したときは、双方向通信機能が働きません。

- する
- しない

信号線制御

通常の印刷、およびパソコンからファクス送信するときのエラー時の処理を設定します。通常は変更する必要はありません。

- ジョブ受付優先
- プリンター優先
- ファクス優先

ファイル転送設定

Ridoc Document Router / Ltを利用するときは、必要に応じて設定してください。

補足

❒ ファクス受信文書の配信をするときは、別売りのRidoc Document Routerが必要です。

配信サーバー IP アドレス

本機の文書やデータをRidoc Document Router / Ltなどの配信サーバーに送信するために、サーバーのIPアドレスを設定します。

- 000.000.000.000

補足

❒ 値を3桁ずつ移動したいときは［←］、［→］を押します。

❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

❒ 配信サーバーIPアドレスは、Ridoc Document Routerでも設定する必要があります。設定すると、Ridoc Document Routerの設定が本機の設定に上書きされます。

ファクス受信文書配信設定

- 回線ごとの設定
  ファクスの回線ごとに、ファクス受信文書をRidoc Document Routerに配信するかしないかを設定します。
  - 回線1：配信する／配信しない
  - 回線2：配信する／配信しない
  - 回線3：配信する／配信しない
  - ISDN回線：配信する／配信しない
- 配信時同時印刷
  ファクス受信文書をRidoc Document Routerに配信するときに、同時に本機でも紙で出力するかしないかを設定します。
  - する
  - しない
- 配信対象
  ファクス受信文書をRidoc Document Routerに配信するときに、配信コード付き文書（親展ID、Fコードの付いている文書）のみ配信するか、全文書を配信するかを設定します。
  - 配信コード付き文書
  - 全文書
- 配信エラー文書
  Ridoc Document Routerに配信できなかった場合、ファクス受信文書は本機のメモリーの中に蓄積されます。この蓄積されたデータを印刷するときは、[文書印刷] を押します。消去したいときは、[文書消去] を押します。

補足

- ❒ Ridoc Document Routerと通信ができるようになったときに、自動的に配信を行います。
- ❒ データを消去したときには、受信文書の配信、印刷はできないのでご注意ください。

再配信間隔時間設定

本機の文書やデータを配信サーバーへ送信できなかったとき、再度配信するまでの時間間隔を設定します。

補足

- ❒ 工場出荷時は「300秒」に設定されています。
- ❒「60〜999」(秒単位) の範囲で時間をテンキーで入力します。
- ❒ 間違えたときは、[クリア] を押して入力し直します。

再配信回数設定

本機の文書やデータを配信サーバーへ再度配信するとき、最大何回まで再配信するかを設定します。

- する
- しない

補足

- ❒「1〜99」（回数）の範囲でテンキーで入力します。
- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。
- ❒ スキャナー機能のための設定項目です。ファクス受信文書の再配信は継続されます。

管理者用設定

アクセスコードが設定されている場合、アクセスコード（最大８桁）を入力しないと管理者用設定を行うことはできません。アクセスコードの詳細については、P.134「アクセスコード設定」を参照してください。

ユーザーコード管理

機能ごとに、ユーザーコードで使用者を制限するかどうかを設定します。使用者を制限することによって、ユーザーコードごとに使用量を管理することができます。

ユーザーコード管理が設定されている機能を使用するときは、ユーザーコードを入力する必要があります。

- コピー：フルカラー／白黒／単色／2色
- プリンター：自動登録する／自動登録しない
- その他の機能
  - ドキュメントボックス
  - ファクス
  - スキャナー

補足

- ❒「プリンター」の［自動登録する］を選択すると、プリンタードライバーのプロパティ画面で入力したコードごとに印刷の履歴をとることができます。

ユーザーコード管理を設定する場合は、ユーザーコードを登録する必要があります。ユーザーコードについては、P.155「送信カウンター」を参照してください。

アクセスコード設定

アクセスコードとは、「時刻タイマー設定」や「管理者用設定」の画面を表示するために入力するパスワードです。アクセスコードを使用するかどうかを設定します。

- する
- しない

補足

- ❒「する」を選択したときは、アクセスコード（8桁以内）をテンキーで入力し、制限する範囲を選択します。
  - 「一部」を選択したとき
    工場出荷時の値です。システム初期設定の「時刻タイマー設定」と「管理者用設定」、ファクス初期設定の「管理者用設定」にアクセスコードが設定されます。また、プリンター初期設定の「調整／管理」の「メニュープロテクト」を設定できます。
  - 「初期設定すべて」を選択したとき
    システム初期設定、調整／管理、コピー／ドキュメントボックス初期設定、ファクス初期設定、プリンター初期設定、スキャナー初期設定のすべての項目にアクセスコードが設定されます。
- ❒ アクセスコードを設定した場合、アクセスコード設定の画面を表示するときもアクセスコードを入力する必要があります。

AOF（常時 ON）

オートオフ時間設定を有効にします。通常は変更する必要はありません。

- ON
- OFF

ユーザーコード登録／変更／消去

ユーザーコード（8桁以内）を登録、変更、消去します。

操作方法については、P.155「送信カウンター」を参照してください。

補足

- ❒ ユーザーコードは400件まで登録できます。
- ❒ Ridoc IO Adminからユーザーコードを登録することもできます。
- ❒ ユーザーコードを変更しても、カウンターの数値はクリアされません。
- ❒ ユーザーコードをクリアすると、カウンターの数値は自動的にクリアされます。

- 登録／変更
  ユーザーコードを新規登録したり、ユーザーコード、ユーザー名、使用できる機能を変更します。
- 消去
  ユーザーコードを消去します。
- すべて消去
  すべてのユーザーコードを消去します。

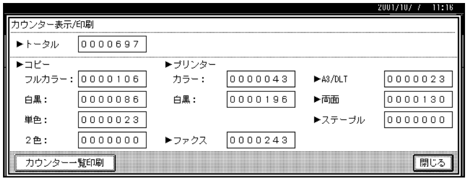
カウンター表示／印刷

各種カウンターの表示と印刷を行います。

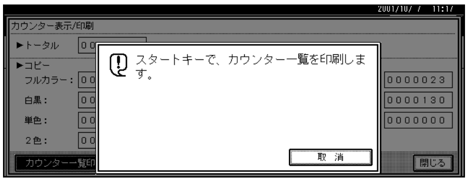
- **カウンター表示**
  機能（トータル、コピー、プリンター、ファクス、A3／DLT、両面、ステープル）ごとのカウンターを表示します。
- **カウンター一覧印刷**
  機能ごとのカウンター使用量の一覧を印刷します。

カウンター一覧の印刷手順

1 ［カウンター一覧印刷］を押します。



確認の画面が表示されます。

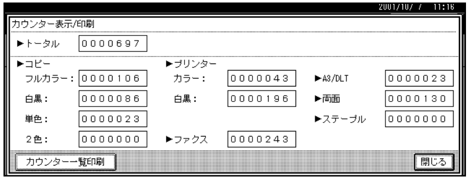


2 【スタート】キーを押します。

補足

- ❒ 印刷しないときは、確認の画面で［取消］を押します。

3 ［閉じる］を押します。



システム初期設定のメニュー画面に戻ります。

ユーザーコード別カウンター表示／クリア／印刷

ユーザーコードによって、各種カウンターを表示したり、印刷したり、カウンターの数値を「0」に戻すことができます。

重要

- ❒「ユーザーコード登録／変更／消去」で「すべて消去」を実行すると、ユーザーコード部分名称（ファクス機能）、カウンター料金管理、通信管理もすべて消去されます。消去する前に、必ずカウンターの一覧を印刷してください。

補足

- ❒ 6件以上登録しているときは、[▲前へ][▼後へ]で全カウンターを表示します。
  - 全ユーザーコード一覧印刷
    すべてのユーザーコードのカウンターの使用量を印刷します。
  - 全ユーザーコードクリア
    すべてのユーザーコードのカウンターの数値を「0」に戻します。
  - ユーザーコード別一覧印刷
    ユーザーコードごとのカウンターの使用量を印刷します。
  - ユーザーコード別クリア
    ユーザーコードごとの各カウンターの数値を「0」に戻します。

参照

カウンターの印刷方法については、P.171「」、カウンターのクリア方法については、P.154「カウンターをクリアする」を参照してください。

ユーザー名表示並び順入れ替え

登録したユーザーコードの並び順を入れ替えます。

補足

- ❒ 同じページ内での並び順入れ替えは可能ですが、別のページへの移動はできません。（たとえば、「常用」のページに登録されているユーザーコード「企画室」を「か」のページへ移動させることはできません。）

1 移動させたいユーザーコードを選択します。



2 [←][↑][↓][→]で順番を入れ替えます。一番後ろに移動させたいときは、[最後尾へ]を押します。先頭に移動させたいときは、[先頭へ]を押します。



蓄積文書自動消去設定

ドキュメントボックスに保存された文書を、一定日数経過後に自動的に消去するかどうかを設定します。

- する
- しない

補足

- ❒ 工場出荷時は「3日」に設定されています。3日とは、文書が蓄積されてから3日間（72時間）です。
- ❒「する」に設定した場合は、設定した時点以降に保存した文書が対象になります。
- ❒「しない」を選択したときは、自動消去されません。
- ❒「する」を選択したときは、「1〜180」（日数）の範囲でテンキーで入力します。

蓄積文書一括消去

ドキュメントボックスに保存されている文書をすべて消去します。

- 消去しない
- 消去する

補足

- ❒ パスワードが設定されている文書も消去されます。
- ❒ 確認の画面が表示されます。消去する場合は、「消去する」を押します。

蓄積文書パスワード表示

ドキュメントボックスに保存されていて、パスワードが設定されている文書のパスワードを、一時的に表示するかどうかを設定します。

- する
- しない

補足

- ❒ パスワードを忘れてしまったときだけ、「する」に設定してください。確認後は、必ず「しない」に戻してください。

ユーザーコードについて

ユーザーコードを登録することによって機能ごとに使用者を制限し、使用状況を確認することができます。

ユーザーコードの登録・変更・消去は、システム初期設定メニューでもRidoc IO Adminでも行うことができます。Ridoc IO Adminでの設定方法については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

それぞれの機能で管理・制限できるおもな項目は、次のとおりです。

❖ コピー機能

コピーの使用者を制限し、使用状況をユーザーコードごとに管理することができます。

補足

- ❒「ユーザーコード管理」(⇒ P.133)で、コピー機能を「する」に設定してください。

❖ ドキュメントボックス機能

ドキュメントボックスの使用者を制限し、使用状況をユーザーコードごとに管理することができます。

補足

- ❒「ユーザーコード管理」(⇒ P.133)で、ドキュメントボックス機能を「する」に設定してください。

❖ ファクス機能

ファクス送信の使用者を制限し、使用状況を管理することができます。

補足

- ❒「ユーザーコード管理」(⇒ P.133)で、ファクス機能を「する」に設定してください。

❖ スキャナー機能

スキャナーの使用者を制限します。

補足

- ❒「ユーザーコード管理」(⇒ P.133)で、スキャナー機能を「する」に設定してください。

❖ プリンター機能

プリンターの使用者を制限し、使用状況をユーザーコードごとに管理することができます。

補足

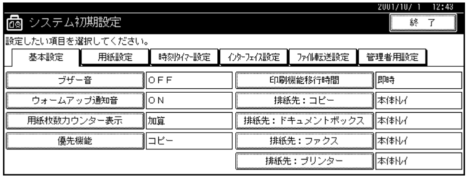
- ❒「ユーザーコード管理」(⇒ P.133)で、プリンター機能を「する」に設定してください。

重要

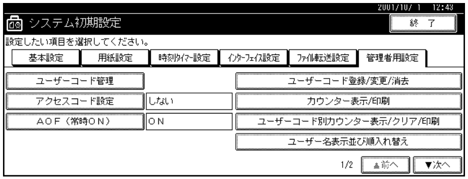
- ❒ ユーザーコードはすべての機能で共通です。 ユーザーコードを変更・消去した場合、ユーザーコード管理が行われているすべての機能において、そのユーザーコードは無効になります。

ユーザーコードを登録する

1 ［管理者用設定］を押します。



2 ［ユーザーコード登録／変更／消去］を押します。



3 ［新規登録］を押します。



4 「見出し選択」で、ユーザーコードを分類しておきたいページのボタンを選びます。



補足

- ❒ 選択できるボタンは次のとおりです。
  - ［常用］…最初に表示されるページに登録されます。
  - ［あ］、［か］、［さ］、［た］、［な］、［は］、［ま］、［や］、［ら］、［わ］…それぞれの見出しの付いたページに登録されます。
- ❒ ［見出し選択］で選べるページは1つです。

5 ユーザーコードをテンキーで入力し、［#］を押します。



補足

- ❒ 間違えたときは、［クリア］または【クリア／ストップ】キーを押して入力し直します。

6 「使用できる機能」で、登録するユーザーに使用を許可する機能を選択します。

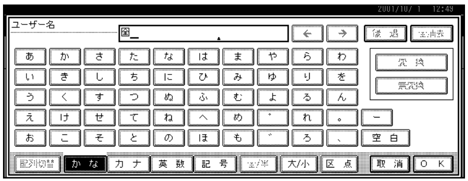


7 [名称の入力] を押します。



ユーザー名を入力する画面が表示されます。

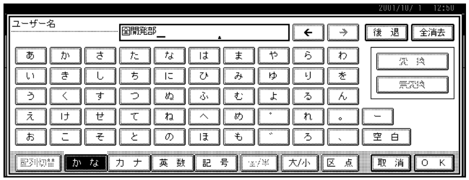
8 ユーザー名を入力します。



補足

- ❒ 入力方法については、P.157「文字の入力方法」を参照してください。
- ❒ ドキュメントボックスで蓄積される文書に、ここで設定したユーザー名を使用することができます。ドキュメントボックスでは、ユーザーコードを入力する必要はありません。ドキュメントボックスについては、P.78「ドキュメントボックスの操作」を参照してください。

9 [OK] を押します。



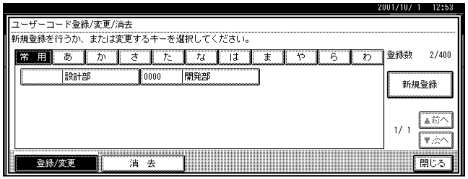
10 続けて登録したいときは [続けて登録する] を押し、手順 **4** から繰り返します。



11 ［設定］を押します。



12 ［閉じる］を押します。



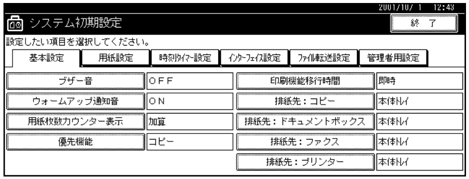
システム初期設定のメニュー画面に戻ります。

登録してあるユーザーコードを変更する

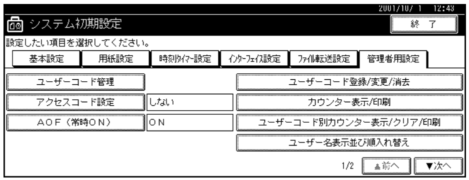
重要

- ユーザーコードはすべての機能で共通です。ユーザーコードを変更した場合、ユーザーコード管理が行われているすべての機能において、そのユーザーコードは無効になります。

1 ［管理者用設定］を押します。



2 ［ユーザーコード登録／変更／消去］を押します。



3 変更したいユーザーコードを選択します。



4 変更したい項目を入力し直します。ユーザーコードを変更する場合は、[クリア] を押してから、新しいユーザーコードをテンキーで入力し、[#] を押します。



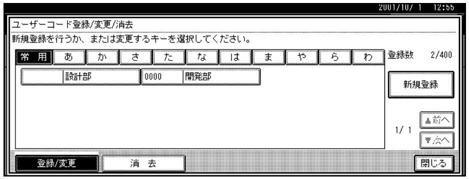
補足

- ❒ 「使用できる機能」では、反転表示されている機能が、現在使用できるものです。使用できないようにするためには、その機能名のボタンを押して、反転表示を解除します。使用できない機能を使用できるようにするためには、その機能名のボタンを押して、反転表示にします。
- ❒ ユーザー名を変更する場合は、[名称の入力] を押し、入力画面で入力します。文字の入力方法については、P.157「文字の入力方法」を参照してください。

5 [設定] を押します。



6 [閉じる] を押します。



システム初期設定のメニュー画面に戻ります。

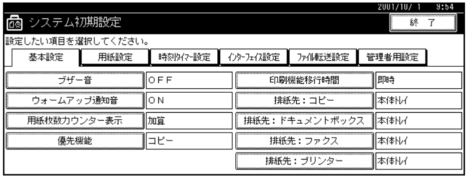
ユーザーコードを消去する

重要

- ❒ ユーザーコードはすべての機能で共通です。ユーザーコードを消去した場合、ユーザーコード管理が行われているすべての機能において、そのユーザーコードは無効になります。

特定のユーザーコードを消去したいとき

1 ［管理者用設定］を押します。



2 ［ユーザーコード登録／変更／消去］を押します。



3 ［消去］を押します。



4 消去したいユーザーコードを選択します。



補足

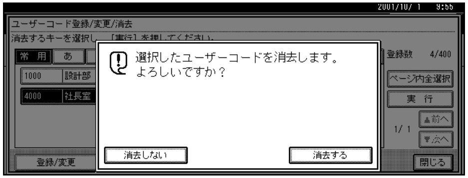
- ❒ 画面に表示されているすべてのユーザーコードを選択するときは、［ページ内全選択］を押します。

5 ［実行］を押します。



確認の画面が表示されます。

6 ［消去する］を押します。



補足

❒ 消去を中止するときは、［消去しない］を押します。

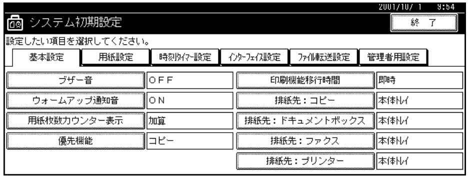
7 ［閉じる］を押します。



システム初期設定のメニュー画面に戻ります。

すべてのユーザーコードを一度に消去したいとき

1 ［管理者用設定］を押します。



2 ［ユーザーコード登録／変更／消去］を押します。



3 ［消去］を押します。

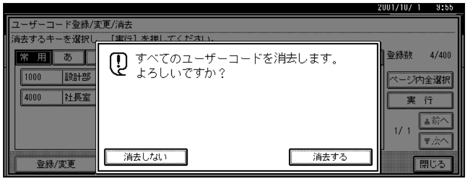


4 ［すべて消去］を押します。



確認の画面が表示されます。

5 ［消去する］を押します。



補足

- 消去を中止するときは、［消去しない］を押します。

6 ［閉じる］を押します。



システム初期設定のメニュー画面に戻ります。

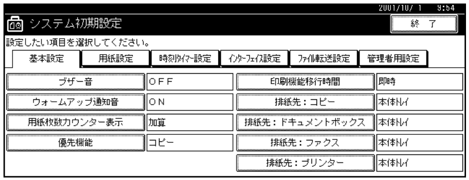
ユーザーコード別にカウンターを表示する

［コピーカウンター］では、コピー／ドキュメントボックス機能のカウンターをユーザーコードごとに確認できます。

［印刷カウンター］では、プリンター機能、ファクス印刷のカウンターをユーザーコードごとに確認できます。

［送信カウンター］では、ファクス送信枚数、ファクス送信金額を確認できます。

1 ［管理者用設定］を押します。



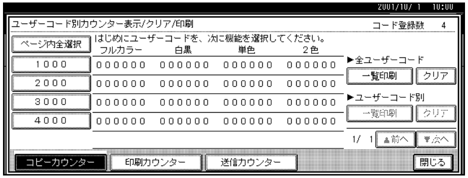
2 ［ユーザーコード別カウンター表示／クリア／印刷］を押します。



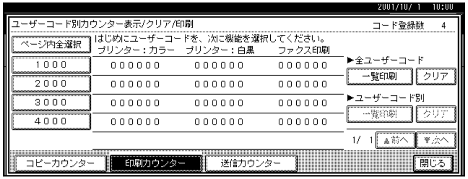
3 [コピーカウンター]、[印刷カウンター]、[送信カウンター] のどれかを押します。

ユーザーコードごとに機能別カウンターが表示されます。

❖ コピーカウンター



❖ 印刷カウンター



❖ 送信カウンター



ユーザーコード別カウンターを印刷する

印刷できるユーザーコード別カウンターは「コピーカウンター」、「印刷カウンター」、「送信カウンター」の3種類です。1種類だけ印刷することも、数種類のカウンターを併記して印刷することもできます。

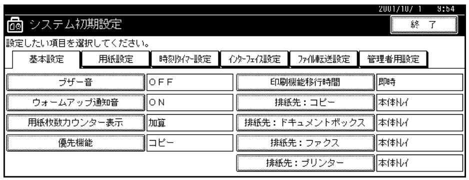
ユーザーコードごとのカウンターを印刷する

[コピーカウンター] では、ユーザーごとのコピー／ドキュメントボックス機能のカウンターの一覧が印刷できます。

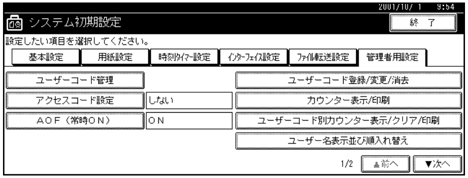
[印刷カウンター] では、ユーザーごとのプリンター機能、ファクス印刷のカウンターの一覧が印刷できます。

[送信カウンター] では、ユーザーごとのファクス送信枚数、ファクス送信金額の一覧が印刷できます。

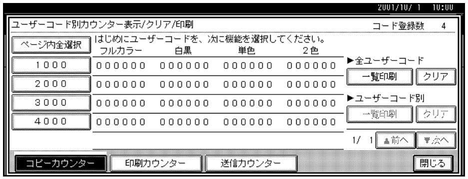
1 [管理者用設定] を押します。



2 [ユーザーコード別カウンター表示／クリア／印刷］を押します。



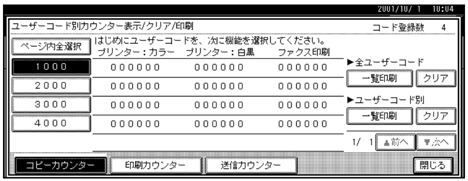
3 画面左側に表示されているユーザーコードを選択します。



補足

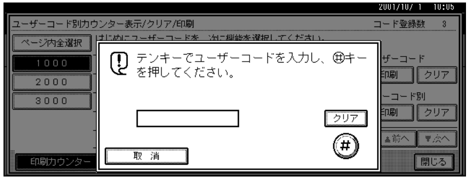
- ❒ ページに表示されているユーザーコードをすべて選択したいときは、[ページ内全選択］を押します。

4 「ユーザーコード別」の［一覧印刷］を押します。

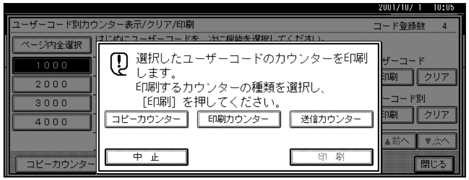


補足

- ❒ 「ユーザーコード管理」(⇒ P.133）を「する」に設定しているときは、ユーザーコード入力画面が表示されます。登録されているユーザーコードのどれかを入力し、［#］を押してください。



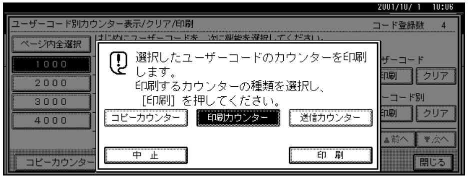
5 [コピーカウンター］、[印刷カウンター］、[送信カウンター］のどれかを押します。



補足

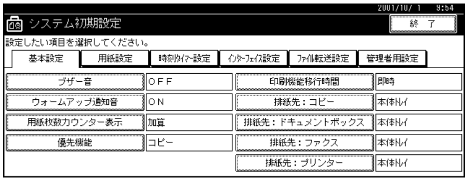
- ❒ 複数のカウンターを併記した一覧を印刷することもできます。印刷したいカウンター名を押してください。

6 ［印刷］を押します。

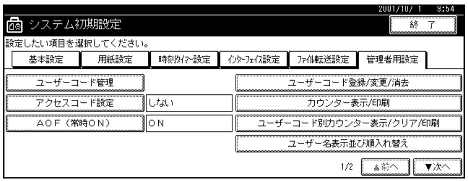


すべてのユーザーコードのカウンターを印刷する

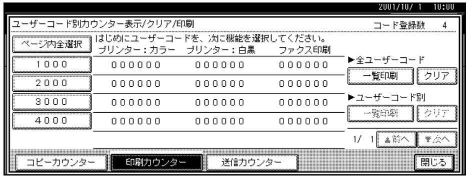
1 ［管理者用設定］を押します。



2 ［ユーザーコード別カウンター表示／クリア／印刷］を押します。

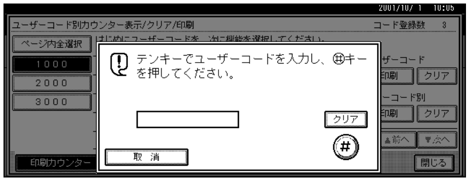


3 「全ユーザーコード」の［一覧印刷］を押します。

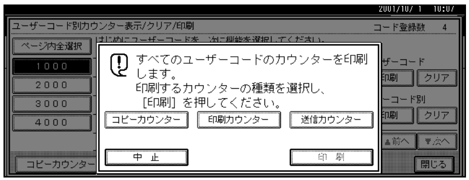


補足

❒「ユーザーコード管理」（⇒ P.133 「ユーザーコード管理」）を「する」に設定しているときは、ユーザーコード入力画面が表示されます。登録されているユーザーコードのどれかを入力し、［#］を押してください。



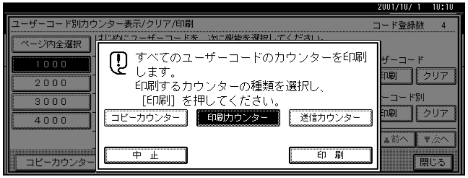
4 ［印刷カウンター］または［送信カウンター］を押します。



補足

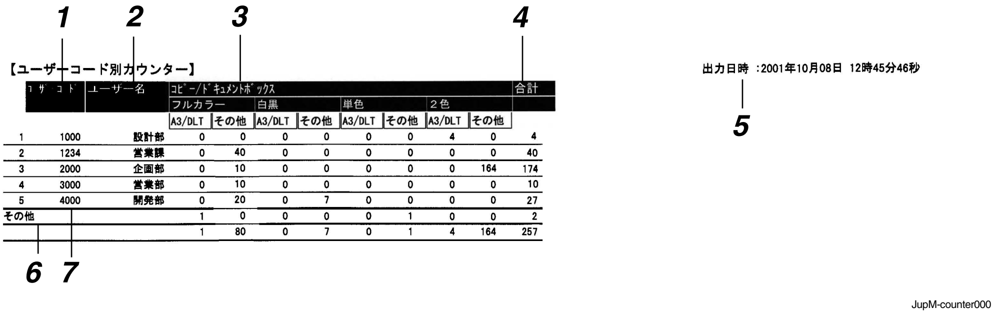
- ❒ **複数のカウンターを併記した一覧を印刷することもできます。印刷したいカウンター名を押してください。**

5 [印刷]を押します。



カウンター印刷例

❖ ユーザーコード別カウンター（コピーカウンター）

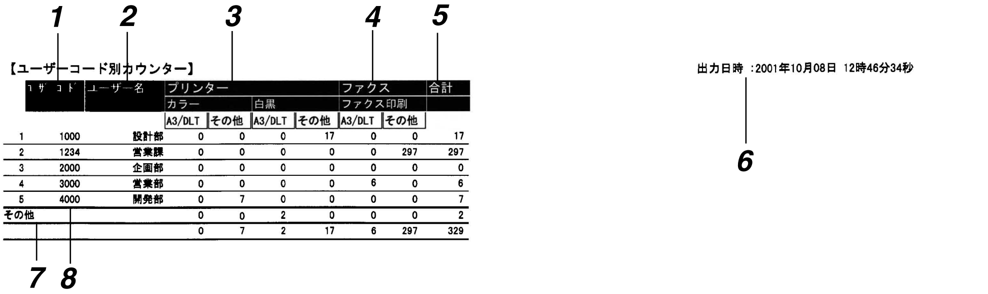


【ユーザーコード別カウンター】

	ﾕ ｻﾞ ｺ ﾄﾞ	ユーザー名	ｺﾋﾟｰ/ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄﾎﾞｯｸｽ								合計
			フルカラー		白黒		単色		2色		
			A3/DLT	その他	A3/DLT	その他	A3/DLT	その他	A3/DLT	その他	
1	1000	設計部	0	0	0	0	0	0	4	0	4
2	1234	営業課	0	40	0	0	0	0	0	0	40
3	2000	企画部	0	10	0	0	0	0	0	164	174
4	3000	営業部	0	10	0	0	0	0	0	0	10
5	4000	開発部	0	20	0	7	0	0	0	0	27
その他			1	0	0	0	0	1	0	0	2
			1	80	0	7	0	1	4	164	257

1. **ユーザーコード：登録してあるユーザーコードが表示されます。**
2. **ユーザー名：ユーザーコードに付けられたユーザー名が表示されます。**
3. **コピー：コピー／ドキュメントボックス機能で使用された枚数が表示されます。A3の枚数とそれ以外のサイズの枚数をユーザーコード別に確認できます。**
4. **合計：コピー／ドキュメントボックス機能で使用された枚数の合計についてユーザーコード別に確認できます。**
5. **出力日時：このカウンターを出力した日時が印刷されます。**
6. **合計：機能ごとの合計枚数が表示されます。**
7. **その他：ユーザーコードに登録されていないユーザーが使用した枚数が表示されます。**

❖ ユーザーコード別カウンター（印刷カウンター）



【ユーザーコード別カウンター】

	ﾕ ｻﾞ ｺ ﾄﾞ	ユーザー名	プリンター				ファクス		合計
			カラー		白黒		ファクス印刷		
			A3/DLT	その他	A3/DLT	その他	A3/DLT	その他	
1	1000	設計部	0	0	0	17	0	0	17
2	1234	営業課	0	0	0	0	0	297	297
3	2000	企画部	0	0	0	0	0	0	0
4	3000	営業部	0	0	0	0	6	0	6
5	4000	開発部	0	7	0	0	0	0	7
その他			0	0	2	0	0	0	2
			0	7	2	17	6	297	329

JupM -counter010

1. **ユーザーコード：登録してあるユーザーコードが表示されます。**
2. **ユーザー名：ユーザーコードに付けられたユーザー名が表示されます。**
3. **プリンター：プリンター機能で印刷された枚数が表示されます。A3の枚数とそれ以外のサイズの枚数をユーザーコード別に確認できます。**
4. **ファクス：ファクス機能で蓄積した文書を印刷した枚数が表示されます。A3の枚数とそれ以外のサイズの枚数をユーザーコード別に確認できます。**
5. **合計：プリンター機能とファクス機能で印刷された枚数の合計についてユーザーコード別に確認できます。**
6. **出力日時：このカウンターを出力した日時が印刷されます。**
7. **合計：機能ごとの合計枚数が表示されます。**
8. **その他：ユーザーコードに登録されていないユーザーが使用した枚数が表示されます。**

❖ ユーザーコード別カウンター（送信カウンター）



【ユーザーコード別カウンター】

ﾕ ｻﾞ ｺ ﾄﾞ		ユーザー名	ファクス送信 枚数	ファクス送信 金額（円）
1	1000	設計部	0	0
2	1234	営業課	1	0
3	2000	企画部	0	0
4	3000	営業部	0	0
5	4000	開発部	98	0
その他			0	0
			99	0

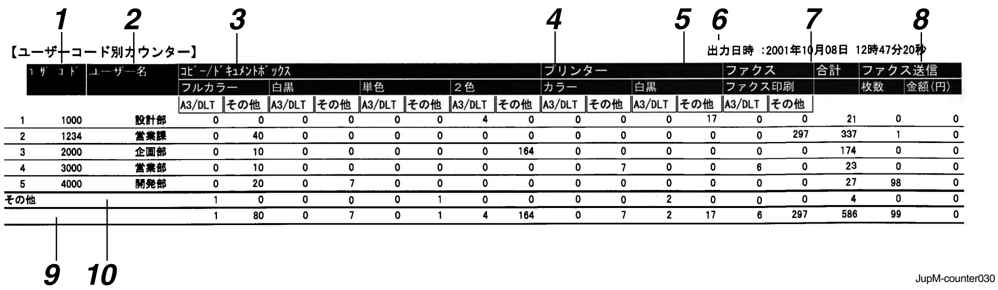
1. **ユーザーコード：登録してあるユーザーコードが表示されます。**
2. **ユーザー名：ユーザーコードに付けられたユーザー名が表示されます。**
3. **ファクス：本機からファクス送信した枚数と送信料金ががユーザーコード別に表示されます。**

補足

- ❒ G4で海外送信したときの料金は、集計されません。
- ❒ ISDN内線接続のときは、正しく集計されないことがあります。
- ❒ 料金は目安です。

4. **出力日時：このカウンターを出力した日時が印刷されます。**
5. **合計：ファクス送信枚数の合計と、送信料金の合計（円）が表示されます。**
6. **その他：ユーザーコードに登録されていないユーザーが使用したファクスの送信枚数と送信料金が表示されます。**

❖ ユーザーコード別カウンター（コピーカウンター、印刷カウンター、送信カウンターを併記した場合）



【ユーザーコード別カウンター】

出力日時 :2001年10月08日 12時47分20秒

	ﾕ ｻﾞ ｺ ﾄﾞ	ユーザー名	ｺﾋﾟｰ/ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄﾎﾞｯｸｽ								プリンター				ファクス		合計	ファクス送信	
			フルカラー		白黒		単色		２色		カラー		白黒		ファクス印刷			枚数	金額(円)
			A3/DLT	その他	A3/DLT	その他	A3/DLT	その他	A3/DLT	その他	A3/DLT	その他	A3/DLT	その他	A3/DLT	その他			
1	1000	設計部	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	17	0	0	21	0	0
2	1234	営業課	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	297	337	1	0
3	2000	企画部	0	10	0	0	0	0	0	164	0	0	0	0	0	0	174	0	0
4	3000	営業部	0	10	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	6	0	23	0	0
5	4000	開発部	0	20	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	98	0
その他			1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	4	0	0
			1	80	0	7	0	1	4	164	0	7	2	17	6	297	586	99	0

1. **ユーザーコード：登録してあるユーザーコードが表示されます。**
2. **ユーザー名：ユーザーコードに付けられたユーザー名が表示されます。**
3. **コピー：コピー／ドキュメントボックス機能で使用された枚数が表示されます。A3 の枚数とそれ以外のサイズの枚数をユーザーコード別に確認できます。**
4. **プリンター：プリンター機能で印刷された枚数が表示されます。A3 の枚数とそれ以外のサイズの枚数をユーザーコード別に確認できます。**
5. **ファクス：ファクス機能で蓄積した文書を印刷した枚数が表示されます。A3 の枚数とそれ以外のサイズの枚数をユーザーコード別に確認できます。**
6. **出力日時：このカウンターを出力した日時が印刷されます。**
7. **合計：コピー／ドキュメントボックス機能、プリンター機能で印刷した枚数の合計についてユーザーコード別に確認できます。**
8. **ファクス送信枚数：本機からファクス送信した枚数と送信料金がユーザーコード別に表示されます。**

補足

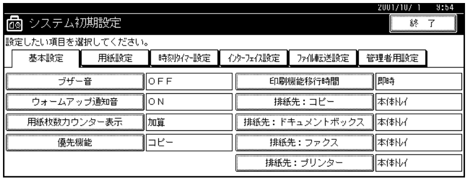
- ❒ G4で海外送信したときの料金は、集計されません。
- ❒ ISDN内線接続のときは、正しく集計されないことがあります。
- ❒ 料金は目安です。

9. **合計：機能ごとの合計枚数が表示されます。**
10. **その他：ユーザーコードに登録されていないユーザーが使用したファクスの送信枚数と送信料金が表示されます。**

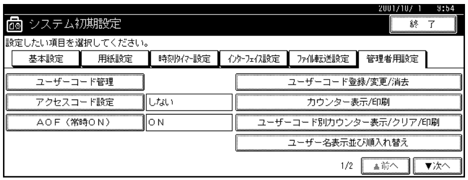
カウンターをクリアする

特定のユーザーコードのカウンターをクリアしたいとき

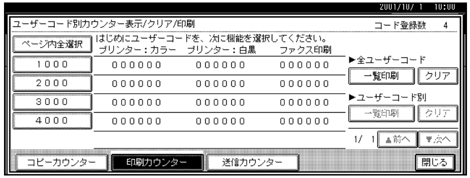
1 [管理者用設定] を押します。



2 [ユーザーコード別カウンター表示／クリア／印刷] を押します。



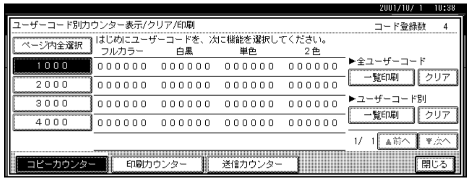
3 画面左側に表示されているページからクリアしたいユーザーコードを選択します。



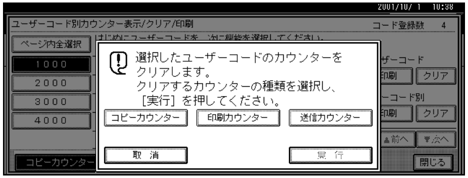
補足

- ❒ ページに表示されているユーザーコードをすべて選択したいときは、[ページ内全選択] を押します。

4 「ユーザーコード別」の [クリア] を押します。



5 ［印刷カウンター］または［送信カウンター］を押します。

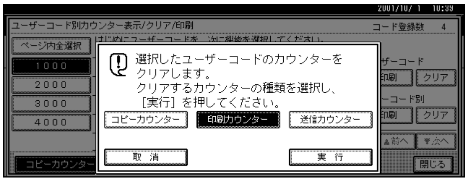


補足

❒ ［印刷カウンター］、［送信カウンター］の両方を一度に選択することもできます。

6 ［実行］を押します。

選択したユーザーコードのカウンターがクリアされます。

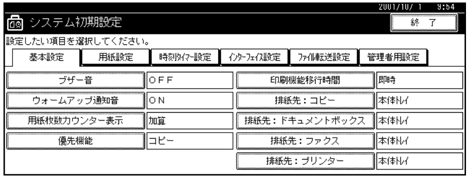


補足

❒ カウンターをクリアしない場合は、［取消］を押します。

すべてのユーザーコードのカウンターをクリアしたいとき

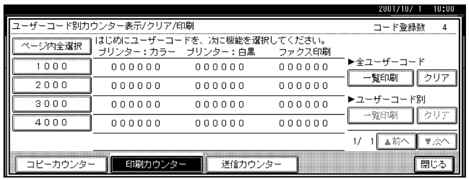
1 ［管理者用設定］を押します。



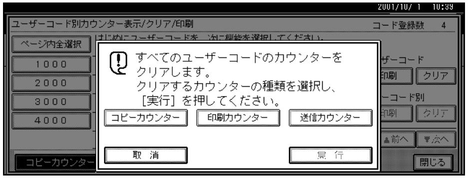
2 ［ユーザーコード別カウンター表示／クリア／印刷］を押します。



3 「全ユーザーコード」の［クリア］を押します。



4 ［印刷カウンター］または［送信カウンター］のどちらかクリアしたいカウンターを押します。

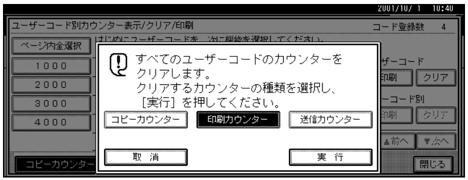


補足

- ❒ ［印刷カウンター］、［送信カウンター］の両方を一度に選択することもできます。

5 ［実行］を押します。

すべてのユーザーコードのカウンターがクリアされます。



補足

- ❒ カウンターをクリアしない場合は、［取消］を押します。

文字の入力方法

文字の入力方法について説明します。

文字は、点滅しているカーソルのある場所に入力されます。カーソルの上に文字があるときは、その文字の前に挿入されます。入力できる文字は次のとおりです。

入力できる文字

- カタカナ
- ひらがな
- 漢字
  JIS第一水準漢字、JIS第二水準漢字

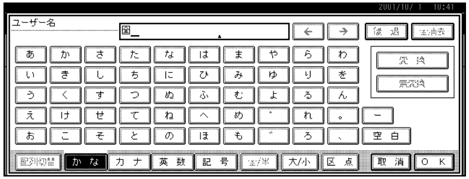
  制限

  ❒ 変換の際、一度に入力できる文字数は10文字までです。
- アルファベット
- 記号
- 数字
  0123456789

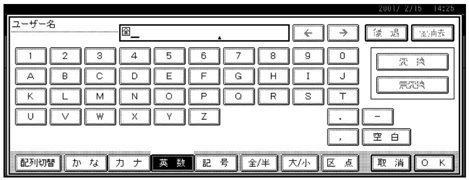
  参照

  詳細については、P.256「入力文字一覧」を参照してください。

入力画面とキーについて



- ［配列切替］
  ［英数］を押したときに、アルファベットの配列を切り替えることができます。切り替えられる配列は「ABC型」と「QWERTY型」です。
  - ABC型



- QWERTY型



補足

❒ QWERTY型の配列は、「英数」の入力モードのときに使用できます。

- [かな]
  ひらがなの入力モードになります。
- [カナ]
  カタカナの入力モードになります。
- [英数]
  アルファベットと数字の入力モードになります。
- [記号]
  記号（記述・学術・一般・文字）の入力モードになります。
- [全／半]
  全角と半角を切り替えます。全角のときは「全」、半角のときは「半」が表示されます。半角にできない文字もあります。半角にできる文字はP.256「入力文字一覧」を参照してください。
- [大／小]
  アルファベットの大文字と小文字を切り替えます。また、ひらがな、カタカナの拗音を入力するときに押します。
- [区点]
  区点入力モードになります。読みがわからず漢字を見つけられないときや、JIS第二水準の漢字を入力するときは、その漢字の区点コードを入力します。
- [←] [→]
  カーソルを左右に移動します。 カーソルを移動させ文字を入力すると、カーソルの前に文字が挿入されます。
- [後退]
  カーソルの前の文字を1つ消去します。
- [全消去]
  入力した文字をすべて消去します。
- [変換]
  入力したひらがなを漢字に変換します。
- [無変換]
  入力したひらがなをそのままひらがなとして確定します。
- [空白]
  文字と文字の間に空白を入れます。

入力方法

❖ ひらがな／カタカナ

画面の表示をひらがなにするときは、[かな] を押します。
画面の表示をカタカナにするときは、[カナ] を押します。
ひらがなは入力したあと、[無変換] を押します。
カタカナは直接入力されるので、[無変換] を押す必要はありません。
[大／小] を押すと、拗音に切り替えることができます。

制限

❒ ひらがなは半角入力できません。

❖ 漢字

読みをひらがなで入力し、[変換] を押します。画面に同じ読みの漢字が表示されるので、入力する漢字を選択して変換します。
表示されていない漢字を見るときは、[▲前へ] または [▼次へ] を押します。
漢字の読みがわからないときは、区点で入力します。

制限

❒ 漢字は半角では入力できません。

❖ 区点

[区点] を押し、入力する漢字の区点コードを入力します。区点コードは、P.256「入力文字一覧」で調べます。
例：「亜」を入力するときは、1601を押します。

❖ アルファベット／数字

画面の表示をアルファベットと数字にするときは、[英数] を押します。[大／小] を押すと、大文字または小文字に切り替えることができます。

❖ 記号

[記号] を押すと次の見出しが表示されます。見出しを押すと、画面が切り替わります。

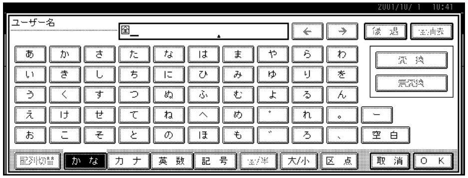
- 記述
- 学術
- 一般
- 文字

見出しに含まれる文字については、P.256「入力文字一覧」を参照してください。

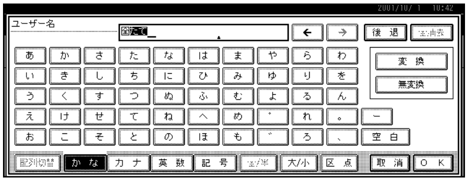
実際に入力してみる

例：「縦のA4」という名称を入力する（「A」は全角、「4」は半角で入力）

1 ［かな］を押して、表示をひらがなにします。



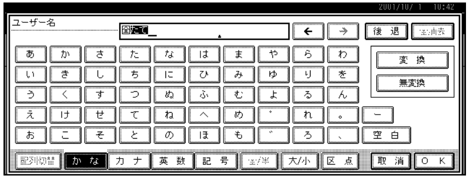
2 ［た］［て］を押します。



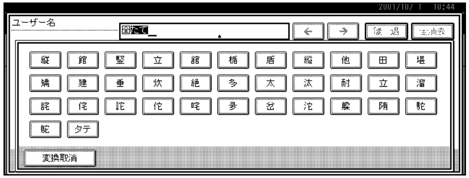
補足

- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

3 ［変換］を押します。



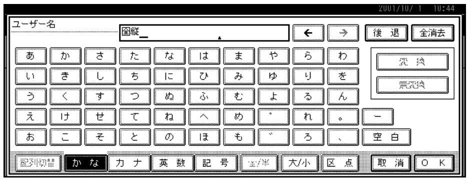
4 ［縦］を押します。



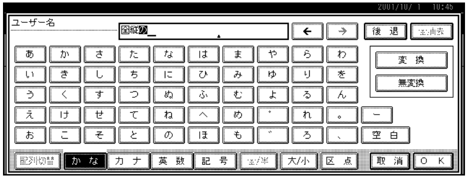
補足

- ❒ 変換を取り消す場合は、［変換取消］を押します。

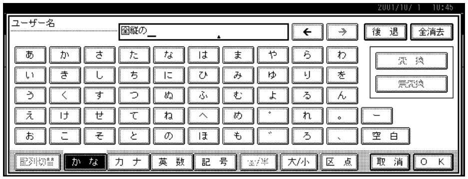
5 ［の］を押します。



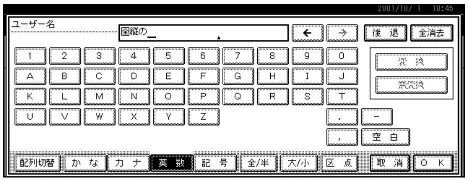
6 ［無変換］を押します。



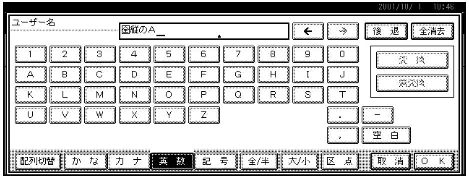
7 ［英数］を押します。



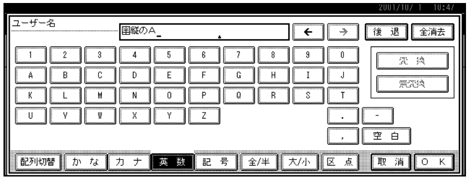
8 ［A］を押します。



9 ［全／半］を押して、半角に切り替えます。

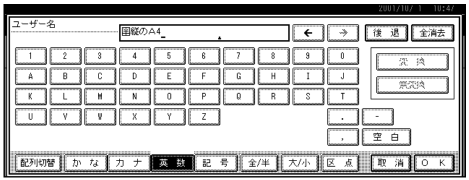


10 ［4］を押します。



11 ［OK］を押します。

「縦のA4」という名称が入力されます。



プリンター初期設定では、プリンターを使用するために必要な各種の基本的な設定や調整を行うことができます。設定できる機能の一覧は、以下のとおりです。

各機能をご使用になるときは、表中のページを参照してください。

機能一覧表

カテゴリー	メニュー機能
用紙設定	⇒ P.163 「用紙設定メニュー」
テスト印刷	⇒ P.165 「テスト印刷メニュー」
調整／管理	⇒使用説明書＜保守・運用編＞
システム設定	⇒ P.169 「システム設定メニュー」
システム設定(EM) *1	⇒ P.174 「システム設定(EM)メニュー」
インターフェースセッテイ	⇒ P.178 「インターフェース設定メニュー」

*1 エミュレーションを選択しているときに表示されます。エミュレーションの選択方法は、各エミュレーションの仕様説明書を参照してください。

用紙設定メニュー

用紙設定メニューでは、手差し用紙トレイにセットする用紙のサイズを設定できます。

設定項目	概要
手差し用紙サイズ	⇒使用説明書＜保守・運用編＞「用紙について」 ⇒ P.163 「不定形サイズを指定するとき」

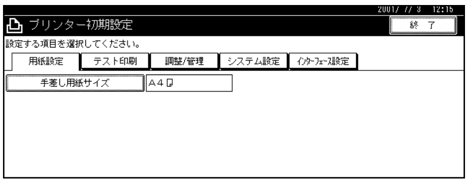
不定形サイズを指定するとき

不定形の用紙を使用するときは、次の手順で用紙サイズを設定します。

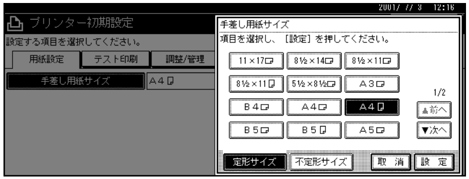
1 ［用紙設定］を押します。



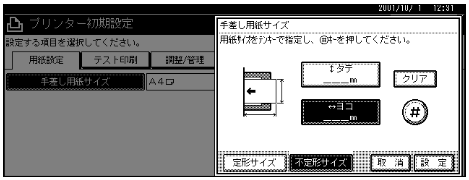
2 ［手差し用紙サイズ］を押します。



3 ［不定形サイズ］を押します。



4 縦のサイズを指定するときは［タテ］、横のサイズを指定するときは［ヨコ］を押し、テンキーでサイズを入力して、［#］を押します。



補足

- ❒ 入力を間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

5 ［設定］を押します。

用紙サイズが設定され、用紙サイズ設定画面に戻ります。

6 ［終了］を押します。

プリンター初期設定のメニュー画面に戻ります。

テスト印刷メニュー

テスト印刷メニューでは、プリンターの使用環境や印刷条件について、現在の設定の一覧表を印刷することができます。また、印字可能なすべての文字やフォントの種類も印刷して確認できます。

設定項目	概要
システム設定リスト	プリンターのシステム構成やシステム設定などの設定内容を印刷できます。⇒ P.166 「システム設定リストを印刷する」
印刷条件リスト *1	印刷条件の設定内容を印刷できます。
メニューリスト	初期設定のメインメニュー画面で設定できる各項目と設定内容をツリー状に表した一覧を印刷できます。
登録フォームリスト *2	本機に登録されているフォームの一覧を印刷できます。
カラーサンプル	カラーサンプルを印刷できます。
全文字印刷 *3	印刷できるすべての文字を印刷できます。
フォントリスト *3	印刷できるすべてのフォントを印刷できます。
PS情報リスト *4	PS3のシステム情報と搭載されているフォントの一覧を印刷できます。
ヘキサダンプ	印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られたデータを16進数で印刷できます。

*1 RPCS または PS3 以外を選択したときに表示されます。各エミュレーションの選択方法と詳細については、各エミュレーションの仕様説明書を参照してください。

*2 RPDLまたはPS55を選択したときに表示されます。選択方法と詳細については、各エミュレーションの仕様説明書を参照してください。

*3 RPDL/R98/R16/R55を選択したときに表示されます。選択方法と詳細については、各エミュレーションの仕様説明書を参照してください。

*4 PS3を選択したときに表示されます。選択方法と詳細については、＜PostScript 3使用説明書＞を参照してください。

システム設定リストを印刷する

ここでは「システム設定リスト」の印刷手順を説明します。基本的な操作方法は、ほかのリストを印刷する場合も同じです。

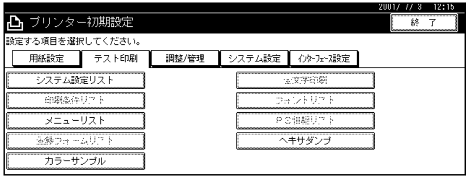
重要

- ❒ **システム設定リストは、**A4 **または** Letter($8^1/_2 \times 11$) **で印刷されます。給紙トレイや手差しトレイに**A4 **または** Letter($8^1/_2 \times 11$) **の用紙をセットしてください。**

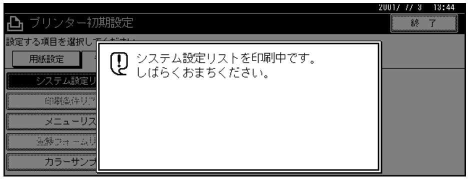
1 **［テスト印刷］を押します。**



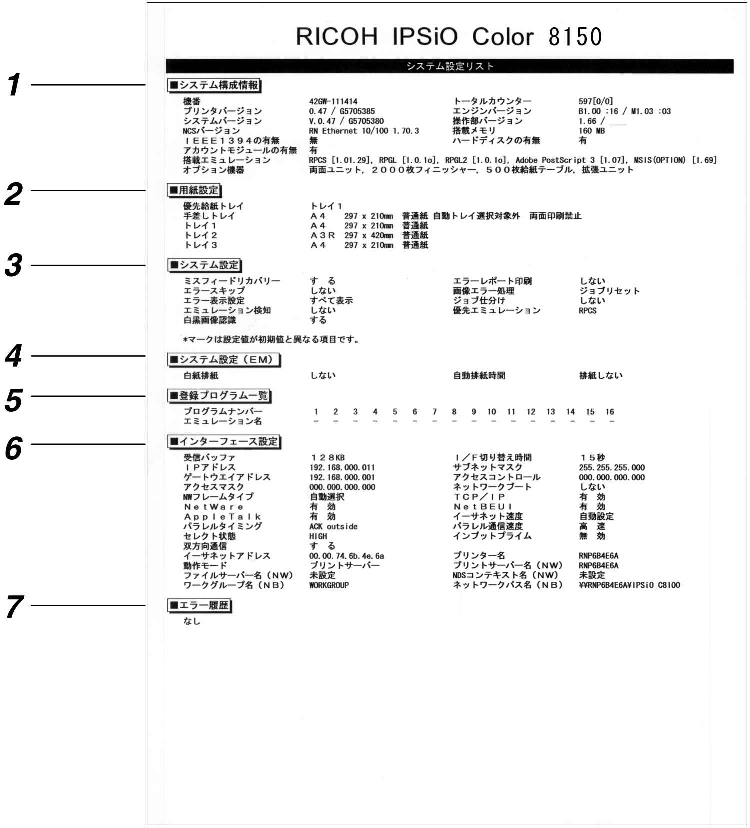
2 **［システム設定リスト］を押します。**



システム設定リストが自動的に印刷されます。印刷が終了すると、プリンター初期設定画面に戻ります。



システム設定リストの見かた



RICOH IPSiO Color 8150

システム設定リスト

■システム構成情報

機番	42GW-111414	トータルカウンター	597[0/0]
プリンタバージョン	0.47 / G5705385	エンジンバージョン	B1.00 :16 / M1.03 :03
システムバージョン	V.0.47 / G5705380	操作部バージョン	1.66 / ____
NCSバージョン	RN Ethernet 10/100 1.70.3	搭載メモリ	160 MB
ＩＥＥＥ１３９４の有無	無	ハードディスクの有無	有
アカウントモジュールの有無	有		
搭載エミュレーション	RPCS [1.01.29], RPGL [1.0.1o], RPGL2 [1.0.1o], Adobe PostScript 3 [1.07], MSIS(OPTION) [1.69]		
オプション機器	両面ユニット，２０００枚フィニッシャー，５００枚給紙テーブル，拡張ユニット		

■用紙設定

優先給紙トレイ	トレイ１			
手差しトレイ	Ａ４	297 x 210mm	普通紙	自動トレイ選択対象外　両面印刷禁止
トレイ１	Ａ４	297 x 210mm	普通紙	
トレイ２	Ａ３Ｒ	297 x 420mm	普通紙	
トレイ３	Ａ４	297 x 210mm	普通紙	

■システム設定

ミスフィードリカバリー	す　る	エラーレポート印刷	しない
エラースキップ	しない	画像エラー処理	ジョブリセット
エラー表示設定	すべて表示	ジョブ仕分け	しない
エミュレーション検知	しない	優先エミュレーション	RPCS
白黒画像認識	する		

*マークは設定値が初期値と異なる項目です。

■システム設定（ＥＭ）

白紙排紙	しない	自動排紙時間	排紙しない

■登録プログラム一覧

プログラムナンバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
エミュレーション名	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

■インターフェース設定

受信バッファ	１２８KB	Ｉ／Ｆ切り替え時間	１５秒
ＩＰアドレス	192.168.000.011	サブネットマスク	255.255.255.000
ゲートウエイアドレス	192.168.000.001	アクセスコントロール	000.000.000.000
アクセスマスク	000.000.000.000	ネットワークブート	しない
NWフレームタイプ	自動選択	ＴＣＰ／ＩＰ	有　効
ＮｅｔＷａｒｅ	有　効	ＮｅｔＢＥＵＩ	有　効
ＡｐｐｌｅＴａｌｋ	有　効	イーサネット速度	自動設定
パラレルタイミング	ACK outside	パラレル通信速度	高　速
セレクト状態	HIGH	インプットプライム	無　効
双方向通信	す　る		
イーサネットアドレス	00.00.74.6b.4e.6a	プリンター名	RNP6B4E6A
動作モード	プリントサーバー	プリントサーバー名（ＮＷ）	RNP6B4E6A
ファイルサーバー名（ＮＷ）	未設定	NDSコンテキスト名（ＮＷ）	未設定
ワークグループ名（ＮＢ）	WORKGROUP	ネットワークパス名（ＮＢ）	¥¥RNP6B4E6A¥IPSiO_C8100

■エラー履歴

なし

JupM601

1. **システム構成情報**

   本機のシステム構成情報です。

2. **用紙設定**

   優先給紙トレイの設定、給紙トレイ、手差しトレイの用紙サイズや種類が表示されます。

3. **システム設定**

   システム条件の設定項目と設定値です。

   *印がついている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

4. **システム設定**(EM)

   エミュレーションを選択している場合、表示されます。エミュレーションのシステム条件の設定項目と設定値です。

   *印がついている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

5. **登録プログラム一覧**

   プログラムが登録されている場合、表示されます。登録プログラムの番号とエミュレーション名が表示されます。

6. **インターフェース設定**

   インターフェース関連の設定項目と設定値が表示されます。

7. **エラー履歴**

   本機で発生したエラーの履歴が記載されます。

システム設定メニュー

システム設定メニューでは、プリンターの基本的な動作に関わる設定を行うことができます。工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更することも可能です。変更したシステム設定の内容は、電源を切っても保存されます。設定できる項目は、以下のとおりです。

設定項目	概要
ミスフィードリカバリー	印刷中の紙づまりに備えて、データをバックアップできます。
エラーレポート印刷	プリンター内部でのデータ処理中にエラーが発生した場合にエラーレポートを印刷できます。
エラースキップ	プリンタードライバーから指示された用紙サイズ・種類に一致するトレイがなかった場合のプリンターの動作を設定できます。
画像エラー処理	送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部で処理できない場合のプリンターの動作を設定できます。
エラー表示設定	プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーを操作画面に表示できます。
ジョブ仕分け	ジョブ単位ごとに排紙先を振り分けて交互に排紙するかどうかを設定できます。
エミュレーション検知	プリンターに送られたデータを自動的に判断して、エミュレーションを決定することができます。
優先エミュレーション／プログラム	電源を入れたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定できます。
白黒画像認識	プリンタードライバーのカラーモードでカラーが指定されていても、すべてのページがモノクロの原稿を印刷するときは、モノクロモードで印刷することができます。

システム設定を変更する

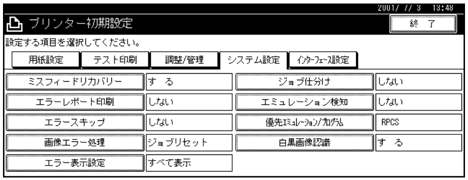
ここでは、「エラーレポート印刷」の設定値を変更する例を使って、設定の手順を説明します。基本的な操作方法は、ほかの設定項目でも同じです。

1 ［システム設定］を押します。



2 ［エラーレポート印刷］を選択します。

この例では、エラーレポート印刷は「しない」に設定されています。



3 ［する］を押して、［設定］を押します。



エラーレポート印刷が「する」に変更され、プリンター初期設定のメニュー画面に戻ります。

システム設定メニューの設定項目

ここでは、システム設定メニューの設定項目について説明します。

　　　　は、工場出荷時の設定です。

❖ ミスフィードリカバリー

印刷中の紙づまりに備えて、データをバックアップするかどうかを設定します。

する	紙づまりを取り除いた後、紙づまりの起こったページ から印刷されます。
しない	紙づまりを取り除いた後、紙づまりの起こった次のページから印刷されます。

❖ エラーレポート印刷

プリンター内部でのデータ処理中にエラーが発生した場合にエラーレポートを印刷するかどうかを設定します。

する	しない

❖ エラースキップ

プリンタードライバーから指示された用紙サイズ・用紙種類に一致するトレイがなかった場合のプリンターの動作を設定します。

しない	プリンタードライバーから指示された用紙サイズ・用紙種類のトレイがセットまたは設定されるまで印刷されません。
即時	用紙サイズ・用紙種類が一致しない場合でもすぐに印刷します。
1分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを1分間表示し、その後印刷を実行します。
5分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを5分間表示し、その後印刷を実行します。

10分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを10分間表示し、その後印刷を実行します。
15分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを15分間表示し、その後印刷を実行します。

❖ **画像エラー処理**
送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部で処理できない場合のプリンターの動作を設定します。

ジョブリセット	エラーが発生したページでジョブをリセットします。リセットされたページ以降は印刷されません。
エラーシート印刷	エラーが発生したページをエラー発生時までの画像で印刷します。エラーが発生したページ以降は印刷されますが、電子ソートの指示は解除されます。ジョブ終了後にエラーレポートを印刷します。エラーコードとともに、出力が不完全だったページを最大16ページ分印刷します。

❖ **エラー表示設定**
プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーを操作画面に表示するかどうかを設定します。

すべて表示	簡易表示

❖ **ジョブ仕分け**
2000枚フィニッシャー装着時に設定できます。ジョブ単位ごとに排紙先を振り分けて交互に排紙するかどうかを選択します。複数のジョブを大量印刷したときに、自動的に仕分けることができます。

する	しない

❖ **エミュレーション検知**
プリンターに送られたデータを自動的に判断して、エミュレーションを決定することができます。対象になるのは、RP-GL/2とPS3です。それ以外のエミュレーションは、「優先エミュレーション」で設定されているエミュレーションになります。

する	しない

❖ 優先エミュレーション

電源を入れたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

RPCS	RPDL	PS3	R16	R98	R55	RPGL	RTIFF	**プログラム** 1〜16

補足

- ❒「プログラム1」〜「プログラム16」に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されてプリンターが起動します。RP-GL/2使用時に有効です。

❖ 白黒画像認識

プリンタードライバーのカラーモードでカラーが指定されていても、すべてのページがモノクロの原稿を印刷するときは、モノクロモードで印刷します。この場合、カラーモード時に必要な消耗品を消耗しません。

する	しない

補足

- ❒ 原稿の途中にカラー原稿が存在する場合、そのページから最終ページまではモノクロページであってもカラーモードになります。
- ❒ 原稿の先頭がカラー原稿の場合、先頭ページ以降がモノクロページであってもカラーモードで印刷されます。
- ❒ この機能を設定して印刷した場合でも、データによっては適切に働かないことがあります。

システム設定 (EM) メニュー

システム設定(EM)メニューでは、DOSで使用する上での基本的な動作について設定することができます。工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更することも可能です。変更したシステム設定(EM)の内容は、電源を切っても保存されます。設定できる項目は、以下のとおりです。

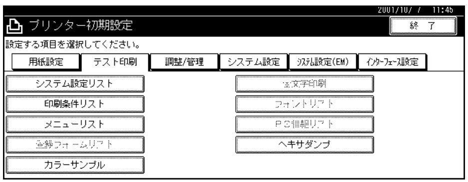
設定項目	概要
マクロキャッシュ [*1]	メモリー内に確保するフレームメモリーの領域、マクロキャッシュ領域の組み合わせを選択できます。
白紙排紙	白紙排紙コマンドを受信したときに、印刷するデータがなくても、白紙のまま排紙するかどうかを設定できます。
自動排紙時間	一定時間パソコンからデータが送信されない場合にプリンター内にあるデータを強制的に印刷するかどうかを設定できます。

*1 RPDLを選択したときに表示されます。選択方法と詳細については、<RPDL使用説明書>を参照してください。

システム設定 (EM) を変更する

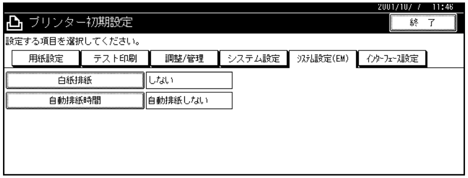
ここでは、「自動排紙時間」の設定値を変更する例を使って、設定の手順を説明します。基本的な操作方法は、ほかの設定項目でも同じです。

1 [システム設定(EM)] を押します。



2 ［自動排紙時間］を押します。

この例では、自動排紙時間は「自動排紙しない」に設定されています。



3 ［10秒］を押して、［設定］を押します。



自動排紙時間が「10秒」に変更され、プリンター初期設定のメニュー画面に戻ります。



システム設定 (EM) メニューの設定項目

ここでは、システム設定(EM)メニューの設定項目について説明します。 は、工場出荷時の設定です。

❖ マクロキャッシュ

メモリー内に確保するフレームメモリーの領域、マクロキャッシュ領域の組み合わせを選択します。この機能はRPDL使用時に有効です。

マクロなし	マクロキャッシュ領域を確保しません。
マクロ2.1MB	メモリー領域に2.1Mバイトのマクロキャッシュ領域を確保します。
マクロ4.3MB	メモリー領域に4.3Mバイトのマクロキャッシュ領域を確保します。
マクロ8.4MB	メモリー領域に8.4Mバイトのマクロキャッシュ領域を確保します。

補足

❒ メモリー容量と用紙サイズについては、P.254「メモリー容量と用紙サイズ」を参照してください。

❖ 白紙排紙

白紙排紙コマンドを受信したときに、印刷するデータがなくても、白紙のまま排紙するかどうかを設定します

する	排紙します。
スペース	排紙コマンドの前にスペースコード（20H、A0H、8140H）があるときは、排紙します。
しない	排紙しません。

❖ **自動排紙時間**

一定時間パソコンからデータが送信されない場合に、プリンター内にあるデータを強制的に印刷するかどうかを設定します。たとえば、改ページコードがなくて、プリンターの画面の［強制排紙］を押さないと印刷できないようなデータでも自動的に印刷させることができます。「自動排紙しない」に設定すると、データは自動的には印刷されません。自動的に印刷させる場合は、データが送信されなくなってから強制的に印刷するまでの時間を設定します。　設定された時間が経過すると送信されてきたデータが1ページの途中で終わっていても強制的に印刷されます。スピーディに印刷するには、適切な時間を設定することが重要です。

自動排紙しない	10秒	15秒	20秒	25秒	60秒	300秒

インターフェース設定メニュー

インターフェース設定メニューでは、ネットワーク接続に関する設定とパソコンとプリンターをパラレルで接続している場合の通信に関する設定を行います。変更したインターフェース設定の内容は、電源を切っても保存されます。設定できる項目は、以下のとおりです。

設定項目	概要
受信バッファ	受信バッファのメモリーサイズを設定できます。
インターフェース切替時間	現在のインターフェースからデータが送信されなくなってから、そのインターフェースが無効になるまでの時間を設定できます。

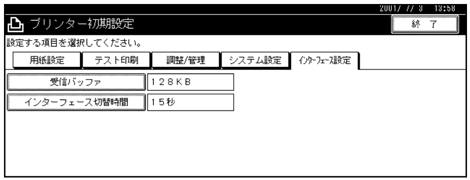
インターフェース設定を変更する

ここでは、「インターフェース切替時間」の設定値を変更する例を使って、設定の手順を説明します。基本的な操作方法は、ほかの設定項目でも同じです。

1 [インターフェース設定]を押します。

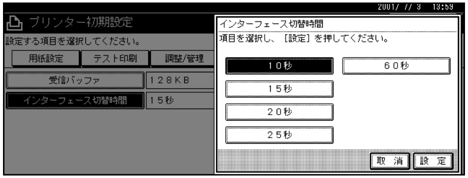


2 [インターフェース切替時間]を押します。



この例では、インターフェース切り替え時間は「15秒」に設定されています。

3 設定する時間を押して、［設定］を押します。



インターフェース切り替え時間が「10秒」に変更され、プリンター初期設定のメニュー画面に戻ります。

4 ［終了］を押します。



初期設定のメインメニュー画面に戻ります。

インターフェース設定メニューの設定項目

ここでは、インターフェース設定メニューの設定項目について説明します。　　　は、工場出荷時の設定です。

❖ 受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

128Kバイト	256Kバイト	512Kバイト

❖ インターフェース切替時間

現在のインターフェースからデータが送信されなくなってから、そのインターフェースが無効になるまでの時間を設定します。ここで設定した時間を超えると、ほかのインターフェースからのデータ受信が可能になります。

設定時間が短すぎると、データ受信中にタイムアウトになってしまうことがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、異なるエミュレーションに切り替わったり、印刷を中止したデータが途中から印刷されたりします。

10秒	15秒	20秒	25秒	60秒

7. Ridoc IO Adminによる機器の設定

Ridoc IO Adminによって、TCP/IPプロトコルまたはIPX/SPXプロトコルを使用してネットワーク上の機器の状態を監視したり、イーサネットボードの設定を変更できます。

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版	Windows 95/98/Meに付属のTCP/IPプロトコル Windows 95/98/Meに付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows 95/98/Meに付属のNetWare ネットワーククライアント NetWare Client32 for Windows 95 IntranetWare Client for Windows 95 Novell Client for Windows 95/98
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows 2000に付属のIPX/SPXトランスポート Windows 2000に付属のNetWare用クライアント
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 4.0に付属のTCP/IPプロトコル Windows NT 4.0に付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows NT 4.0に付属のClient Service for NetWare NetWare Client32 for Windows NT IntranetWare Client for Windows NT Novell Client for Windows NT/2000

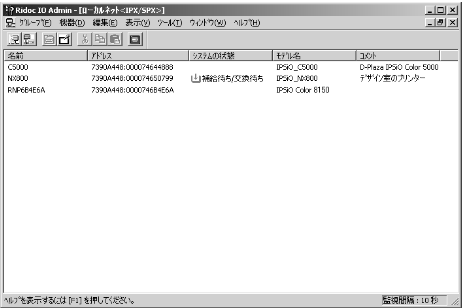
ここでは、イーサネットボードの設定の変更方法と設定画面について説明します。

イーサネットボードの設定を変更するには

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 [グループ] メニューをクリックし、[ローカルネットを開く] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

機器の一覧が表示されます。



補足

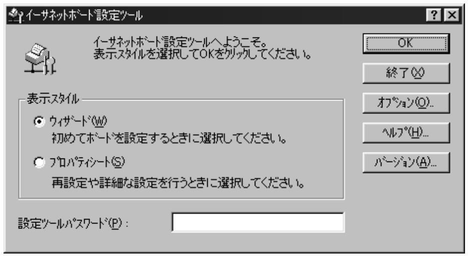
- ❒ 設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

3 一覧からイーサネットボードの設定を変更する機器をクリックして、反転表示させせます。

4 [ツール] メニューの [イーサネットボード設定] を選択します。



イーサネットボード設定ツールが起動します。



5 ［ウィザード］または［プロパティシート］を選択し、［次へ］をクリックします。

補足

- ❒ ［ウィザード］は、初めてイーサネットボードの設定をするときに選択します。
- ❒ ［プロパティシート］は、イーサネットボードの設定を変更する場合や詳細な設定を行うときに選択します。

ウィザードを選択した場合

❶ 必要な項目を入力し、［次へ］をクリックします。



この後の操作手順については、ヘルプを参照してください。

プロパティシートを選択した場合

❶ ダイアログボックスに設定の一覧が表示されます。



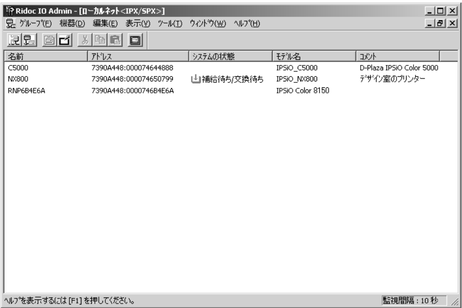
ダイアログボックスの各項目の詳細については、ヘルプを参照してください。

機器側操作部のメニューをロックするには

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［ローカルネットを開く］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

機器の一覧が表示されます。

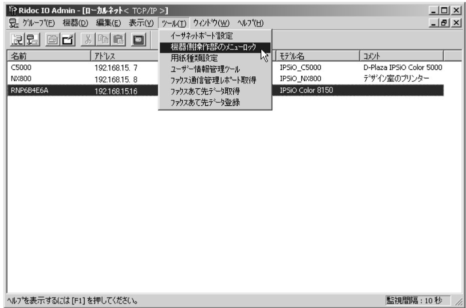


補足

- ❒ 設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

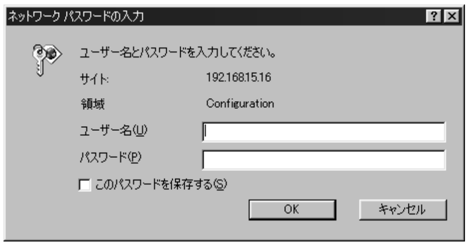
3 機器側操作部のメニューをロックするプリンターをクリックして、反転表示させせます。

4 ［ツール］メニューの［機器側操作部のメニューロック］を選択します。



Webブラウザが起動し、ユーザー IDとパスワードを入力する画面が表示されます。

5 パスワードを入力して、［OK］をクリックします。

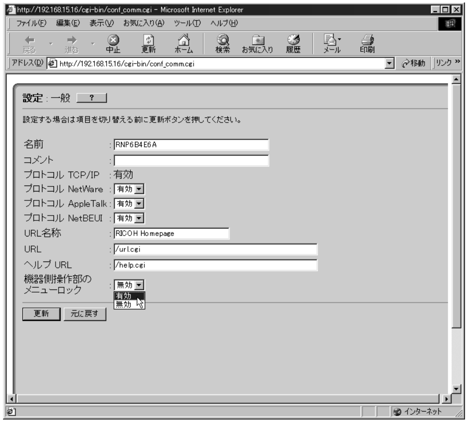


補足

- ❒ 工場出荷時のパスワードは、「ricoh」に設定されています。
- ❒ ユーザー名を入力する必要はありません。

一般設定のウィンドウが表示されます。

6 ［機器側操作部のメニューロック］のプルダウンメニューから［有効］を選択します。



7 ［更新］をクリックします。

8 Webブラウザを終了します。

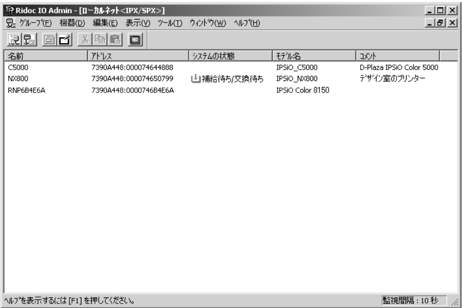
［機器側操作部のメニューロック］以外の項目の詳細については、「Webブラウザによる管理」のヘルプを参照してください。

用紙種類の設定を変更するには

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［ローカルネットを開く］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

機器の一覧が表示されます。

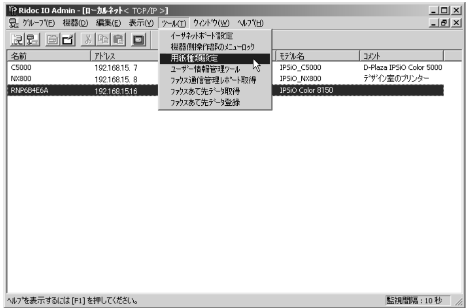


補足

❒ 設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

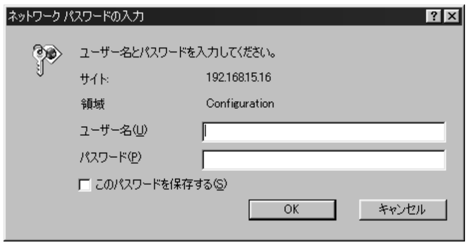
3 一覧から用紙種類の設定を変更する機器をクリックして、反転表示させせます。

4 ［ツール］メニューの［用紙種類設定］を選択します。



Webブラウザが起動し、ユーザー IDとパスワードを入力する画面が表示されます。

5 パスワードを入力して、［OK］をクリックします。

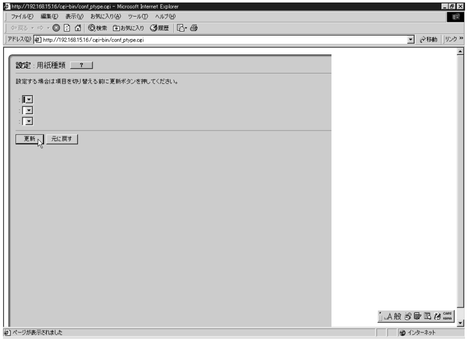


補足

- ❒ **工場出荷時のパスワードは、「ricoh」に設定されています。**
- ❒ **ユーザー名を入力する必要はありません。**

用紙種類を設定するウインドウが表示されます。

6 用紙種類を選択し、［更新］をクリックします。



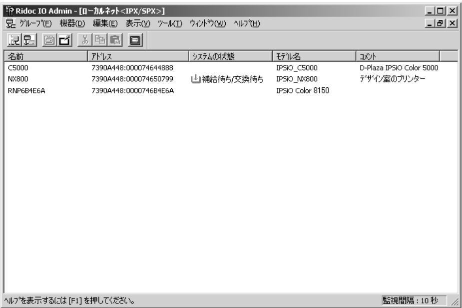
7 Webブラウザを終了します。

印刷枚数を管理するには

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 [グループ] メニューをクリックし、[ローカルネットを開く] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

機器の一覧が表示されます。

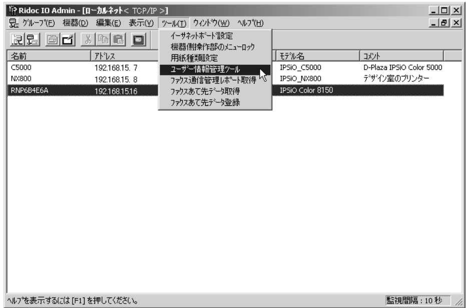


補足

❒ 設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

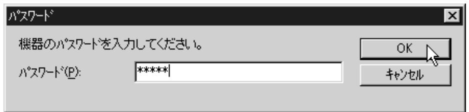
3 一覧から統計情報を管理する機器をクリックして、反転表示させせます。

4 [ツール] メニューの [ユーザー情報管理ツール] を選択します。



パスワードを入力する画面が表示されます。

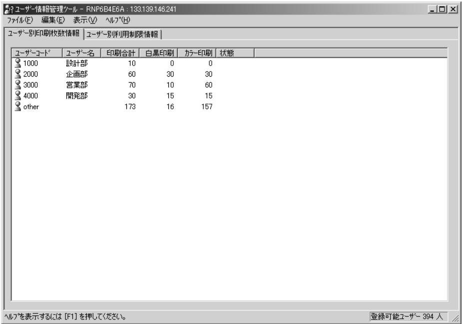
5 パスワードを入力して、[OK] をクリックします。



補足

❒ 工場出荷時のパスワードは、「ricoh」に設定されています。

ユーザー情報管理ツールが起動します。



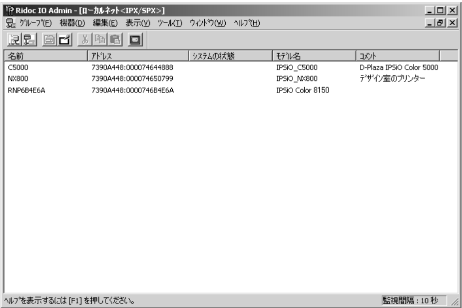
ユーザー情報管理ツールの詳細については、Ridoc IO Admin**のヘルプを参照してください。**

省エネモードを設定するには

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 [グループ］メニューをクリックし、[ローカルネットを開く］をポイントし、[TCP/IP］または[IPX/SPX］をクリックします。

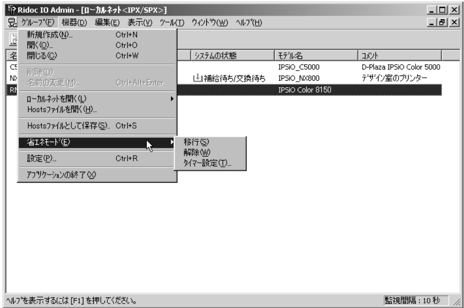
機器の一覧が表示されます。



補足

- ❒ 設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

3 [グループ]メニューをクリックし、[省エネモード]をポイントし、表示されたメニューから設定したい省エネモードを選択します。



設定値の詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

本機に搭載されているイーサネットボードには、プリンターをネットワークプリンターとして使用する機能のほか、Webサーバーとして動作し、ネットワーク上のパソコンからWebブラウザを使って本機の状態を確認したり、変更できる機能があります。

❖ 機器側の環境設定

この機能は、TCP/IPプロトコルを使って動作します。この機能を使用する場合は、本機でTCP/IPプロトコルを設定してください。TCP/IPを正しく設定すると、この機能は自動的に有効になります。

参照

本機でTCP/IPプロトコルを設定する方法については、使用説明書＜システム設定編1　スキャナーユニット　タイプ8100対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

❖ パソコン側の動作環境

対象OS	対応ブラウザ
Microsoft Windows 95/98/Me	Microsoft Internet Explorer 3.02/4.0/5.0 Netscape Navigator 3.0/4.0
Microsoft Windows 2000	
Microsoft Windows NT 4.0	
MacOS 7.5/8.0/8.6/9.0	
Solaris 2.5/2.6/2.7	

制限

- ❒ ブラウザの［戻る］ボタンで前のページに戻れないことがあります。その場合は、ブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。
- ❒ ブラウザで設定しているフォントサイズによっては、一部表示がずれることがあります。Internet Explorerでは「中」以下、Netscape Navigatorでは「10ポイント」以下でご使用いただくことをお勧めします。

トップページを表示する

パソコン側でWebブラウザを起動し、URLとして機器のIPアドレスを指定すると、トップページが表示されます。以下にURLの入力例を示します。

機器のIPアドレスが192.168.15.16の場合：

`http://192.168.15.16/`

補足

- ネットワークにDNSサーバーがある場合は、ホスト名を使って指定できます（たとえばhttp://webmonitor.netprinter.ricoh.co.jp/）。DNSサーバーに機器のIPアドレスとホスト名を登録してください。詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。
- ネットワークに接続されているプリンターをWebブラウザで見る場合、Proxyサーバーを経由しない設定にする必要があります。設定方法については、Webブラウザのヘルプを参照してください。
- Proxyサーバーを設置した場合、ご使用のWebブラウザにProxyサーバーを設定してください。



JupM605

1. **ヘッダーボタン**

   [English] をクリックすると、英語表示に切り替わります。[RICOH Homepage] をクリックするとリコーのホームページに、[ヘルプ] をクリックするとリコーのホームページにあるヘルプにジャンプします。

   ### 制限

   - リコーのホームページやヘルプにアクセスするには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

重要

- ダイヤルアップ接続している場合など、インターネットへの接続形態によっては接続料金がかかることがあります。ご注意ください。

補足

- ヘルプは、HTMLファイルとしてCD-ROMにも収録されています。CD-ROMの¥HELP¥WSMHELP¥JA¥index.htmlを開いてください。
- 英語表示に切り替えても、[管理情報] メニューの [ジョブ履歴] 画面の一部に日本語が表示されます。

2. **メニューボタン**

設定・確認を行うためのボタンが並んでいます。

補足

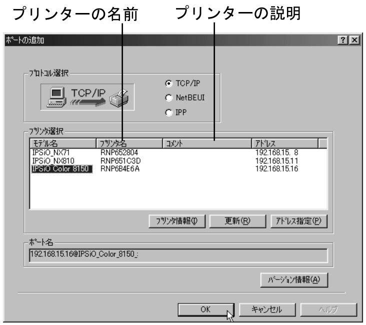
- [ネットワーク設定] をクリックすると、ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。このダイアログではパスワードだけを入力します。工場出荷時のパスワードは「ricoh」です。
- パスワードは、リモートメンテナンス(mshell)で使用するパスワードと共通です。

3. **表示エリア**

イーサネットボードの名前とコメント、機器の状態が表示されます。

名前とコメントを変更する

Ridoc IO Naviで一覧表示した機器を識別しやすくするために、表示される名前を変えたり、コメントを付けることができます。



表示される名前やコメントを変更するには、以下のユーティリティーを使用します。

❖ Ridoc IO Admin
TCP/IPプロトコルまたはIPX/SPXプロトコルを使用できる場合、Ridoc IO Adminを使用して名前とコメントを変更できます。Ridoc IO Adminは、本機に付属のCD-ROMからインストールします。インストール方法については、P.61「Ridoc IO Adminのインストール」を参照してください。

❖ Webブラウザ
TCP/IPプロトコルを使用できる場合、Webブラウザを使用して名前とコメントを変更できます。

補足

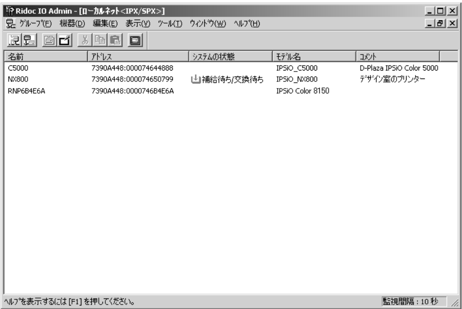
- ❒ TCP/IPプロトコルで表示される名前(プリンター名)とNetBEUIプロトコルで表示される名前(パソコン名)は個別に変更します。コメントは共通です。
- ❒ 工場出荷時には、「RNP」とイーサネットボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえば、MACアドレスが00:00:74:62:7D:D5の場合は、「RNP627DD5」です。コメントは設定されていません。

Ridoc IO Admin の場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［ローカルネットを開く］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

機器の一覧が表示されます。

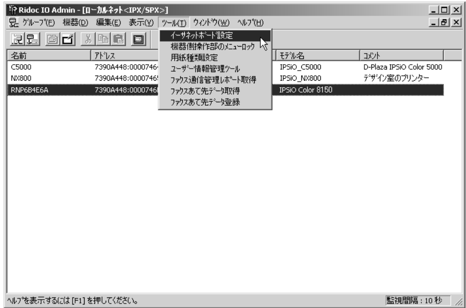


補足

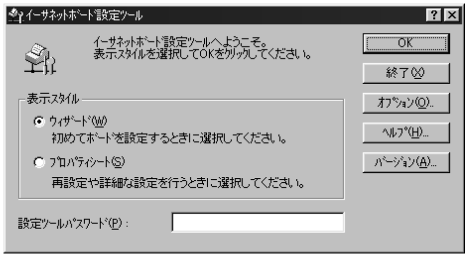
❒ 設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

3 一覧からイーサネットボードの設定を変更する機器をクリックして、反転表示させます。

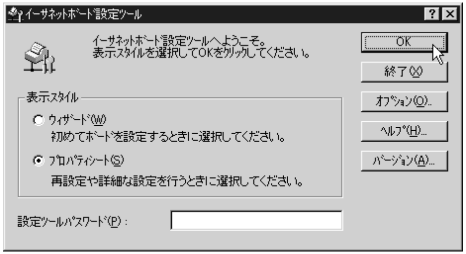
4 ［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］を選択します。



イーサネットボード設定ツールが起動します。

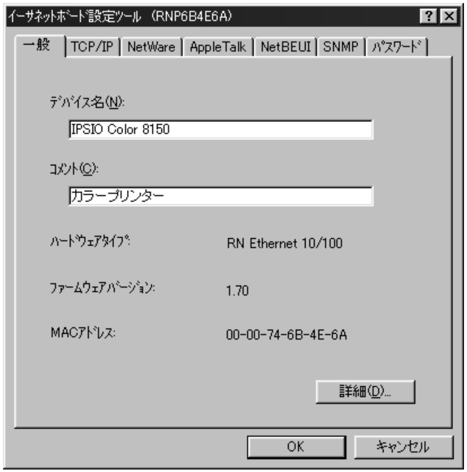


5 ［プロパティシート］を選択し、［OK］をクリックします。



TCP/IPの場合

❶ ［一般］タブの［デバイス名］と［コメント］に名前とコメントを入力します。

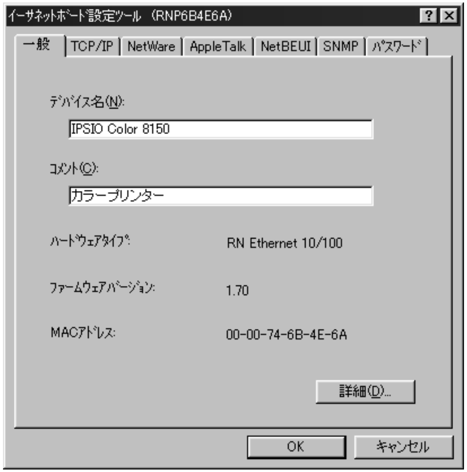


補足

- ［デバイス名］には、機器の名前を半角英数字47文字以内で入力します。工場出荷時は、「RNP」とイーサネットボードの MAC アドレスの下 3 バイトで構成される名前が設定されています。たとえば、MACアドレスが00:00:74:62:7D:D5の場合は、「RNP627DD5」です。RNPで始まる9文字の名前は入力できません。また、IPアドレスの設定方法としてDHCPを選択した場合、入力できる文字は13文字以内になります。
- ［コメント］には、機器のコメントを31バイト以内で入力します。

NetBEUIの場合

❶ ［一般］タブの［コメント］にコメントを入力します。



補足

- ❒ ［コメント］には、機器のコメントを31バイト以内で入力します。

❷ ［NetBEUI］タブをクリックします。

❸ ［パソコン名］に名前を入力します。



補足

- ❒ ［パソコン名］には、NetBEUIプロトコルで機器を識別するための名前を入力します。工場出荷時は、「RNP」とイーサネットボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえば、MACアドレスが00:00:74:62:7D:D5の場合は、「RNP627DD5」です。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|.およびスペースを除く）で、13文字以内です。RNPで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上のほかの機器と重複しない名前を付けてください。
- ❒ ［コメント］には、機器のコメントを31バイト以内で入力します。

6 [OK］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了し、設定が機器に送信されます。

7 Ridoc IO Adminを終了します。

Web ブラウザの場合

1 Webブラウザを起動します。

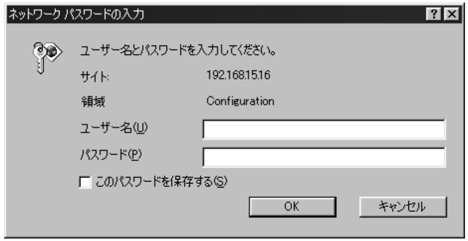
2 アドレスに「http://（設定を変更する機器のIPアドレス）/」と入力します。

Web ブラウザに選択した機器の状態が表示されます。



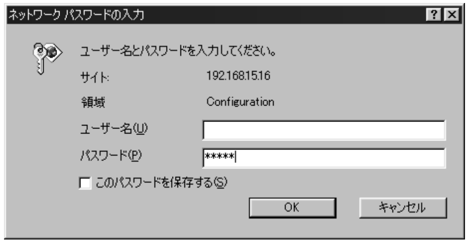
3 [設定］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。



4 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK］をクリックします。

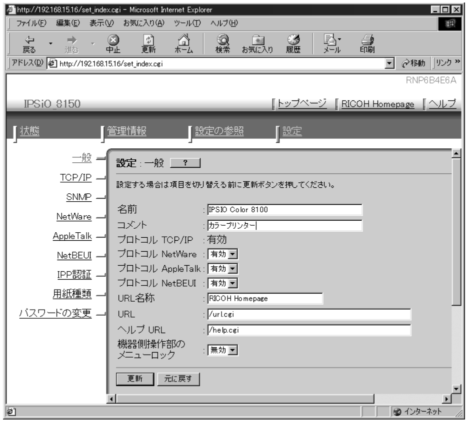
工場出荷時の設定は、ユーザー名は空欄、パスワードは「ricoh」になっています。



5 名前とコメントを変更します。

TCP/IPの場合

❶ ［一般］の［プリンタ名］と［コメント］に、名前とコメントを入力します。



補足

❒ ［プリンタ名］には、機器の名前を半角英数字47文字以内で入力します。工場出荷時は、「RNP」とイーサネットボードの MAC アドレスの下 3 バイトで構成される名前が設定されています。たとえば、MACアドレスが00:00:74:62:7D:D5の場合は、「RNP627DD5」です。RNPで始まる9文字の名前は入力できません。また、IPアドレスの設定方法としてDHCPを選択した場合、入力できる文字は13文字以内になります。

❒ ［コメント］には、機器のコメントを31バイト以内で入力します。

NetBEUIの場合

❶ ［NetBEUI］をクリックします。

❷ ［パソコン名］と［コメント］に、名前とコメントを入力します。



補足

- ［パソコン名］には、NetBEUIプロトコルで機器を識別するための名前を入力します。工場出荷時は、「RNP」とイーサネットボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえば、MACアドレスが00:00:74:62:7D:D5の場合は、「RNP627DD5」です。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|.およびスペースを除く）で、13文字以内です。RNPで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上のほかの機器と重複しない名前を付けてください。
- ［コメント］には、機器のコメントを31バイト以内で入力します。

6 ［更新］をクリックします。

設定が機器に送信されます。

7 Webブラウザを終了します。

機器の状態を表示する

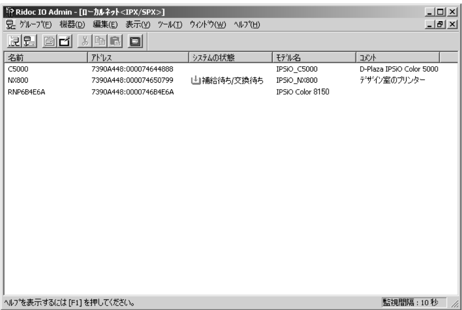
Ridoc IO Admin、Ridoc IO Navi、Webブラウザを使って機器の状態を確認できます。

Ridoc IO Admin の場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［ローカルネットを開く］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

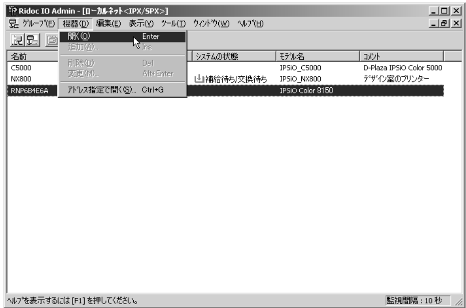
一覧に機器の状態がアイコンで表示されます。



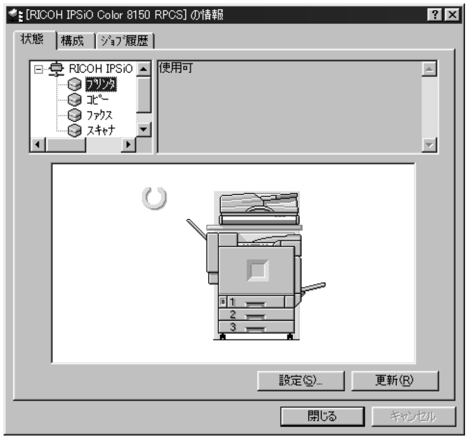
補足

❒ 状態アイコンの詳細については、ヘルプを参照してください。

3 詳細を知りたい場合は、一覧で状態を知りたい機器をクリックして、反転表示させ、［機器］メニューの［開く］をクリックします。



機器の状態がダイアログに表示されます。



補足

- ダイアログの各項目の詳細については、ヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi の場合

Ridoc IO Naviを使用して機器の状態を表示させるには、あらかじめ状態を表示させたい機器を監視するように設定しておく必要があります。

監視する機器を設定するには

1 Ridoc IO Naviを起動します。

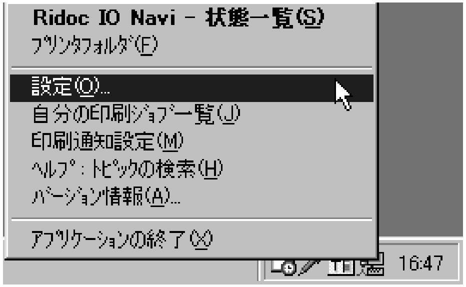
タスクバーの右端にRidoc IO Naviアイコンが表示されます。

2 Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたポップアップメニューに目的の機器があるかどうかを確認します。



機器がある場合は、P.202 「機器の状態を表示する」に進みます。

3 目的の機器がない場合は、ポップアップメニューの［設定］をクリックします。



［Ridoc IO Navi-設定］ダイアログが表示されます。



4 監視する機器をクリックして反転表示させ、［設定］の［監視対象にする］に✓印を付けます。



補足

- ❒ ［タスクバーアイコンに表示する］に✓印を付けると、タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンに機器の状態がアイコンで表示されるようになります。

5 ［OK］をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定した機器が監視の対象になります。

機器の状態を表示する

1 Ridoc IO Naviを起動します。

2 タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンに機器の状態が表示されます。

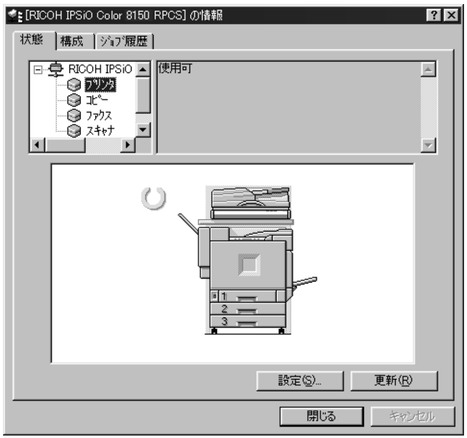
補足

- ❒ 状態アイコンの詳細については、ヘルプを参照してください。

3 詳細を知りたい場合は、Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたい機器をクリックします。



機器の状態がダイアログに表示されます。



補足

- ダイアログの各項目の詳細については、ヘルプを参照してください。

Web ブラウザの場合

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスに「http://（状態を表示させたい機器のIPアドレス）/」と入力します。

Web ブラウザに選択した機器の状態が表示されます。



3 ［状態］をクリックすると、給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。



補足

- ❒ それぞれの項目の詳細については、ヘルプを参照してください。

Windows からのファイル直接印刷

Windows 2000、Windows NT 4.0からlpr、rcp、ftpコマンドを使って印刷できます。また、Windows 95/98/Meからはftpコマンドを使って印刷できます。

OS	lpr	rcp	ftp
Windows 2000/Windows NT 4.0	✓	✓	✓
Windows 95/98/Me			✓

この方法で印刷できるファイルは、プリンター搭載のエミュレーション用に作られたファイルです。搭載されていないエミュレーションのファイルは、印刷できません。

補足

- ❒ エミュレーション用に作られたファイルとは、たとえばPostScript3用のポストスクリプトファイルなどです。

ここでは、セットアップの方法と印刷方法について説明します。

セットアップ

1 プリンターのネットワーク環境を設定します。

- TCP/IPプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定します。

参照

設定方法については、使用説明書＜システム設定編 1　スキャナーユニット　タイプ 8100 対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

DHCP を使用してプリンターの IP アドレスを設定するときは、P.247 「DHCPを使用する場合」を参照してください。

2 Windows に TCP/IP プロトコルをインストールし、ネットワーク環境を設定します。

補足

- ❒ ネットワークに関する設定内容は、ネットワーク管理者に確認してください。

3 Windows 2000/Windows NT 4.0でlprを使って印刷する場合は、ネットワークソフトウェアとして「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールします。

補足

- ❒ Windows 95/98/Meの場合は必要ありません。
- ❒ 印刷時にIPアドレスを使ってプリンターを指定する場合のセットアップは、これで完了です。プリンターの指定にホスト名を使用するときは、次の「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する」に進んで、セットアップを続けてください。

IP アドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IPアドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定することができます。使用するホスト名は、ネットワーク環境により異なります。

❖ **DNSを使用している場合**

DNSサーバー上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

❖ **DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定している場合**

システム設定リストに印刷されたプリンターの名前をホスト名として使用します。システム設定リストの印刷方法については、P.166「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

❖ **その他の場合**

印刷を行うパソコンのhostsファイルにネットワークプリンターの IP アドレスとホスト名を追加します。追加方法はOSにより異なります。

補足

- ❒ hostsファイルは、ネットワーク内で通信するホストのIPアドレスとホスト名を登録するファイルです。
- ❒ Windows 2000/Windows NT 4.0でhostsファイルを編集するには、以下のように操作します。
  - ① メモ帳などでhostsファイルを開きます。
    hostsファイルは以下の場所にあります。
    ```
    \WINNT\SYSTEM32\DRIVERS\ETC\HOSTS
    ```
    ¥WINNTはWindows 2000/Windows NT 4.0のインストール先のディレクトリです。
  - ② hosts ファイルに IP アドレスとホスト名を以下の形式で追加します。
    ```
    192.168.15.16  ricoh  # NP
    ```
    192.168.15.16はIPアドレス、ricohはプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1行で入力します。
  - ③ ファイルを上書き保存します。
- ❒ Windows 95/98/Meでhostsファイルを編集するには、以下のように操作します。
  - ① ¥WINDOWS¥HOSTS.SAMを同じディレクトリにコピーし、名前をHOSTS（拡張子は付けません）にします。

② 作成した ¥WINDOWS¥HOSTS ファイルをメモ帳などで開きます。

③ IPアドレスとホスト名をWindows 2000/Windows NT 4.0の場合と同じ形式で追加し、ファイルを上書き保存します。

印刷方法

lpr、rcp、ftpコマンドを使って印刷する方法について説明します。

操作の前に

コマンドは、コマンド プロンプト ウィンドウで入力します。Windows 95/98/Meでコマンド プロンプト ウィンドウを表示するには、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] をポイントし、[MS-DOSプロンプト] をクリックします。

補足

❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。

❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がいっぱいになっています。セッション数が 5 以下になってから印刷し直してください。

❒ ファイル名は、コマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。

参照

コマンドの中で指定する「オプション」はプリンター固有のオプションで、内容はUNIXから印刷する場合と同様です。詳細については、使用説明書＜プリンタークライアント編2＞「UNIXで使う」を参照してください。

エミュレーションによっては、エミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては、各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

lpr

❖ IPアドレスを使ってプリンターを指定する場合

```
c:> lpr -Sプリンターの IPアドレス  [-Pオプション]
  [-ol]  \パス名\ファイル名
```

❖ IPアドレスの代わりにホスト名を使用する場合

```
c:> lpr -Sプリンターのホスト名  [-Pオプション]
  [-ol]  \パス名\ファイル名
```

補足

- ❒ バイナリーファイルを印刷する場合は -Ol（大文字のOと、小文字のL）オプションを付けてください。

ホスト名がricohのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> lpr -Sricoh -Pfiletype=RPS -Ol C:\PRINT\file1
```

rcp

あらかじめhostsファイルにプリンターのホスト名を登録しておきます。⇒使用説明書＜プリンタークライアント編2＞「UNIXで使う」

```
c:> rcp　\パス名\ファイル名　[\パス名\ファイル名...]　プリンターのホスト名:[オプション]
```

補足

- ❒ ファイル名には、「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

ホスト名がricohのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1とfile2のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> rcp C:\PRINT\file1 C:\PRINT\file2 ricoh:filetype=RPS
```

ftp

印刷するファイル数に応じて、putまたはmputコマンドを使います。

❖ **印刷するファイルが1つの場合**

```
ftp> put　\パス名\ファイル名　[オプション]
```

❖ **印刷するファイルが複数の場合**

```
ftp> mput　\パス名\ファイル名　[\パス名\ファイル名...]
```

補足

- ❒ mputコマンドでは、ファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

制限

- ❒ ファイル名に「=」と「,」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。

ftpを起動してから印刷するまでの手順は、次のようになります。

1 プリンターのIPアドレス（またはhostsファイルに設定したプリンターのホスト名）を引数にして、ftpコマンドを起動します。

```
% ftp　プリンターのIPアドレス
```

2 必要に応じてユーザー名を入力し、パスワードは何も入力しないで、Returnキーを押します。

```
User:
Password:
```

3 バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

補足

- ❒ バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され、正しく印刷されないことがあります。

4 印刷するファイルを指定します。

以下は、C:¥PRINTディレクトリにある、file1という名前のPostScriptファイルを印刷する例と、file1とfile2を印刷する例です。

```
ftp> put C:\PRINT\file1 filetype=RPS
ftp> mput  C:\PRINT\file1 C:\PRINT\file2
```

5 ftpを終了します。

```
ftp> bye
```

SNMP

本機のイーサネットボードには、UDPとIPX上で動作するSNMP（Simple Network Management Protocol）エージェントが組み込まれています。このため、SNMPマネージャを使ってプリンターの情報を取得することができます。

工場出荷時のコミュニティ名には、「public」と「ricoh」が設定されています。このコミュニティ名でMIB情報を取得することができます。

参照

コミュニティ名の設定方法については、「telnetによるリモートメンテナンス（mshell）」の**P.216 「コミュニティ名設定」****を参照してください。**

制限

- ❒ **プリンターによって、サポートしているMIBが異なります。**

❖ サポートしているMIB

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB（リコーオリジナル）

telnet によるリモートメンテナンス（mshell）

telnet を使って、プリンターの状態や設定内容を確認したり、各種の設定を行うことができます。

補足

- ❒ リモートメンテナンス（mshell）は、ネットワーク管理者だけが使用できるように、パスワードを設定して運用してください。
- ❒ パスワードは、Web ブラウザでイーサネットボード設定を行うときに使用するパスワードと共通です。mshell上でパスワードを変更すると、ほかのパスワードも変更されます。

操作の流れ

telnet を起動してから終了するまでの手順は、次のようになります。

制限

- ❒ 複数のユーザーがリモートメンテナンスを同時に使用することはできません。

1 プリンターのIPアドレス（またはホスト名）を引数にして、telnetを起動します。

```
% telnet プリンターのIPアドレス
```

補足

- ❒ IP アドレスの代わりにホスト名を使用するときは、/etc/hostsの設定が必要です。

2 パスワードを入力します。

補足

- ❒ 工場出荷時のパスワードは、「ricoh」に設定されています。

3 コマンドを入力します。

参照

使用できるコマンドについては、P.61 「次へ」を参照してください。

4 telnetを終了します。

```
msh> logout
```

設定が変更されると、変更内容の保存を確認するメッセージが表示されます。

5 変更内容を保存するときは「yes」と入力し、Enterキーを押します。

変更内容を保存しないときは「no」と入力し、Enterキーを押します。コマンド入力を続けるときは「return」と入力し、Enterキーを押します。

補足

- ❒ 「Can not write NVRAM information」のメッセージが表示されたとき、変更内容は保存されていません。もう一度操作し直してください。

❒ 変更内容を保存すると、自動的にイーサネットボードがリセットされます。

❒ リセットしてもActive状態（印刷中、または印刷処理待ち）の印刷ジョブは印刷されますが、Waiting 状態（プリンターへのファイル転送待ち）のジョブは破棄されます。

コマンド一覧

リモートメンテナンスで使用できるコマンドの一覧です。

補足

❒「help」と入力すると、使用できるコマンドの一覧が表示されます。

```
msh> help
```

❒「help コマンド名」と入力すると、入力したコマンド名の使用方法が表示されます。

```
msh> help コマンド名
```

TCP/IP アドレス

TCP/IP（IPアドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス）の表示や設定を行うには、ifconfigコマンドを使用します。

❖ **表示**

```
msh> ifconfig
```

❖ **設定**

```
msh> ifconfig naf0 パラメータ アドレス
```

パラメータ	設定される項目
なし	IPアドレス
netmask	サブネットマスク
gateway	デフォルトゲートウェイアドレス
broadcast	ブロードキャストアドレス

（例）IPアドレスを192.168.15.16に設定する

```
msh> ifconfig naf0 192.168.15.16
```

（例）サブネットマスクを255.255.255.0に設定する

```
msh> ifconfig naf0 netmask 255.255.255.0
```

補足

❒ パラメータで指定した項目が、指定したアドレスに設定されます。

❒ アドレスを 16 進形式で設定する場合は、先頭に「0x」を付けてください。

アドレスについて

❖ サブネットマスク
IP アドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。

❖ デフォルトゲートウェイアドレス
ほかのネットワーク上のワークステーションとやり取り（印刷や情報の取得）するとき、ゲートウェイとなるホストやルーターのアドレスです。

補足

- ❒ 設定するアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
- ❒ 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。

アクセスコントロール

アクセスコントロールの表示と設定を行うには、accessコマンドを使用します。

❖ 表示
```
msh> access
```

❖ 設定
```
msh> access パラメータ アドレス
```

パラメータ	設定される方式
control	アクセスコントロールアドレス
mask	アクセスコントロールマスク

補足

- ❒ アクセスコントロールアドレスとアクセスコントロールマスクは、印刷できるワークステーションをIPアドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、「0.0.0.0」にしてください。
- ❒ アクセスコントロールアドレスをマスクした結果と、印刷しようとしているワークステーションのアドレスをマスクした結果が一致した場合に、アクセスを許可します。
- ❒ たとえば、アクセスコントロールアドレスを192.168.15.16に設定した場合、アクセス可能なワークステーションのアドレスはマスク値によって次のようになります（XXXは1～254の数値です）。

アクセスコントロールマスク	アクセス可能なアドレス
0.0.0.0	XXX.XXX.XXX.XXX
255.0.0.0	192.XXX.XXX.XXX
255.255.0.0	192.168.XXX.XXX
255.255.255.0	192.168. 15.XXX
255.255.255.255	192.168. 15. 16

ネットワークブート

ネットワークブートの設定をするには、set コマンドを使用します。

```
msh> set パラメータ {on | off}
```

有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

パラメータ	設定される方式
dhcp	DHCP

補足

- ❒ DHCPを使用するときは、サーバーの設定が必要です。

プロトコル

プロトコルの有効／無効を切り替えるには、setコマンドを使用します。

```
msh> set プロトコル {up | down}
```

プロトコル	
appletalk tcpip netware netbeui lpr ftp rsh diprint web snmp ipp	プロトコルを有効にするには「up」を、無効にするには「down」を指定します。

補足

- ❒ TCP/IPを無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、本機の操作部を使って設定し直してください。
- ❒ TCP/IPを無効にすると、lpr、ftp、rsh、diprint、web、snmp、ippも使用できなくなります。

プリンターの状態

プリンターの状態を表示するには、表示内容に応じたコマンドを使用します。

msh> コマンド

コマンド	表示される内容
status	プリンターの状態（ステータス）と印刷ジョブの情報（プリントジョブ情報）
info	給紙トレイや排紙トレイの情報（プリンター情報）
prnlog [ID番号]	これまでに印刷した16件分の記録（プリントログ情報）

補足

- ❒ prnlogでID番号を指定すると、ジョブの詳細情報が表示されます。

参照

表示される内容の詳細については、使用説明書＜プリンタークライアント編2＞「UNIXで使う」を参照してください。

イーサネットボードの情報

イーサネットボードの設定状況を表示するには、showコマンドを使用します。

msh> show [-p]

補足

- ❒ -p オプションを付けると、1 画面ずつ表示されます。
- ❒ NetBEUI プロトコルでパソコン名、ワークグループ、コメントを日本語で入力しているときは、シフトJISを表示できる環境で使用してください。

参照

表示される内容の詳細については、P.236「イーサネットボードの情報」を参照してください。

システムログ情報

プリンターのシステムログ情報として記録されたメッセージを表示するには、syslogコマンドを使用します。

msh> syslog

参照

表示される内容の詳細については、P.239「システムログ情報」を参照してください。

SNMP

コミュニティ名など SNMP に関する表示と変更を行うには、snmpコマンドを使用します。

補足

- 設定できる登録番号は1〜10です。
- 登録番号の 1 〜 10 に public が存在しない場合、Ridoc IO AdminやRidoc IO Naviからプリンターを参照することはできません。
- 登録番号1と2の工場出荷時の設定は、次のとおりです。

登録番号	1	2
コミュニティ名	public	ricoh
IPアドレス	0.0.0.0	0.0.0.0
アクセスタイプ	read-only trap off	read-write trap off

❖ 表示

SNMP情報と使用可能なプロトコルを表示します。

```
msh> snmp ?
```

指定した登録番号の設定状態を表示します。

```
msh> snmp [-p] [登録番号]
```

補足

- -pオプションを付けると、1画面ずつ表示されます。
- 登録番号を省略すると、すべての番号の状態を表示します。

❖ コミュニティ名設定

指定した登録番号のコミュニティ名を設定します。

```
msh> snmp 登録番号 name コミュニティ名
```

補足

- コミュニティ名は半角15文字以内です。

❖ アクセスタイプ設定

登録番号ごとにアクセスタイプを切り替えます。

```
msh> snmp 登録番号 type アクセスタイプ
```

アクセスタイプ	設定される内容
read	情報の読み出しのみ可能(read-only)
write	情報の読み出しと書き込みが可能(read-write)
trap	エラー情報を通知(trap)
no	アクセス不可(not accessible)

❖ プロトコル設定

使用可能なプロトコルを選択するには、次のコマンドを使います。このコマンドで設定を無効にすると、すべての登録番号で使用できなくなります。

```
msh> snmp {ip | ipx} {on | off}
```

- プロトコルを有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

登録番号ごとにプロトコルの設定を変えるには、次のコマンドを使います。ただし、上のコマンドで無効にしたプロトコルは、このコマンドで有効にしても使用できません。

```
msh> snmp 登録番号 active {ip | ipx} {on | off}
```

❖ アクセス設定

使用するプロトコルに応じたホストのアドレスを設定します。

「アクセスタイプ」を「read-only」または「read-write」に設定したときは、ここに入力したアドレスのホストからの要求だけを受け付けます。どのホストからの要求でも受け付けるようにするには、「0」を入力します。

「アクセスタイプ」を「trap」に設定したときは、情報を通知するホストのアドレスを入力します。

```
msh> snmp 登録番号 {ip | ipx} アドレス
```

補足

- ❒ TCP/IP を使用するときは、アドレスとして IP アドレスを入力します。
- ❒ IPX/SPX を使用するときは、アドレスとして IPXアドレスを入力します。IPXアドレスはホストが接続されているネットワークの番号とホストに取り付けられているイーサネットボードのMACアドレス（物理アドレス）をコロン（:）で区切って入力します。

（例）登録番号3にIPアドレスを設定する（192.168.15.16）

```
msh> snmp 3 ip 192.168.15.16
```

（例）登録番号3にIPXアドレスを設定する（ネットワーク番号=7390A448、MACアドレス=00:00:74:62:5C:65）

```
msh> snmp 3 ipx 7390A448:000074625C65
```

IPP

IPPの使用環境を設定するには、IPPコマンドを使用します。

❖ IPPの設定値表示

IPPの設定値を表示します。

```
msh >ipp
```

次の設定値が表示されます。

```
timeout=900(sec)
auth basic
```

- 「timeout」には、ネットワークプリンターに接続できない場合にリトライを止めて印刷ジョブを一時停止するまでの時間（タイムアウト）が表示されます。
- 「auth」には、ユーザー認証のモードが表示されます。

❖ IPPタイムアウトの設定

何らかの原因によって印刷データが途切れたときに、印刷ジョブを取り消すまでの時間を指定します。設定範囲は30〜65535秒です。

```
msh>ipp timeout {30 - 65535}
```

❖ IPPユーザー認証方式の設定

IPPユーザー認証を行って、IPPを使って印刷できるユーザーを制限することができます。
工場出荷時は、ユーザー設定を行わない設定になっています。

```
ipp auth {basic|digest|off}
```

- 「basic」または「digest」で、認証を行います。
- 「off」で、認証を行わなくなります。

補足

❒ ユーザー認証を行うように指定した場合、次の「IPPユーザーの登録」を参照して、ユーザー名を登録してください。ユーザーは10組まで登録できます。

❖ IPPユーザーの登録

IPPを使って印刷できるユーザーを登録できます。

```
ipp user
```

次のメッセージが表示されます。

```
Input user number (1 to 10):
```

設定するユーザー番号を入力し、ユーザー名とパスワードを指定します。

```
IPP user name:user1
IPP password:*******
```

ユーザー名とパスワードが設定されると、次のメッセージが表示されます。

```
User configuration changed.
```

SMB

パソコン名やワークグループ名など NetBEUI 関連の項目を設定、削除するには、smbコマンドを使用します。

msh >smb コマンド

パラメータ	設定される項目
smb comp	パソコン名（13文字以下）
smb group	ワークグループ名（15文字以下）
smb comment	コメント（31文字以下）
smb clear comp	パソコン名のクリア
smb clear group	ワークグループのクリア
smb clear comment	コメントのクリア

ROUTE

TCP/IP ルーティングテーブルの設定をするには route コマンドを使用します。

routeコマンドを使うと､通常のネットワークではルーターなどの環境によって自動的に保守されているルーティングテーブルを手動で変更できます。

補足

❒ ルーティングテーブルの最大数は16です。

パラメータ	設定される項目
route add [host|net] destination [*1] gateway [*1]	destinationで示されるhost（またはnetwork）ルート、gatewayで示されるgatewayアドレスをテーブルに追加します。host/net省略時は、hostに設定されます。
route delete [host|net] destination [*1]	destinationで示されるhost（またはnetwork）ルートをテーブルから削除します。host/net省略時は、hostに設定されます。
route get [destination [*1]]	destinationを設定しているときは、該当するroute情報だけを表示します。destinationを設定していないときは、すべてのroute情報を表示します。
route active [host|net] destination [*1] on/off	設定したdestinationの有効／無効を切り替えます。host/netを省略しているときは、hostに設定されます。
route flush	すべてのroute情報を削除します。

*1 IPアドレス

SLP

SLPの設定を変更するには、slpコマンドを使用します。

NetWare 5.xJのピュアIP環境でご使用の場合、SLPを使ってNetWareサーバーを検索します。slpコマンドを使うと、SLPマルチキャストパケットが使用するTTL値（通過できるルーターの数+1）を指定できます。

補足

- ❒ 工場出荷時は「1」に設定されています。ローカルセグメント内だけで検索します。ただし、このTTL値を増やした場合でも、ネットワーク環境で使用しているルーターがマルチキャストに対応していなければ有効になりません。
- ❒ 設定できるSLPパケットのTTL値は1〜255です。

```
msh >slp ttl [1ミ225]
```

パスワードの変更

リモートメンテナンスのパスワードを変更するには、passwdコマンドを使用します。

重要

- ❒ パスワードは忘れないようにしてください。

補足

- ❒ 工場出荷時は「ricoh」に設定されています。

1 passwdと入力します。

```
msh> passwd
```

2 現在のパスワードを入力します。

```
Old password:
```

3 新しいパスワードを入力します。

```
New password:
```

補足

- ❒ 入力できるのは、半角英数字と表示可能な半角記号で3〜8文字の範囲です。大文字と小文字は区別されます。
- ❒ パスワードは、Webブラウザからのプリンター設定で使用するパスワードと共通です。mshell上でパスワードを変更すると、ほかのパスワードも変更されます。

4 新しいパスワードをもう一度入力します。

```
Retype new password:
```

ネットワーク経由で確認できる情報

プリンターの状態や情報を表示したときの各項目の詳細です。

プリンターの状態

プリンターのステータスです。

次の方法で確認できます。

- UNIX：lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstatパラメータを使います。⇒使用説明書＜プリンタークライアント編2＞「UNIXで使う」
- mshell：statusコマンドを使います。⇒ P.215 「プリンターの状態」

メッセージ	原因	対処方法・参照先
Ready	印刷可能な状態です。	そのままご使用になれます。
Energy Saver Mode	省エネモード状態です。	そのままご使用になれます。
Warming Up	準備中です。	「Ready」と表示されるまでお待ちください。
Calibrating	カラー調整中です。	「Ready」と表示されるまでお待ちください。
Loading Toner	トナー補給中です。	「Ready」と表示されるまでお待ちください。
Error: Optional RAM	SDRAMモジュールにエラーが発生しました。	サービス実施店に連絡してください。
Error: Parallel I/F	パラレルインターフェースで異常が発生しました。	適切なインターフェースケーブルを使用してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。

メッセージ	原因	対処方法・参照先
Error: NVRAM	メモリースイッチエラーが発生しました。	サービス実施店に連絡してください。
Error: DIMM	拡張エミュレーションモジュールに異常が発生しました。	サービス実施店に連絡してください。
Error: HDD	ハードディスクエラーが発生しました。	サービス実施店に連絡してください。
Error: Ethernet	ネットワーク機能にエラーが発生しました。	電源を入れ直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
Low: Black Toner	ブラックトナーが残り少なくなりました。	トナー切れに備えて、ブラックトナーカートリッジを用意してください。
Low: Cyan Toner	シアントナーが残り少なくなりました。	トナー切れに備えて、シアントナーカートリッジを用意してください。
Low: Magenta Toner	マゼンタトナーが残り少なくなりました。	トナー切れに備えて、マゼンタトナーカートリッジを用意してください。
Low: Yellow Toner	イエロートナーが残り少なくなりました。	トナー切れに備えて、イエロートナーカートリッジを用意してください。
Low: Staples	2000枚フィニッシャーのステープルの針がなくなりました。	ステープルの針をセットしてください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「こんなときには」
Punch Full	2000枚フィニッシャーのパンチくずが満杯になりました。	パンチくずを廃棄してください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「こんなときには」
Replace PCU Color	カラー用の感光体ユニット（計3本）の交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。
Replace Develop. C	カラー用の現像ユニット（計3本）の交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。

メッセージ	原因	対処方法・参照先
Replace Fusing Unit	定着ユニットの交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。
Replace PCU Black	ブラック用の感光体ユニットの交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。
Replace Fuser Oil	定着オイルがなくなりました。	サービス実施店に連絡してください。
Replace Feed Roller	給紙コロの交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。
Replace Develop. K	ブラック用の現像ユニットの交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。
Replace Trans. Unit	転写ベルトの交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。
Toner Nearly Full	廃トナーボトルがもうすぐ満杯です。	廃トナーボトルが満杯になったときに備えて、廃トナーボトルを用意してください。
Paper in Finisher	2000枚フィニッシャーに用紙が残っています。	2000枚フィニッシャーのカバーを開けて、内部の用紙を取り除いてください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「こんなときには」
Reset Duplex Feed	両面搬送ユニットがセットされていないか、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Error: Stapler	2000枚フィニッシャー内に用紙が残っているか、ステープラーが故障しています。	用紙を取り除いてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「こんなときには」
Error: Finisher	2000枚フィニッシャーに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。

メッセージ	原因	対処方法・参照先
Error：Tray 1	給紙トレイ1が故障しています。	【強制排紙】キーを押して、ほかのトレイを選択して印刷するか、電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
Error：Tray 2	給紙トレイ2が故障しています。	【強制排紙】キーを押して、ほかのトレイを選択して印刷するか、電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
Error：Tray 3	給紙トレイ3が故障しています。	【強制排紙】キーを押して、ほかのトレイを選択して印刷するか、電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
Error：Tray 4	給紙トレイ4が故障しています。	【強制排紙】キーを押して、ほかのトレイを選択して印刷するか、電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
Empty: Cyan Toner	シアントナーがなくなりました。	シアントナーカートリッジを交換してください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「消耗品を交換する」
Empty: Magenta Toner	マゼンタトナーがなくなりました。	マゼンタトナーカートリッジを交換してください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「消耗品を交換する」
Empty: Yellow Toner	イエロートナーがなくなりました。	イエロートナーカートリッジを交換してください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「消耗品を交換する」

メッセージ	原因	対処方法・参照先
Empty: Black Toner	ブラックトナーがなくなりました。	ブラックトナーカートリッジを交換してください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「消耗品を交換する」
Waste Toner Full	廃トナーボトルが満杯になりました。	サービス実施店に連絡してください。
No Paper	トレイの用紙がなくなりました。	トレイに用紙をセットしてください。データを取り消すときは、【リセット】キーを押してください。
No Input Tray	給紙トレイがセットされていないか、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Paper Type Mismatch	トレイの用紙種類が、指定した用紙種類と異なっています。	トレイに指定した種類の用紙をセットし、操作部で用紙種類を変更してください。または、【強制排紙】キーを押して、指定した種類の用紙がセットされているトレイを選択して印刷してください。データを取り消すときは、【リセット】キーを押してください。
Size Mismatch	トレイの用紙サイズと用紙種類が 、指定した用紙サイズ、用紙種類と異なっています。	トレイに指定したサイズの用紙をセットし、操作部で用紙サイズ・用紙種類を変更してください。または、【強制排紙】キーを押して、指定したサイズの用紙がセットされているトレイを選択して印刷してください。データを取り消すときは、【リセット】キーを押してください。

メッセージ	原因	対処方法・参照先
Size/Type Mismatch	自動トレイ選択が指定されていますが、用紙サイズと用紙種類が一致するトレイがありません。	指定したサイズの用紙をセットし、操作部で用紙サイズを変更してください。さらに、用紙種類を操作部で変更してください。または、【強制排紙】キーを押して、指定したサイズの用紙がセットされているトレイを選択して印刷してください。データを取り消すときは、【リセット】キーを押してください。
Standard Tray Full	本体排紙トレイが満杯です。	本体排紙トレイの用紙を取り除いてください。
Output Tray Full	すべての排紙トレイが満杯です。	すべての排紙トレイの用紙を取り除いてください。
Finisher 1 Full	2000枚フィニッシャーのトレイ1が満杯です。	2000枚フィニッシャーのトレイ1から用紙を取り除いてください。
Finisher 2 Full	2000枚フィニッシャーのトレイ2が満杯です。	2000枚フィニッシャーのトレイ2から用紙を取り除いてください。
Front Cover Open	本体前カバーが開いています。	本体前カバーを閉めてください。
Upper L Cover Open	本体左上カバー（定着カバー）が開いています。	本体左上カバー（定着カバー）を閉めてください。
Right Cover Open	本体給紙トレイの右カバーが開いています。	本体給紙トレイの右カバーを閉めてください。
Lower R Cover Open	オプションの給紙テーブルの右下カバーが開いています。	オプションの給紙テーブルの右下カバーを閉めてください。
Upper R Cover Open	本体右上カバー（本体トナーカバー）が開いています。	本体右上カバー（本体トナーカバー）を閉めてください。

メッセージ	原因	対処方法・参照先
Finisher Cover Open	2000枚フィニッシャーの入り口カバー、上カバー、または前カバーが開いています。	2000枚フィニッシャーの入り口カバー、上カバー、または前カバーを閉めてください。
Duplex Cover Open	両面反転ユニットのカバーが開いています。	両面反転ユニットのカバーを閉めてください。
Reset Develop. K	現像ユニットブラックがないか、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Reset Develop. C	現像ユニットシアンがないか、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Reset Develop. M	現像ユニットマゼンタがないか、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Reset Develop. Y	現像ユニットイエローがないか、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Reset PCU K	感光体ユニットブラックがないか、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Reset PCU C	感光体ユニットシアンがないか、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Reset PCU M	感光体ユニットマゼンタがないか、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。

メッセージ	原因	対処方法・参照先
Reset PCU Y	感光体ユニットイエローがないか、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Reset Fusing Unit	本機対応の定着ユニットがセットされていないか、または正しくセットされてません。	サービス実施店に連絡してください。
Reset Fuser Oil	定着オイルユニットがセットされていないか、または正しくセットされてません。	サービス実施店に連絡してください。
Reset Transfer Unit	転写ユニットがセットされていないか、または正しくセットされてません。	サービス実施店に連絡してください。
Reset Waste Toner	廃トナーボトルがセットされていないか、または正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Reset Finisher	2000枚フィニッシャーが正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Misfeed: Fusing Unit	定着ユニットで紙づまりが発生しました。	本体左上カバーを開けて、用紙を取り除いてください。⇒使用説明書<保守・運用編>「こんなときには」
Misfeed: Finisher	2000枚フィニッシャーで紙づまりが発生しました。	2000枚フィニッシャーのカバーを開けて、用紙を取り除いてください。⇒使用説明書<保守・運用編>「こんなときには」
Misfeed: Duplex Unit	両面反転ユニットで紙づまりが発生しました。	両面反転ユニットのカバーを開けて、用紙を取り除いてください。⇒使用説明書<保守・運用編>「こんなときには」

メッセージ	原因	対処方法・参照先
Misfeed: Duplex Feed	両面搬送ユニットで紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。	前カバーを開けて、用紙を取り除いてください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「こんなときには」
Misfeed: Input Tray	オプションの給紙テーブルで紙づまりが発生しました。	オプションの給紙テーブルの右カバーを開けて、用紙を取り除いてください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「こんなときには」
Reset Black Toner	ブラックトナーカートリッジがセットされていないか、または正しくセットされていません。	ブラックトナーカートリッジを正しくセットしてください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「消耗品を交換する」
Reset Cyan Toner	シアントナーカートリッジがセットされていないか、または正しくセットされていません。	シアントナーカートリッジを正しくセットしてください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「消耗品を交換する」
Reset Magenta Toner	マゼンタトナーカートリッジがセットされていないか、または正しくセットされていません。	マゼンタトナーカートリッジを正しくセットしてください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「消耗品を交換する」
Reset Yellow Toner	イエロートナーカートリッジがセットされていないか、または正しくセットされていません。	イエロートナーカートリッジを正しくセットしてください。⇒使用説明書＜保守・運用編＞「消耗品を交換する」
Call Service Center	通信異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。

補足

❒ エラーの内容は、システム設定リストや印刷条件一覧に印刷される場合があります。あわせてご確認ください。印刷方法については、P.165「テスト印刷メニュー」を参照してください。

プリンター情報

プリンターの給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション、および登録しているプログラムの情報です。

次の方法で確認できます。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのinfoパラメータを使います。⇒使用説明書<プリンタークライアント編2>「UNIXで使う」
- mshell：infoコマンドを使います。⇒ P.215 「プリンターの状態」

補足

❒ 現在選択されている項目には、「*」が付いて表示されます。

❒ *1〜*4の項目の詳細については、別表を参照してください。

項目名	意味
プリンターシステム	プリンターのバージョン
ネットワークボード	ネットワークボードのバージョン
Input Tray No. Name PageSize Status	 給紙トレイ番号 給紙トレイ名*1 用紙サイズ*2（給紙トレイの紙サイズ設定で指定したサイズが表示されます。） 給紙トレイの状態*3
Output Tray No. Name Status	 排紙トレイ番号 排紙トレイ名*3 排紙トレイの状態*4

項目名	意味
Emulation	
No.	エミュレーション番号
Name	エミュレーション名
Version	エミュレーションのバージョン

❖ 別表

給紙トレイ名[*1]	意味
Tray X	給紙トレイ（Xは番号）
Tray3(LCT)	2000枚給紙テーブル
BypassTray	手差しトレイ

用紙サイズ[*2]	意味
A3R	A3縦
A4	A4横
A4R	A4縦
A5	A5横
A5R	A5縦
A6R	A6縦
B4R	B4縦
B5	B5横
B5R	B5縦
B6R	B6縦

用紙サイズ*2	意味
11 x 17 inR	DL縦
5 1/2 x 8 1/2 inR	HL縦
8 1/2 x 14 inR	LG縦
8 1/2 x 11	LT横
8 1/2 x 11 inR	LT縦
FR1	フリーサイズ（mm単位で設定）
NCS	トレイ未セット
HagakiR	官製はがき縦
aaa x bbbmm	不定形（aaaは用紙の短辺サイズ、bbbは用紙の長辺サイズ、単位はそれぞれmm）

給紙トレイの状態*3	意味
Normal	通常状態
NoInputTray	トレイなし
PaperEnd	用紙なし

排紙トレイの状態*5	意味
Normal	正常
PaperExist	用紙あり
OverFlow	用紙が満杯
Error	その他のエラー

排紙トレイ名[*4]	**意味**
Standard Tray	**本体排紙トレイ**
External Tray	**本体左上排紙トレイ**
Finisher Shift Tray1	2000**枚フィニッシャートレイ**1
Finisher Shift Tray2	2000**枚フィニッシャートレイ**2

取得情報の内容

イーサネットボードから取得できる情報の詳細です。

プリントジョブ情報

印刷待ちのジョブの情報です。

次の方法で確認できます。

- UNIX：lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstatパラメータを使います。⇒使用説明書<プリンタークライアント編2>「UNIXで使う」
- mshell：statusコマンドを使います。⇒ P.215 「プリンターの状態」

項目名	意味
Rank	印刷ジョブの状態 • Active 印刷中または印刷処理待ち状態 • Waiting プリンターへのファイル転送待ち状態
Owner	印刷要求元（ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス）
Job	印刷要求番号
Files	ファイル名
Total Size	印刷ジョブのデータサイズ（スプール時）、常に「0 bytes」と表示

プリントログ情報

これまでに印刷したジョブの記録です。過去16件分の記録が表示されます。

次の方法で確認できます。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのprnlogパラメータを使います。⇒使用説明書＜プリンタークライアント編2＞「UNIXで使う」
- mshell：prnlogコマンドを使います。⇒ P.215 「プリンターの状態」

項目名	意味
ID	印刷要求番号
User	印刷要求元（ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス）
Page	印刷したページ数
Bytes	受信したデータのバイト数
Result	通信結果 • OK 通信上、印刷要求は正常に終了しました。ただし、プリンターの問題で印刷が正常に終了していない場合があります。 • NG 印刷が正常に終了しませんでした。 • Canceled rcp、rsh、lprコマンドの印刷要求が中止されました。印刷アプリケーションにより、中止される場合があります。ftp、rprinterでは、印刷要求が中止されることはありません。
Time	印刷要求受け付け時間
User ID	プリンタードライバーで設定されたUser ID
JobName	ファイル名

イーサネットボードの情報

イーサネットボードに設定してある情報です。

次の方法で確認できます。

- mshell：show**コマンドを使います。**⇒ P.215 「イーサネットボードの情報」

項目名	意味
Common	
Mode	
Protocol Up/Down	プロトコルの有効(Up)、無効(Down)
AppleTalk	
TCP/IP	
NetWare	
NetBEUI	
Ethernet interface	
NVRAM version	内部的なバージョン番号
Device name	プリンター名
Comment	コメント
Location	SNMP情報での設置場所
Contact	SNMP情報での管理者や連絡先
Soft switch	
AppleTalk	
Mode	選択中のAppleTalkプロトコル
Net	ネットワーク番号
Object	Macintosh上からのプリンター名
Type	プリンターのタイプ名
Zone	所属しているゾーン名

項目名	意味
TCP/IP	
Mode	コマンドの有効(Up)、無効(Down)
ftp	
lpr	
rsh	
diprint	
web	
telnet	
snmp	
ipp	
EncapType	フレームタイプ
Network boot	ネットワークブート
Address	IPアドレス
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
Gateway	デフォルトゲートウェイアドレス
AccessCtrl	アクセスコントロールアドレス
AccessMask	アクセスコントロールマスク
Time server	
Home page URL	ホームページのURL
Home page link name	ホームページのリンク名
Help page URL	ヘルプページのURL
SNMP protocol	SNMPで使用するプロトコル

項目名	意味
NetWare 　EncapType 　RPRINTER number 　Print server name 　File server name 　Context name 　Swich 　　Mode 　　NDS/Bindery 　　Packet negotiation 　Print job timeout	 フレームタイプ リモートプリンター番号 プリントサーバー名 接続するファイルサーバー名 プリントサーバーのコンテキスト 動作モード （この値は固定です。） パケットタイムアウト
NetBEUI 　Switch 　　Mode 　　Direct print 　Notification 　Workgroup name 　Computer name 　Comment 　Share name[1]	 （この値は固定です。） （この値は固定です。） 印刷完了通知 ワークグループ名 パソコン名 コメント 共有名（プリンターの機種名です）
Shell mode	リモートメンテナンスツールのモード

メッセージ一覧

プリンターのシステムログ情報として記録されるメッセージと、ユーティリティやコマンドの使用時に表示されるメッセージの一覧です。

システムログ情報

システムログ情報は次の方法で確認できます。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのsyslogパラメータを使います。⇒使用説明書＜プリンタークライアント編2＞「UNIXで使う」
- mshell：syslogコマンドを使います。⇒ P.215「システムログ情報」

メッセージ	状態、対処方法
Access to NetWare server <ファイルサーバー名> denied. Either there is no account for this print server on the NetWare server on the password was incorrect.	（プリントサーバー動作時）ファイルサーバーにログインできません。<ファイルサーバー >上にプリントサーバーが登録されているか確認してください。プリントサーバーにパスワードを設定している場合は、パスワードを削除してください。
add_sess: community <コミュニティ名> already defined.	コミュニティ名が重複しています。ほかのコミュニティで使用していない名前を設定してください。
add_sess: session <コミュニティ名> not defined.	認証不可のコミュニティ名です。コミュニティ名を設定してください。
add_sess:bad trap addr:<IpAddress>, community:<コミュニティ名>	コミュニティのアクセスタイプがTRAPの場合、IPアドレス 0.0.0.0 は無効です。TRAP送信先ホストのIPアドレスを指定してください。

メッセージ	状態、対処方法
add_sess_ipx: bad trap addr: <IPXアドレス>, community:<コミュニティ名>	コミュニティのアクセスタイプがTRAPの場合、IPXアドレス 00:00:00:00:00:00 は無効です。TRAP送信先ホストのIPXアドレスを指定してください。
add_sess_ipx: community <コミュニティ名> already defined.	コミュニティ名が重複しています。ほかのコミュニティで使用していない名前を設定してください。
add_sess_ipx: session_ipx <コミュニティ名> not defined.	認証不可のコミュニティ名です。コミュニティ名を設定してください。
Anonymous FTP Login from < IPアドレス>, <パスワード>	ホスト< IPアドレス>より<パスワード>でanonymousログインされました。
anpd start. (AppleTalk)	anpd(AppleTalk Network Package Daemon)を起動しました。
Attach FileServer=<ファイルサーバー >	ニアレストサーバーとして<ファイルサーバー >にアタッチしました。
Attach to print queue <プリントキュー名>	(プリントサーバー動作時))<プリントキュー名>にアタッチしました。
Cannot create service connection	(リモートプリンター起動時)ファイルサーバーとの接続を確立できません。ファイルサーバーのユーザー制限を超えている場合があります。
Cannot find rprinter(<プリントサーバー名>/<プリンター番号>)(リモートプリンター起動時)	<プリントサーバー名>上に<プリンター番号>のプリンターがありません。プリントサーバーに登録されているプリンター番号を確認してください。
Change IP adress from DHCP Server.	DHCPリース更新処理時に使用していたIPアドレスから異なるアドレスに変更されました。DHCPCDを終了します。毎回同じIPアドレスが割り当てられるように、DHCPサーバーの設定を静的設定(IPアドレスの予約)にしてください。
child process exec error! (プロセス名)	ネットワーク関連のプロセス起動に失敗しました。電源を再投入しても回復しない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

メッセージ	状態、対処方法
Connected DHCP Server （<DHCPサーバーアドレス>）.	DHCPサーバーからのIPアドレス取得に成功しました。
connection from <IPアドレス>	ホスト<IPアドレス>よりログインされました。
Could not attach to FileServer <エラー番号>	（リモートプリンター起動時）ファイルサーバーにアタッチできません。ファイルサーバーが何らかの理由で接続を拒否しています。ファイルサーバーの設定を確認してください。
Could not attach to PServer <プリントサーバー名>	（リモートプリンター起動時）プリントサーバーにアタッチできません。プリントサーバーが何らかの理由で接続を拒否しています。プリントサーバーの設定を確認してください。
Current Interface Speed : < EthernetI/F速度>	現在のEthernet I/Fの速度です（10Mbpsまたは100Mbps）。
Current IP address （<現在のIPアドレス>）.	DHCPサーバーから取得した<現在のIPアドレス>で動作します。
Current IPX address <IPXアドレス>	現在のIPXアドレスは<IPXアドレス>です。
DHCP lease time expired.	DHCPのリースが切れました。DHCP Discoverを再び行います。なお、使用していたIPアドレスは使用できなくなります。
DHCP server not found.	DHCPサーバーが見つかりませんでした。ネットワーク上でDHCPサーバーが起動していることを確認してください。
dhcpcd start.	dhcpcd（DHCPクライアントサーバー）を起動しました。
diprinted start.	ダイレクトプリントサービスを開始しました。
Duplicate IP=< IPアドレス>（from < MACアドレス>）.	設定されたIPアドレスが重複して使用されています。IPアドレスはそれぞれ異なるものでなければなりません。MACアドレスに示された機器をチェックしてください

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>状態、対処方法</th></tr>
<tr><td>Established SPX Connection with PServer，(RPSocket=<ソケット番号>, connID=<コネクションID>)</td><td>(リモートプリンター起動時)プリントサーバーとの接続を確立しました。</td></tr>
<tr><td>Exit pserver</td><td>(プリントサーバー動作時)必要な設定が行われていないため、プリントサーバーを終了しました。</td></tr>
<tr><td>Frametype=<フレームタイプ名></td><td>NetWareで使用するフレームタイプを<フレームタイプ名>に設定しました。</td></tr>
<tr><td>httpd start.</td><td>httpdが起動しました。</td></tr>
<tr><td>inetd start.</td><td>inetdを開始します。</td></tr>
<tr><td>ipp disable.</td><td>IPP機能は利用できません。</td></tr>
<tr><td>ipp enable.</td><td>IPP機能は利用可能です。</td></tr>
<tr><td>LeaseTime=<リース時間>(sec), RenewTime=<更新間隔>(sec).</td><td>DHCPサーバーから取得したリソースのリース時間は<リース時間>秒、更新時間は<更新間隔>秒です。</td></tr>
<tr><td>Login to fileserver <ファイルサーバー名>(< IPX|IP>,< NDS|BINDERY>)</td><td>(プリントサーバー動作時)<ファイルサーバー >にNDSまたはBINDERYモードでログインしました。使用しているトランスポートプロトコルも表示します。</td></tr>
<tr><td>multid start.</td><td>マルチプロトコル用データ処理サービスを起動しました。</td></tr>
<tr><td>nbstart start. (NetBEUI)</td><td>NetBEUIプロトコルスタック設定サービスを起動しました。</td></tr>
<tr><td>NBT Registration Broadcast(< NetBIOS名>)</td><td>< NetBIOS名>とIPアドレスのマッピング(NetBIOS名の解決)をローカルブロードキャストで行うことができます。</td></tr>
<tr><td>nbtd start.</td><td>nbtd(NetBIOS over TCP/IP Daemon)を起動しました(本サービスはDHCPモード時のみ起動されます)。</td></tr>
<tr><td>NetBEUI Computer Name=<パソコン名></td><td>NetBEUIのパソコン名を決定しました。</td></tr>
</table>

メッセージ	状態、対処方法
nmsd start. (NetBEUI)	nmsd(Name Server Daemon)を起動しました。
npriter start. (NetWare)	(リモートプリンター動作時）NetWareサービスをリモートプリンターモードで起動しました。
nwstart start. (NetWare)	NetWareプロトコルスタック設定サーバーが起動しました。
Open log file <**ファイル名**>	(プリントサーバー動作時）監視ログファイルをオープンしました。
papd start.	(AppleTalk)papd(Printer Access Protocol Daemon)を起動しました。
phy release file open failed.	ネットワークボードに異常が発生している可能性があります。
Print queue <**プリントキュー名**> cannot be serviced by printer 0, <**プリントサーバー名**>	(プリントサーバー動作時）<プリントキュー名>をサービスできません。プリントキューのボリュームが指定のファイルサーバー上に存在するか確認してください。
Print server <**プリントサーバー名**> has no printer	(プリントサーバー動作時）<プリントサーバー名>にプリンターが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当てた後、プリンターを再起動してください。
print session full	接続要求がいっぱいです。しばらくしてから再接続してください。
Printer <**プリンター名**> has no queue	(プリントサーバー動作時）<プリンター名>にプリントキューが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当てた後、プリンターを再起動してください。

メッセージ	状態、対処方法
pserver start. (NetWare)	（プリントサーバー動作時）NetWareサービスをプリントサーバーモードで起動しました。
Required computer name（<パソコン名>）is duplicate name	ネットワーク上に同じ（<パソコン名>）のプリンターを検出しました。起動は、（<パソコン名>）にサフィックス（0、1・・・）を追加して、（<パソコン名>）を定義し直します。重複しないようにパソコン名を設定してください。
Required file server（<ファイルサーバー名>）not found	<ファイルサーバー名>で設定されたファイルサーバーが見つかりませんでした。
restarted.	LPDが開始したことを示します。
sap enable, saptype=< SAPタイプ>, sapname=<SAP名>	SAP機能を起動しました。SAP（SAPタイプ、SAP名）パケットを発行し、NetWareサーバー上のSAPテーブルにサービスを登録します。
Set context to <NDSコンテキスト名>	<NDSコンテキスト名>を設定しました。
shutdown signal received. network service rebooting...	ネットワークのリブート処理を行います。
smbd start. (NetBEUI)	smbd(Sever Message Block Daemon)が起動しました。
Snmp over ip is ready.	TCP/IP上での通信が可能です。
Snmp over ipx is ready.	IPX上での通信が可能です。
snmpd start.	SNMPサービスを開始しました。
The print server received error <エラー番号> during attempt to log in to the network. Access to the network was denied. Verify that the print server name and password are correct.	プリントサーバーが登録されていないか、またはパスワードが必要になっています。プリントサーバーをパスワードなしで登録してください。

使用上の注意

イーサネットを使用する場合は、次の事項に注意してください。設定が必要な場合は、正しく設定してからご使用ください。

ネットワークに ISDN 回線を接続している場合 ①

リコー製のネットワークユーティリティの中には周期的に機器と通信を行うものがあります。設定したアドレスの値によっては ISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。本機のネットワークアドレスを設定するとき、またネットワークユーティリティの通信先のアドレスを指定するときは、回線が接続しない値に設定してください。

ネットワークに ISDN 回線を接続している場合 ②

リモートネットワーク上に NetWare のファイルサーバーが存在している場合、本機から送出されるパケットによっては ISDN 回線が接続されたままの状態になることがあります。この場合、多大な通信料がかかることがあります。これはNetWareの仕様によるものです。この問題を回避するには、次に示すネットワーク管理上の対応が必要です。ネットワーク管理上、対応できない場合は、プリンターの設定で対応してください。

ネットワーク管理上の対応方法

ISDN ルーターでプリンターのパケットをフィルタリングし、プリンターのパケットがISDN回線に流れないように設定してください。

補足

- フィルタリングするプリンターの MAC アドレス（物理アドレス）は、プリンターから印刷するシステム設定リストの「イーサネットアドレス」に記載されています。システム設定リストについては、⇒ P.165 「テスト印刷メニュー」を参照してください。
- ルーターの設定を変更できない場合は、次に示すプリンターの設定による方法で対応してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWare を使用する場合）

1 本書のセットアップ方法に従い、必ずファイルサーバーを指定します。

補足

- ❒ Ridoc IO Adminでは、イーサネットボード設定ツールのプロパティシートを開き、［NetWare］タブの［ファイルサーバ名］ボックスにファイルサーバー名を入力します。

2 NetWareの使用環境に合わせて、フレームタイプを固定します。

参照

使用するフレームタイプを選択する方法については、使用説明書＜システム設定編　1　スキャナーユニット　タイプ 8100 対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWare を使用しない場合）

1 イーサネットボードは、印刷していない間もネットワーク上にパケットを発行します。プロトコルを選択して、NetWareを無効にします。

参照

プロトコルを無効にする方法については、使用説明書＜システム設定編1　スキャナーユニット　タイプ 8100 対応版＞「操作部を使って設定する」を参照してください。

Windows から PostScript 印刷をする場合

WindowsからPostScript印刷をするときは、PostScript 3 モジュールに付属の＜PostScript3編 使用説明書＞を参照し、プリンタードライバーでイーサネットボードが使用できるように設定してください。

NetWare 環境で印刷する場合

フォームフィードの設定

NetWare上で用紙送り（フォームフィード）の設定をしないでください。Windowsのプリンタードライバーで改ページの制御を行うため、NetWare上で設定する必要はありません。設定すると正しく印刷できない場合があります。

用紙送りをしないようにするには、使用しているOSに応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合は、プリンターのプロパティの［プリンタ設定］タブで、［フォームフィード］のチェックを外します。

バナーページの設定

NetWare上でバナーページの設定をしないでください。

バナーページを付けないようにするには、使用しているOSに応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合は、プリンターのプロパティの［プリンタ設定］タブで、［バナーの使用］のチェックを外します。

プリンターのリセット後に印刷するとき

リモートプリンターとして使用しているプリンターをリセットすると、プリンターは30～40秒後にいったんプリントサーバーから切断され、その後再び接続されます。リセット後、切断されるまでの間も印刷ジョブは受け付けますが、このジョブは実際には廃棄されて印刷されないことがあります。これは、NetWareの仕様によるものです。

プリンターをリモートプリンターとして使用していて、リセットした直後に印刷するときは、プリントサーバー上でプリンターのステータスが未接続になったことを確認するか、リセットしてから2分程度待って印刷してください。

DHCP を使用する場合

ネットワークブートの方式としてDHCP（Dynamic Host Configuration Protocol：動的ホスト構成プロトコル）を使用する場合は、以下の点に注意してください。

動作対象

Windows NT 4.0に標準添付の「Microsoft DHCPサーバー」

NetWare 5.xJ日本語版に標準添付のDHCPサーバー

UNIXに標準添付のDHCPサーバー

プリンターを静的設定で使用するとき

プリンターに毎回同じ IP アドレスが割り当てられるように、プリンターに割り当てるIPアドレスをDHCPサーバーで予約してください。

補足

❒ 複数の DHCP サーバーが存在する場合は、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。プリンターは最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

その他

- DHCPマネージャの［スコープ］メニューで［アクティブリース］をクリックすると、リースされているクライアントの一覧が表示されます。



予約したIPアドレスがプリンターに割り当てられていない場合、このダイアログのクライアント名には［予約クライアントの追加］ダイアログで入力したクライアント名が表示されています。予約したIPアドレスがプリンターに割り当てられ、使用中になると、表示されるクライアント名はプリンターに設定されているプリンター名に変わります。ただし、ここに表示されるプリンター名は先頭から13文字までです。
DHCPで動作しているプリンターをRidoc IO Naviで指定するときは、ここに表示されたプリンター名をホスト名として指定できます。

- DHCPサーバーからIPアドレスが割り当てられないとき、プリンターは一時的なIPアドレスとして011.022.033.044を使用します。プリンターが使用しているIPアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法については、P.166「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- 011.022.033.044は特殊なIPアドレスのため、このアドレスを使って印刷はできません。
- ネットワークにISDN回線を接続している環境でDHCPリレーエージェントを使用する場合、プリンターからパケットが送出されるたびにISDN回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。

その他の機能

表示言語の切り替え

操作画面に表示する言語として日本語と英語を選択できます。初期状態は日本語です。

日本語から英語に切り替える例を示します。

1 **【初期設定／カウンター】キーを押します。**



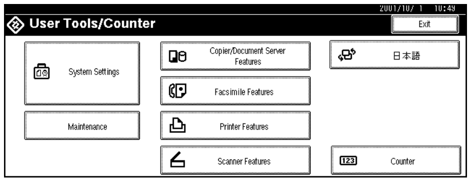
ZFQS010J

初期設定のメインメニュー画面が表示されます。

2 **[English] を押します。**



操作画面に表示される言語が英語になります。

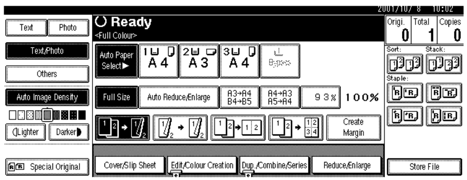


補足

- 日本語表示に切り替えるときは、[日本語] を押します。

3 **[Exit] を押します。**

操作画面の表示が英語になります。



カウンターについて

印刷したときに進むカウンターについて説明します。

カウンターには、「フルカラー」用のカウンターと「モノカラー」用のカウンターがあります。

カウンターは1ページ印刷するたびに「1」ずつ進みます。両面印刷の場合は、表面、裏面1ページずつになり、カウンターは「2」進みます。

❖ コピー、ドキュメントボックス機能

カラー選択	フルカラー用	モノカラー用
フルカラー	○	
単色		○
白黒		○
2色		○
編集／カラー加工　の場合	選択されているカラーモードによる	
表紙　コピーする　の場合	選択されているカラーモードによる	
表紙　コピーしない　の場合	カウントしない	
合紙　コピーする　の場合	選択されているカラーモードによる	
合紙　コピーしない　の場合	カウントしない	
登録色一覧印刷	○	

❖ プリンター機能

データ	プリンタードライバーの設定	白黒画像認識の設定 *1	フルカラー用	モノカラー用
白黒	白黒	ー		○
	カラー	する		○
		しない	○	
カラー	白黒	ー		○
	カラー	ー	○	
表紙　印刷するの場合	ー	ー	選択されているカラーモードによる	
表紙　印刷しない　の場合	ー	ー	カウントしない	
合紙	ー	ー	カウントしない	

*1　白黒画像認識については、P.173「白黒画像認識」を参照してください。

❖ ファクス機能

データ	フルカラー用	モノカラー用
白黒		○

❖ システム初期設定

メニュー	操作	フルカラー用	モノカラー用
調整／管理	カウンター一覧印刷	カウントしない	
	ユーザーコード別のカウンター一覧の印刷		○
	自動階調補正のテストパターンの印刷	カウントしない	
	色ずれ手動補正の補正シートの印刷	カウントしない	
	印刷位置調整の調整シートの印刷	カウントしない	
プリンター初期設定 テスト印刷タブ	システム設定リストの印刷		○
	印刷条件リストの印刷		○
	メニューリストの印刷		○
	登録フォームリストの印刷		○
	カラーサンプルの印刷	○	
	全文字印刷		○
	フォントリストの印刷		○
	PS情報リストの印刷	○	
	ヘキサダンプ		○

メニュー	操作	フルカラー用	モノカラー用
ファクス初期設定 リスト／レポート印刷タブ	通信管理リポートの印刷		○
	宛先リストの印刷		○
	宛名差し込みリストの印刷		○
	グループリストの印刷		○
	プログラムリストの印刷		○
	文書添付リストの印刷		○

メモリー容量と用紙サイズ

<table>
<tr><th rowspan="2">解像度</th><th rowspan="2">用紙サイズ</th><th colspan="2">片面</th><th colspan="2">両面</th></tr>
<tr><th>印刷可能 *1</th><th>印刷保証 *2</th><th>印刷可能 *1</th><th>印刷保証 *2</th></tr>
<tr><td rowspan="5">600×600dpi</td><td>A3</td><td rowspan="5">標準160MB</td><td rowspan="2">128+64MB</td><td rowspan="2">128+64MB</td><td rowspan="5">128+64MB</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>A4</td><td rowspan="3">標準160MB</td><td rowspan="3">標準160MB</td></tr>
<tr><td>B5</td></tr>
<tr><td>A5</td></tr>
<tr><td rowspan="5">1200×600dpi</td><td>A3</td><td rowspan="5">標準160MB</td><td rowspan="4">128+64MB</td><td rowspan="3">128+64MB</td><td rowspan="2">128+256MB *3</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>A4</td><td rowspan="3">128+64MB</td></tr>
<tr><td>B5</td><td rowspan="2">標準160MB</td></tr>
<tr><td>A5</td><td>標準160MB</td></tr>
<tr><td rowspan="5">1200×1200dpi</td><td>A3</td><td rowspan="2">128+64MB</td><td rowspan="2">128+256MB *3</td><td rowspan="2">128+128MB</td><td rowspan="2">–</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>A4</td><td rowspan="3">標準160MB</td><td rowspan="3">128+64MB</td><td rowspan="3">128+64MB</td><td rowspan="2">128+256MB *3</td></tr>
<tr><td>B5</td></tr>
<tr><td>A5</td><td>128+64MB</td></tr>
</table>

- 128+64MBは、標準搭載の32Mバイトメモリーを64Mバイトメモリーに交換
- 128+128MBは、標準搭載の32Mバイトメモリーを128Mバイトメモリーに交換
- 128+256MBは、標準搭載の32Mバイトメモリーを256Mバイトメモリーに交換

*1　ほとんどのデータで印刷可能ですが、データの種類によっては印刷できない場合や、両面印刷が片面印刷で印刷される場合があります。

*2　すべてのデータで印刷可能です。

*3　HDD装着時は、両面コピーおよびステープルにメモリーが割り当てられるため（プリンター機能で使用できるメモリーは256Mバイト）、印刷を保証できません。

重要

- はがきサイズの両面印刷はできません。
- 手差しトレイから印刷する場合は、メモリー容量にかかわらず両面印刷の指示は解除され、片面のみに印刷されます。

参照

メモリーの増設方法については、サービス実施店にご相談してください。

入力文字一覧

重要

- ❒ **複雑な文字を表示したり、印字するとき、文字の一部を簡略化することがあります。**

ひらがな（全角）	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよらりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでどばびぶべぼぱぴぷぺぽ゜゛。、ー
ひらがな（小）	ぁぃぅぇぉっゃゅょ。、ー
カタカナ（大：全角）	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ゜゛。、ー
カタカナ（小：全角）	ァィゥェォヵヶッャュョ。、ー
カタカナ（大：半角）	ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜﾝ｡､ｦｰ
カタカナ（小：半角）	ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ
英　数（大：全角半角共通）	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
英　数（小：全角半角共通）	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

GFMOJ0IJ

<table>
<tr><td rowspan="6">記号</td><td>記述（全角）</td><td>、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）
〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】ゎゐゑヰヱヴヵヶ一十百千万億壱弐参伍拾廿阡萬兆京</td></tr>
<tr><td>記述（半角）</td><td>!"'(),./:;?[]^_`{|}￣ ± ｡｢｣､</td></tr>
<tr><td>学術（全角）</td><td>＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∩∧∨￢⇒⇔
∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰</td></tr>
<tr><td>学術（半角）</td><td>$% +- 〈=〉 ¥</td></tr>
<tr><td>一般（全角）</td><td>＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓＝♯♭♪†‡¶◯
─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂</td></tr>
<tr><td>一般（半角）</td><td>#&*@</td></tr>
<tr><td colspan="2">文字</td><td>Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω
α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω
А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я
а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я</td></tr>
</table>

GFMOJI02J

JIS第一水準文字 1/6

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
イ	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690	引	飲	淫	胤	蔭					
	1700		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽
ウ	1710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映
エ	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥
オ	1790	凹	央	奥	往	応					
オ	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化
カ	1830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890	恢	懐	戒	拐	改					
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	1990	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
キ	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090	旗	既	期	棋	棄					
	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	2130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190	禦	魚	亨	享	京					

JIS第一水準文字

2/6

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九
ク	2270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
ケ	2330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	2350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390	建	憲	懸	拳	捲					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ケ	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固
コ	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490	効	勾	厚	口	向					
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590	忽	惚	骨	狛	込					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
コ	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些
サ	2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺
シ	2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790	字	寺	慈	持	時					

JIS第一水準文字 3/6

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	2820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890	綬	需	囚	収	周					
シ	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990	恕	鋤	除	傷	償					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
シ	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090	醸	錠	嘱	埴	飾					
	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏
	3160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
ス	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190	椙	菅	頗	雀	裾					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ス	3200		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制
	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
セ	3270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290	煽	旋	穿	箭	線					
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	3310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾
	3330	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	3350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
ソ	3360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390	霜	騒	像	増	憎					

JIS第一水準文字 4/6

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ソ	3400		臟	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
タ	3430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490	諾	茸	凧	蛸	只					
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥
チ	3550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590	丁	兆	凋	喋	寵					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チ	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
ツ	3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	3660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵
	3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐
ト	3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790	答	筒	糖	統	到					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ト	3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	3850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙
ナ	3870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
ニ	3890	虹	廿	日	乳	入					
ヌ	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰
ネ	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
ノ	3930	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷
ハ	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990	爆	縛	莫	駁	麦					

JIS第一水準文字 5/6

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
ハ	4020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪
	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090	枇	毘	琵	眉	美					
ヒ	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
フ	4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190	伏	副	復	幅	服					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
フ	4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀
	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
ヘ	4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	4270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290	抱	捧	放	方	朋					
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
ホ	4310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
マ	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390	繭	麿	万	慢	満					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
マ	4400		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密
ミ	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務
ム	4420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥
メ	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	4440	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄
	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
モ	4460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
ヤ	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓	愉	愈	油	癒					
	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
ユ	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予
	4530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
ヨ	4540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅
ラ	4570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏
リ	4590	履	李	梨	理	璃					

JIS第一水準文字

6/6

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
リ	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
レ	4670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690	漣	煉	簾	練	聯					
	4700		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路
ロ	4710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑
ワ	4740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750	碗	腕								
	4760										
	4770										
	4780										
	4790										

JIS 第二水準文字 1/6

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4800		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
4810	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
4820	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
4830	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
4840	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
4850	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
4860	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
4870	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
4880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
4890	傀	傚	傅	傴	傲					
4900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
4910	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
4920	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
4930	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
4940	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
4950	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
4960	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
4970	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
4980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
4990	劒	剱	劈	劑	辨					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5000		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
5010	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
5020	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
5030	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
5040	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
5050	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
5060	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
5070	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
5090	咥	咬	哄	哈	咨					
5100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
5110	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
5120	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
5130	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
5140	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
5150	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
5160	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
5170	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
5190	囹	圀	囿	圄	圉					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5200		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
5210	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
5220	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
5230	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
5240	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
5250	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
5260	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
5270	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
5290	奢	奠	奧	奬	奩					
5300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
5310	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
5320	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
5330	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
5340	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
5350	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
5360	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
5370	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寳
5380	寶	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
5390	尹	屁	屆	屎	屓					

JIS 第二水準文字　　2/6

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5400		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
5410	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
5420	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
5430	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
5440	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
5450	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
5460	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
5470	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5480	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
5490	廁	廂	廈	廐	廏					
5500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
5510	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
5520	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
5530	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
5540	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
5550	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
5560	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
5570	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
5590	悁	悍	惧	悃	悚					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5600		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
5610	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
5620	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
5630	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
5640	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
5650	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
5660	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
5670	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
5690	戉	戍	戌	戔	戛					
5700		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
5710	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
5720	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
5730	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
5740	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
5750	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
5760	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
5770	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
5790	撓	撥	撩	撈	撼					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
5810	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
5820	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
5830	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
5840	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
5850	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
5860	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
5870	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
5890	曁	暹	曉	暾	暼					
5900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
5910	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
5920	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
5930	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
5940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
5950	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
5960	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
5970	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
5990	椢	椦	棡	椌	棍					

JIS 第二水準文字

3/6

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6000		椙	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
6010	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
6020	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
6030	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
6040	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
6050	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
6060	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
6070	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
6080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
6090	檍	檠	檄	檢	檣					
6100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
6110	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
6120	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
6130	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
6140	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
6150	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
6160	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
6170	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
6180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
6190	泅	泝	沮	沱	沾					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
6210	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
6220	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
6230	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
6240	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
6250	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
6260	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
6270	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
6280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
6290	滲	漱	滯	漲	滌					
6300		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
6310	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
6320	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
6330	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
6340	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
6350	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
6360	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
6370	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
6380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
6390	燠	燬	燧	燵	燼					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6400		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
6410	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
6420	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
6430	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
6440	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
6450	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
6460	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
6470	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
6490	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
6500		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
6510	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
6520	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
6530	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
6540	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
6550	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
6560	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
6570	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
6590	癩	癪	癧	癬	癰					

JIS 第二水準文字 4/6

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6600		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
6610	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
6620	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
6630	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
6640	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
6650	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
6660	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
6670	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
6690	碾	碼	磅	磊	磬					
6700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
6710	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
6720	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
6730	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
6740	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
6750	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
6760	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
6770	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6780	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
6790	笞	笵	笨	笶	筐					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
6810	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
6820	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
6830	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
6840	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
6850	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
6860	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
6870	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
6890	糲	糴	糶	糺	紆					
6900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
6910	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
6920	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
6930	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
6940	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
6950	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
6960	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
6970	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
6990	纎	纛	纜	缸	缺					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7000		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
7010	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
7020	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
7030	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
7040	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
7050	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
7060	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
7070	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
7080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
7090	脛	脩	脣	脯	腋					
7100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
7110	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
7120	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
7130	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
7140	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
7150	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
7160	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
7170	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
7180	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
7190	苞	茆	苜	茉	苙					

JIS 第二水準文字

5/6

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7200		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
7210	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
7220	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
7230	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
7240	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
7250	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
7260	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
7270	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
7280	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
7290	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
7300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
7310	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
7320	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
7330	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
7340	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
7350	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
7360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
7370	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
7380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
7390	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
7410	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
7420	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
7430	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
7440	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
7450	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
7460	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
7470	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
7480	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
7490	褸	襌	褝	襠	襞					
7500		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
7510	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
7520	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
7530	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
7540	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
7550	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
7560	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
7570	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
7580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
7590	證	譖	譛	譚	譫					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
7610	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
7620	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
7630	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
7640	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
7650	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
7660	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
7670	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
7680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
7690	蹂	踵	踰	踴	蹊					
7700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
7710	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
7720	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
7730	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
7740	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
7750	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
7760	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
7770	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
7780	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
7790	逧	逶	逵	逹	迸					

JIS 第二水準文字 6/6

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
7810	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
7820	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
7830	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
7840	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
7850	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
7860	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
7870	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
7880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
7890	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
7900		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
7910	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
7920	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
7930	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
7940	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
7950	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
7960	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
7970	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
7980	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
7990	陏	陋	陷	陜	陞					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8000		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
8010	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
8020	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
8030	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
8040	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
8050	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
8060	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
8070	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
8080	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
8090	顏	顋	顫	顯	顰					
8100		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
8110	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
8120	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
8130	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
8140	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
8150	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
8160	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
8170	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
8180	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
8190	髫	髮	髴	髱	髷					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8200		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
8210	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
8220	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
8230	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
8240	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
8250	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
8260	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
8270	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
8280	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
8290	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
8300		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
8310	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
8320	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
8330	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
8340	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
8350	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
8360	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
8370	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
8380	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
8390	齲	齶	龕	龜	龠					
8400		堯	槇	遙	瑤					

関連商品一覧

外部オプション

❖ 500枚給紙テーブル タイプ8000（商品コード：307800）
550枚の用紙をセットできるオプションの給紙テーブルです。装着した場合、標準の給紙トレイ、手差しトレイとあわせて最大1750枚までの用紙を同時にセットしておくことができます。

❖ 1000枚給紙テーブル タイプ8000（商品コード：307801）
1100枚（550枚×2段）の用紙をセットできるオプションの給紙テーブルです。装着した場合、標準の給紙トレイ、手差しトレイとあわせて最大2300枚までの用紙を同時にセットしておくことができます。

❖ 2000枚給紙テーブル タイプ8000（商品コード：307802）
2000枚の用紙をセットできるオプションの給紙テーブルです。装着した場合、標準の給紙トレイ、手差しトレイとあわせて最大3200枚までの用紙を同時にセットしておくことができます。

❖ 2000枚フィニッシャー　タイプ8000（商品コード：307803）
ステープル、パンチ機能があります。標準の本体排紙トレイ（500枚）、本体左上排紙トレイ（100枚）と、2000枚フィニッシャー（上トレイ500枚、下トレイ2000枚）で最大3100枚の排紙が可能になります。

❖ 両面印刷ユニット タイプ8000（商品コード：307805）
自動両面印刷が可能になります。

❖ サイド排紙トレイ タイプ8100（商品コード：509209）
コピー・印刷・ファクスの機能ごとに排紙先を指定することが可能になり、用紙の混在を防ぐことができます。標準のプリンター本体排紙トレイ（500枚）、プリンター本体左上排紙トレイ（100枚）、サイド排紙トレイ（上トレイ100枚、下トレイ250枚）で最大950枚の排紙が可能になります。

❖ ファクスユニット タイプ8100（商品コード：509210）
ファクス機能を追加することができます。

SDRAM モジュール

本機には標準で160Mバイトのメモリーが装備されています（プリンター本体用の32Mバイトに128Mバイトのメモリーが追加されています）。SDRAMモジュールを増設することによって、大きなサイズの用紙に高解像度で印刷できるようになります。詳細については、P.124 「オートオフ時間設定」を参照してください。

SDRAMモジュールを増設する場合は、メモリー容量の合計が160Mバイト以上になるようにしてください。

❖ SDRAMモジュール III 64MB （商品コード ：307866）
標準32MBと組み合わせると、96MBのメモリー容量になります。

❖ SDRAMモジュール III 128MB （商品コード ：307867）
標準32MBと組み合わせると、160MBのメモリー容量になります。
256MBと組み合わせることで、最大384MBのメモリー容量が可能になります。

❖ SDRAMモジュール II 256MB（商品コード：307782）
標準32MBと組み合わせると、288MBのメモリー容量になります。
標準128MBと組み合わせると、最大384MBのメモリー容量になります。

拡張エミュレーションモジュール

❖ **PS3モジュール タイプC（商品コード：307812）**
本機を日本語ポストスクリプトレベル 3 プリンターとして使用できるようにします。Windows 環境以外にもMacintosh、UNIXから印刷できるようにします。

❖ **RPGL/2モジュール タイプC（商品コード：307813）**
RP-GLはHP-GLをエミュレートして印刷を行うモード、RP-GL/2は、HP-GL/2、HPRTLをエミュレートして印刷を行うモードです。RP-GL/2モジュール　タイプCによって、本機をレーザープロッターとして使用し、CADアプリケーションから印刷することができます。

❖ **マルチモジュール タイプC（商品コード：307814）**
「PS3モジュール タイプC」と「RPGL/2モジュール タイプC」を合わせたマルチエミュレーションモジュールです。

❖ **モノクロエミュレーションモジュール タイプC（商品コード：307814）**
合計5種類のエミュレーション（「RPDL」、「R16」、「R98」、「R55」、「RTIFF」）を使用することができます。

拡張ボード

❖ **拡張1394ボードタイプC（商品コード：317271）**
本機をIEEE1394インターフェースで接続して使用するための拡張ボードです。Windows 2000のみで使用できます。IEEE1394では最大63台の機器を接続できます。ホットプラグにも対応しています。
インターフェースケーブルが2本（6pin×4pin、6pin×6pin）同梱されています。

拡張 HDD

❖ **拡張HDD タイプC（商品コード：307815）**
容量20GBの拡張用ハードディスクです。フォントやフォームの登録、ソート出力、試し印刷、機密印刷など、応用的なプリンター機能を利用できます。

❖ **拡張HDD タイプCⅡ（商品コード：509204）**
容量40GBの拡張用ハードディスクです。ドキュメントボックス、両面コピーなどの応用的な機能を利用できます。

インターフェースケーブル

❖ **LPインターフェースケーブル　タイプ1B（商品コード：307273）**
NEC PC-9800シリーズ　双方向通信対応　2.5m

❖ **LPインターフェースケーブル　タイプ4B（商品コード：307274）**
IBM PS/Vシリーズ、各社DOS/V機 、PC98-NXシリーズ　双方向通信対応　2.5m

❖ **LBインターフェースケーブル　タイプ4S（商品コード：307470）**
IBM PS/Vシリーズ、各社DOS/V機、PC-98NXシリーズ　双方向通信対応　1.5m

❖ **USB変換プリンターケーブル（商品コード：307727）**
パラレル/USB変換ケーブル 2m

仕様

プリンター本体

項目	内容
現像方式	レーザービーム走査＋乾式２成分電子写真方式
ファーストプリント	12秒以下（A4印刷時）
連続プリント速度	• モノクロ（A4印刷時） 38ページ/分（600×600 dpi） 38ページ/分（1200×600 dpi） 28ページ/分（1200×1200 dpi） • カラー（A4印刷時） 28ページ/分（600×600 dpi） 28ページ/分（1200×600 dpi） 14ページ/分（1200×1200 dpi）
解像度	600×600dpi（モノクロ/カラー） 1200×600dpi（モノクロ/カラー） 1200×1200dpi（モノクロ/カラー）
用紙サイズ	• 給紙トレイ1（標準） A4専用 • 給紙トレイ2（標準） A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Legal、Letter • 手差しトレイ 定型サイズ：A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、官製はがき、11×17、Legal、Letter、HL 不定形サイズ（フリー）：縦148〜457mm、横90〜305mm

項目	内容
用紙種類	普通紙（リコピー PPC用紙 タイプ6000<70W>、タイプ6200） 再生紙（リサイクルペーパー紙源PPC用 タイプS） カラー紙（リコピー PPC用紙 タイプCP、CB、CY、CG） 第二原図用紙（リコピー PPC用紙 タイプTA） OHPフィルム（リコー OHPフィルム TYPE PPC-FC） ハクリ紙（リコー PPC用紙 タイプSA） 官製はがき **補足** ❒ リコピー PPC用紙 タイプTAはモノクロ印刷時のみ使用可能です。
給紙量	• 給紙トレイ1（標準）:550枚 • 給紙トレイ2（標準）:550枚 • 手差しトレイ 普通紙、再生紙、カラー紙：100枚 OHPフィルム：50枚 官製はがき：40枚
最大給紙量	3200枚（2000枚給紙テーブル装着時）
排紙量	本体排紙トレイ：500枚 本体左上排紙トレイ：100枚 サイド排紙トレイ（オプション）：350枚（上トレイ100枚、下トレイ250枚） 2000枚フィニッシャー（オプション）：2000枚（上トレイ 500枚、下トレイ 2000枚） （リコピー PPC用紙 タイプ6200使用時）
最大排紙量	3100枚（2000枚フィニッシャー装着時 リコピー PPC用紙 タイプ6200）
排紙方法	本体排紙トレイ：裏面排紙 本体左上排紙トレイ：表面排紙

項目	内容
電源	100V 12A（フルシステム時）50/60Hz
消費電力	最大消費電力：1200W以下、スキャナーユニット取り付け時最大消費電力：1500W以下
ウォーミングアップ時間	119秒以下
形式	デスクトップタイプ
外形寸法（幅×奥×高）	575×678×715mm
質量	83Kg（本体のみ）
騒音	プリンター本体動作時：55dB以下、待機時：40dB以下、省エネモード時：21dB以下
CPU	RM7000A 300MHz
メモリー	標準:32Mバイト（スキャナーユニット装着時160Mバイト） 最大:384Mバイト（スキャナーユニット装着時384Mバイト）
インターフェース	IEEE1284準拠 双方向パラレル 100BASE/10BASE イーサネット IEEE1394（オプション）
ページ記述言語	RPCS PS3（Adobe PostScript 3）（オプション）
エミュレーション（オプション）	RPDL、RP-GL（HP-GL）、RP-GL/2（HP-GL/2、HPRTL）、R16、R98、R55、RTIFF
搭載フォント	アウトラインフォント 明朝L、明朝Lプロポーショナル、ゴシックB、ゴシックBプロポーショナル、Courier10、Preatige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier 4書体、Arial 4書体、TimesNewRoman 4書体、Wingdings、Century

ラインアダプター（L-ADP)

項目	内容
電源	AC100V ±10% 50/60Hz共用
消費電力	6W以下
インターフェース	
接続回線	加入電話回線
取得規格	
テレコム	技術基準適合認定
無線	技術基準適合証明（無線付きの場合のみ適用）
安全	認可品（ACアダプター）
EMI	VCCIクラスA*1 **重要** ❒ 複写機本体にクラスA対応ラインアダプターを設置した場合、システム全体はクラスA情報技術装置となります。 VCCIクラスB*2

*1

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

*2

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信妨害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

500 枚給紙テーブル タイプ 8000

項目	内容
収容できる用紙のサイズ	A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Legal、Letter
給紙量	550枚（1段当たり、80g/m²紙使用時）
外形寸法（幅×奥×高さ）	578×648×876mm（本体取付時）
質量	18kg以下
最大消費電力	30W以下

1000 枚給紙テーブル タイプ 8000

項目	内容
収容できる用紙のサイズ	A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Legal、Letter
給紙量	1100枚（2段当たり、80g/m²紙使用時）
外形寸法（幅×奥×高さ）	578×648×974mm（本体取付時）
質量	25kg以下
最大消費電力	30W以下

2000 枚給紙テーブル タイプ 8000

項目	内容
収容できる用紙のサイズ	A4、Letter
給紙量	2000枚（1段当たり、80g/㎡紙使用時）
外形寸法（幅×奥×高さ）	578×648×974mm（本体取付時）
質量	25kg以下
最大消費電力	30W以下

2000 枚フィニッシャー タイプ 8000

項目	内容
収容できるサイズ	A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Legal、Letter
収容可能枚数	2000枚（上トレイ 500枚、下トレイ 2000枚、80g/㎡紙使用時）
外形寸法（幅×奥×高さ）	680×620×1030mm（本体取付時）
質量	55kg以下
最大消費電力	60W以下

両面印刷ユニット タイプ 8000

項目	内容
両面印刷できるサイズ	A3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭、A5▯、11×17▭、Legal▭、Letter▯▭
外形寸法（幅×奥×高さ）	90×524×430mm（両面反転ユニット、本体取付時）
質量	8kg以下（搬送ユニット、反転ユニットの合計）

サイド排紙トレイ タイプ 8100

項目	内容
収容できる用紙サイズ	A3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭、A5▯、11×17▭、Legal▭、Letter▯▭
収容可能枚数	350枚（上トレイ100枚、下トレイ250枚、80g/㎡紙使用時）
外形寸法（幅×奥×高さ）	54×409×215mm（本体取付時）
質量	1.5kg以下

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
（03）3479-3111（代表）

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせはお買い上げの販売店または最寄のサービス実施店にご相談ください。修理については、修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンター、IPSiO（イプシオ）ダイヤル」にご連絡ください。

FreeDial 0120-56-1240（コールはイプシオ）

- 受付時間：9〜12時、13〜17時（土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く）

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページ、または@niftyのリコーファンフォーラムから入手することができます。

- インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/
- @nifty/リコーファンフォーラム：>GO FRICOH ↵

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

2002年1月　G570-8515